

橋野地区消防屯所建設（建築主体） 工事

図面番号	図面内容	図面番号	図面内容	図面番号	図面内容
A-01	図面リスト	A-21	建具平面図	S-01	構造設計標準仕様
A-02	木造新築工事 特記仕様書 NO.1	A-22	建具表	S-02	木造軸組接合部標準図（1）
A-03	木造新築工事 特記仕様書 NO.2	A-23	家具平面図 家具図1	S-03	木造軸組接合部標準図（2）
A-04	木造新築工事 特記仕様書 NO.3	A-24	家具図2	S-04	木造軸組接合部標準図（3）
A-05	木造新築工事 特記仕様書 NO.4	A-25	雑詳細図	S-05	木造軸組接合部標準図（4）
A-06	木造新築工事 特記仕様書 NO.5	A-26	ホース乾燥塔1	S-06	杭工事 特記仕様書
A-07	木造新築工事 特記仕様書 NO.6	A-27	ホース乾燥塔2	S-07	杭伏図 基礎断面図
A-08	木造新築工事 特記仕様書 NO.7	A-28	ホース乾燥塔3	S-08	基礎伏図 基礎断面図
A-09	仕上表	A-29	道路法24条申請図	S-09	土台伏図
A-10	附近見取図 配置図	A-30	排水施設詳細図	S-10	小屋伏図
A-11	平面図	A-31	排水施設平面図 外構図	S-11	母屋、タルキ伏図
A-12	立面図	A-32	屋外給水配管図布設、歩道舗装図	S-12	軸組図 1
A-13	矩計図 1	A-33	造成平面図	S-13	軸組図 2
A-14	矩計図 2	A-34	縦断図	S-14	耐力壁計画図1 N値計算
A-15	矩計図 3			S-15	耐力壁計画図2 N値計算
A-16	展開図 1				
A-17	展開図 2				
A-18	展開図 3				
A-19	天井伏図				
A-20	屋根伏図				

[illegible]

9

C L T パネル工法工事

1. 一般事項

2. 木材

3. 接合金物

4. 木材の加工

5. 搬入及び搬出

6. 接合部、接合金物の工法

7. 軸組、小屋組、床組、壁組

適用範囲

この章は、構造耐力上主要な部分(基礎を除く)に、C L T パネル工法を用いた建築物に適用する。なお、柱、梁、小屋組、床組等に直交集成材以外の構造部材を用いる場合には、8章から8章の規定を適用する。

・C L T (直交集成材)

施工箇所	品名	樹種	構成の種別	曲げ性能(強度等級)	接着性能(使用環境)	寸法(mm)	両面材等の適用

・X、Z、C、D、Sマーク表示金物

種類	X、Z、C、D、Sマークの規格	短期許容耐力(N)	その他
・引張金物			
・せん断金物			

注) X、Z、C、D、Sマーク表示金物に付属する接合金具も含む。
・上記以外の接合金物は本造標準仕様書9.2.3(1)の①~④による表面処理の方法・表示・

・釘、コンクリート用釘、特殊な釘

種類	材 質	その他
・鉄丸くぎ	表面処理された鉄	
・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄	
・ステンレス鋼釘	ステンレス鋼	

・木ねじ、その他の木ねじ

種類	材 質	その他
・十字穴付き木ねじ	ステンレス鋼	JIS B 1112
・すりわり付き木ねじ	ステンレス鋼	JIS B 1135

・ボルト、アンカーボルト、ナット、座金

種類	X、Z、C、D、Sマークの規格	その他
・A7-20		
・座金		

注) X、Z、C、D、Sマーク表示金物に付属する接合金具も含む。
・X、Z、C、D、Sマーク表示金物以外の接合金物の材質、形状、寸法、表面処理等・表示

・ラグスクリュー

種類	Z、C、D、Sマークの規格	その他
・7x25		

・Z、C、D、Sマーク表示金物以外の接合金物の材質、形状、表面処理等・表示

・ドリフトピン
ドリフトピンの材質、形状、表面処理等・表示

・接着剤
床組み防止用接着剤・適用する(種類: ※表示)
接着剤を併用した接合・適用する(種類: ※表示)
接着剤の種類()

・穴あけ加工
ボルト孔の径 ※本造標準仕様書9.4.1による
・表示

・ドリフトピンの孔径 ※ピン径と同径

・表面の仕上げの程度 ※A種・B種

・木材保護塗料塗り
施工箇所・表示
種別・A種・B種

アンカーボルトの設置等
・アンカーボルト

保持及び埋込工法	埋込み位置の許容差	埋込深さ(mm)
・土台を設ける場合	・B種	・±5mm
・上記以外	・A種	・±2mm

・基礎天端のモルタル仕上
材料・本造標準仕様書9.5.4(イ)による
・無収縮モルタル

・モルタルの厚さ・表示

・建て入れ直し後の造方精度の許容値
※断面、水平の誤差の範囲1/1,000以下、かつ床、壁の天端の平坦さ±3mm

・構造材を接合する釘及び木ねじの種類、本数、間隔 ※表示

・構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用する接合金物の取付方法 ※表示

・熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱
・埋め木
・断熱発泡硬質ウレタンフォーム断熱材(JIS A 9523)

各種接合金物の工法 (9.5.10~13)
・釘及び木ねじの工法
・種類、間隔等 ※表示
・構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち
・隠し釘打ち・釘隠れめ木
・つづし釘打ち・釘隠れし
※木ねじ隠れめ木

・各種ボルト
種類・径・本数等及び見え掛り部取付方法 ※表示

・ラグスクリュー
形状・寸法及び見え掛り部取付方法 ※表示

・ドリフトピン
径、見え掛り部取付方法 ※表示

・土台 ※樹種、断面寸法、継手位置等は表示による。

・C L T パネルによる小屋組、床組、壁組
※構成、仕様、断面寸法、取付方法等は表示による。

10

木 工 事

① 一般事項

② 木 材

③ 合板等

適用範囲

この章は、内装及び外装の木下地、木造作及び木仕上の工事に適用する。

○表面仕上げ
機械加工(製材)・A種・B種・C種 手加工(製材)・H-A種・H-B種・H-C種
(集成材)・A種・B種・C種 ※内外部造作材はH-B種 ※下地材はH-C種

(a) 製材 (10.2.2)(1)
(1) 「製材の日本農林規格」による製材
・下地用製材

施工箇所	樹 種	寸法(mm)	等級(樹面の品質)	形状	含水率(%)	両面材等の適用
間柱、間壁筋			・2級・1級	※表示		※A種

・造作用製材

施工箇所	樹 種	寸法(mm)	等級(樹面の品質)	形状	含水率(%)	両面材等の適用
見え掛り			・小節	※表示		※A種
見え掛り以外			・小節以上			

・広葉樹製材

施工箇所	樹 種	寸法(mm)	等級(樹面の品質)	含水率(%)	両面材等の適用	
			・1等・	・10級下	・13級下	

(2) 「製材の日本農林規格」以外の製材 (10.2.2)(1)
・下地用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	材面の品質	乾燥処理の適用	防虫処理の適用	腐蝕処理の適用	保存処理	両面材等の適用
				・適用する ・適用しない	・適用() ・適用しない	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	※種・種

・造作・仕上げ用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	材面の品質	乾燥処理の適用	防虫処理の適用	腐蝕処理の適用	保存処理	両面材等の適用
				・適用する ・適用しない	・適用() ・適用しない	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	※種・種

・造作・仕上げ用広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	材面の品質	乾燥処理の適用	防虫処理の適用	腐蝕処理の適用	保存処理	両面材等の適用
				・適用する ・適用しない	・適用() ・適用しない	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	※種・種

(b) 造作用集成材 (10.2.2)(2)
(1) 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
・造作用集成材

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面数(面)	見付け材面の品質	含水率(%)	両面材等の適用
表示		松	表示		・2等 ・※1等		

・化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	化粧部板の厚さ(mm)	見付け材面数(面)	見付け材面の品質	含水率(%)	両面材等の適用
化粧部板 化粧材						・2等 ・※1等		

・化粧ばり構造用集成材

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	化粧部板の厚さ(mm)	見付け材面数(面)	見付け材面の品質	含水率(%)	両面材等の適用
化粧部板 化粧材						・2等 ・※1等		

(2) 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 (10.2.2)(2)
・造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率(%)	両面材等の適用
				※15級下	

・化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹 種	寸法(mm)	化粧部板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率(%)	両面材等の適用
化粧部板 化粧材					※15級下	

・化粧ばり構造用集成材

施工箇所	樹 種	寸法(mm)	化粧部板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率(%)	両面材等の適用
化粧部板 化粧材					※15級下	

(3) 造作用単板複層材 (10.2.2)(3)
・造作用単板複層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理の適用	含水率(%)	両面材等の適用
		・無(・1等・2等・3等) ・有(・天然木化粧・塗装)	・適用() ・適用しない	※14級下	

・日本農林規格以外の造作用単板複層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理の適用	含水率(%)	両面材等の適用
		・無() ・有(・天然木化粧・塗装)	・適用() ・適用しない	※14級下	

(4) 直交集成材(C L T)

施工箇所	品名	樹種	構成の種別	曲げ性能(強度等級)	接着性能(使用環境)	寸法(mm)	両面材等の適用

・普通合板

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理の適用	両面材等の適用

・構造用合板

施工箇所	厚さ(mm)	等 級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理の適用	強度等級の適用	両面材等の適用
外装面	9							
床下地	12							

・化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理の適用	両面材等の適用

10-2

木 工 事

④ 表面仕上げ

⑤ 接合具等

⑥ 耐候性、防虫、防湿、防虫処理

⑦ 屋根回り

⑧ 外部開口部回り

⑨ 内部開口部回り

⑩ 内部床回り

⑪ 外壁回り

・天然木化粧合板

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理の適用	両面材等の適用

・特殊加工化粧板

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理の適用	両面材等の適用

・パーティクルボード

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の位置による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	両面材等の適用
	・15		※13	・Pタイプ・Mタイプ	

・構造用パネル

施工箇所	等級(・常設曲げ試験・変形曲げ試験)	厚さ(mm)	両面材等の適用
	・1級・2級・3級・4級		

・ミディアムデンシティファイバーボード(MDF)

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の位置による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	耐水性による区分	両面材等の適用

○製材の表面仕上げ
機械加工
手加工
○H-A種・B種・C種
○H-B種・H-C種
※内外部造作材はH-B種 ※下地材はH-C種

○造作用集成材の表面仕上げ
機械加工
○A種・B種・C種

(a) 釘
JIS規定以外の釘の材質、寸法、形状は ※表示
釘打の本数、斜め打ち場所 ※表示
造作化粧板面の釘打ち・※隠し釘打ち・釘隠れめ木
・つづし釘打ち・釘隠れし

(b) 木ねじ
JIS規定以外の木ねじの材質、寸法、形状 ※表示
屋外に使用する仕上木材
○木材保護塗料塗り(W/P) 種別・A種・B種 施工箇所・表示
防虫処理 ○適用する(性能区分・表示)・適用しない

軒先、くらは回り (10.4.1)

名 称	樹 種	寸 法(mm)	その他
鼻隠し	松	表示	
破風板	松	表示	
広小舞、登りど	松	表示	
面戸板			

屋根下地 (10.4.2)

名 称	樹 種	寸 法(mm)	その他
瓦持芯心木			
通気断熱木			

屋根断熱工法の断熱材
発泡プラスチック断熱材 : 厚さ mm

軒天井下地 (10.4.3)

名 称	樹 種	寸 法(mm)	その他
野縁、野縁受け	松	表示	
下地板			

アルミニウム製建具、樹脂製建具、木製建具回りの下地材、受材 (10.5.1)
○表示による・(樹種: 寸法: mm)

外部出入口木製建具回り木製材 (10.5.2)
○表示による・(樹種: 寸法: mm)

出入口下枠
・ステンレス製(寸法、形状は表示)
・花崗岩(種類、寸法、形状は表示)

外部断熱材・樹種、寸法 ※表示 (10.5.3)

出入口回り木製材・表示による・(樹種: 寸法: mm) (10.6.1~2)

内部断熱材・表示による・(樹種: 寸法: mm)

床下地 ○下地用合板(厚さ: ※12mm) (10.7.1~3)
・パーティクルボード(厚さ: 15mm)

内部床板張り用製材・表示による・(樹種: 寸法: mm)

上がりがまち・表示による・(樹種: 寸法: mm)

外壁下地材
鋼鉄の樹種、寸法等 ○表示による・(樹種: 寸法: mm) (10.8.1~2)

防湿○防湿処理
断熱 ○適用する・適用しない
ラス下地材 ○適用する・適用しない
下地用合板 ○適用する・適用しない
通気断熱 ○適用する・適用しない
通気金物の材質、形状、寸法 ○表示による

外壁通気断熱下地
支持荷重が大きくなる場合の通気断熱接合具、留付け間隔・表示による
積置地の場合の下地補強

工法種類	補強方法	補強長さ(mm)
○ 縦張り断熱工法	※本造標準仕様書10.8.2(ウ)による	
○ 縦張り断熱工法	※本造標準仕様書10.8.2(ウ)による	

通気断熱以降の外壁仕上の適合下地 ※表示

外壁板張り (10.8.3)

名 称	樹 種	寸 法
・押張り下板張り	※表示	※表示
・直張り下板張り	※表示	※表示
・羽目板張り	※表示	※表示
・目板付硬羽目板張り	※表示	※表示
・数目板張り	※表示	※表示

外壁造作 (10.8.4)

名 称	樹 種	寸 法
・付け土台	※表示	※表示
・雨押え	※表示	※表示
・見切り板、笠木、外部回り板	※表示	※表示
・隠ひさし	※表示	※表示
・隠れけひさし	※表示	※表示
・隠木ひさし	※表示	※表示

10-3

木 工 事

① 内部壁

② 和室の造作

③ シーリング

4. バルコニーの手すり笠木

5. ケイ酸質系塗布防水

内部壁 (10.9.1~10.9.5)

名 称	樹 種	寸 法
○ 側 壁	※表示	※表示
・ 羽目板張り	※表示	※表示
・ 目板付硬羽目板張り	※表示	※表示
○ 欄 干	※表示	※表示
○ 回り縁	※表示	※表示
○ 用 木	※表示	※表示
○ 用木受け	※表示	※表示
○ 野 縁	※表示	※表示
○ 野縁受け	※表示	※表示
・ 数目天井板	※表示	※表示
・ 打ち上げ天井板	※表示	※表示

和室造作材 (10.10.1~10.10.5)

名 称	樹 種	寸 法
・ 柱	※表示	※表示
○ 敷居	※表示	※表示
・ かもい	※表示	※表示
・ 縁込め貫	※表示	※表示
・ 畳下地板	※表示	※表示
○ 畳寄せ	※表示	※表示
・ 半畳天井板	※表示	※表示
・ 格畳天井板	※表示	※表示

床の間回り (10.10.7)

名 称	樹 種	寸 法
・ 床 柱	※表示	※表示
・ 床がまち	※表示	※表示
・ 床 板	※表示	※表示
・ 障し掛け	※表示	※表示
・ 床墨組	※表示	※表示

柱・背割不要の処理製材 (10.10.1)

適用範囲 (11.1.1)
この章は、FRP系塗布防水工事、シーリング工事、遮断防水シート工事、防水テープ工事、改質アスファルトフェルト工事及びケイ酸質系塗布防水工事に適用する。

ルーフトレイン・FRP系塗布防水用ルーフトレイン・鋼鉄製 (11.2.2)

下地材 (11.2.4)

名 称	樹 種	寸 法(mm)	その他
複合板			・防虫、防湿処理
根 太	※杉	※45×55 @300程度	・防虫、防湿、防虫処理

下地合板 (11.2.4)

名 称	樹 種	厚さ(mm)	接着の程度	その他
構造用合板		※12	※特種	・防虫処理
下地用合板		※12	※1種	・防虫処理

防水端部の処理・取り扱い・表示による
水張り試験・行う・行わない
下表以外は、本造標準仕様書表11.3.1による。 (11.3.2)

施工箇所	シーリング材の種類(記号)
表示	

バルコニー手すりの工法 ※本造標準仕様書11.4.3(ケ)①~④座による。 (11.4.3)
・表示

防水層の種類 (11.5.2)

種類	施工箇所	種類	施工箇所
・C-UI		・C-UP	

11

防 水 工 事

① 一般事項

2. FRP系塗布防水

1. 適用範囲

2. 施 工

3. 石 材

4. 外壁工法

5. 内装工法

この章は、「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」10章「石工事」による。

石材の割付 ※標準仕様書10.1.3(1)(ア)~(イ)による・表示による (10.1.3)

粗面仕上げののみ込み部分の仕上げ・標準仕様書0.1.3(2)(ア)による (10.1.3)

取り付用モルタル、既調合の目地用モルタル、浸透性吸水防止剤、石表面処理剤、裏打ち処理剤、金物の固定に使用する充填材料 ※専門工事業者の指定する製品

天然石 (10.2.1)(表10.2.1~2)

施工箇所	石材の種類	品 質	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
・床石		・一等品 ※2等品	・※正方形に近い形状(1枚の面積が0.8㎡以下)			

テラゾーブロック (10.2.1)(表10.2.2)

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状	仕上面	寸法	表面仕上げ
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12.0	・平もの ・段もの	・片面 ・両面		

テラゾータイル (10.2.1)(表10.2.2)

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12.0	・300×300 ・400×400		

石材の厚さ(mm) (10.3.2)
石表面処理・適用する・適用しない
裏打ち処理・適用する・適用しない

下地ごしらえ ※・あと施工アンカー・横流し筋工法 (10.3.3)
・流し筋工法・あと施工アンカー工法

受け金物 材質 ※ステンレスSUS304 (10.2.2)
形状および寸法 ※L=75×75×6の加工(長さ・100mm・150mm)

ドレインパイプの材質 ※樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻 25~35φ (10.2.3)

アンカーの材質及び径 ※SS400 M12 (10.2.2)

あと施工アンカーの材質及び寸法
・種類、材質()・寸法()

目地 一般目地 目地幅 ※6mm以上 (10.3.3)
シーリング材・適用する・適用しない
伸縮目地 位置 ※標準仕様書表11.1.1による・表示
シーリング材の目地寸法 ※幅、深さとも10mm・表示

石材の厚さ(mm) (10.4.2)
石表面処理・適用する・適用しない
裏打ち処理・適用する・適用しない

下地ごしらえ ※あと施工アンカー・横流し筋工法 (10.4.3)
・あと施工アンカー工法

受け金物 材質 ※ステンレスSUS304 (10.2.2)
形状および寸法 ※L=75×75×6の加工(長さ・100mm・150mm)

2023-10

業務番号

工事名称

図面内容

図面区分

図面番号

建築意匠

A1 1/50

A3 1/100

A-04

YAHATA ARCHITECTS STUDIO

株式会社 八幡建設建築設計事務所

岩手県釜石市扇町東4地割26番地12

TEL0193-23-6438 FAX0193-23-6712

一級建築士事務所

岩手県

第27111270号

一級建築士登録

第199484号

八幡正正

承認

審査

検 図

製 図

特 記

改訂番号

改訂月日

改訂内容

橋野地区消防屯所建設(建築主体)工事

木造新築工事特記仕様書 NO3

[illegible]

16-2

建具工事

4. 樹脂製建具

外部に面する建具

(16.3.2) (表16.3.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	特殊見込み寸法
・ A 種	※S-4	※A-4	※W-4	※建築表による
○ B 種	※B-5			
・ C 種	※C-6			

(16.3.2) (表16.3.2)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	特殊見込み寸法
・ D 種	※S-2	※A-4	※W-3	※建築表による
・ E 種	※G-3			

防水ドア、防音サッシ
・遮音性の等級 (・ T-1 ・ T-2)
(16.3.2) (表16.3.3)

断熱セツト 断熱サッシ
○断熱性の等級 (・ 2 地域)
(16.3.4)

外部に面する建具の日射取得性能の等級
表示色 ○標準色 ・特記色
水切り板、ぜん板 ※図示
木下地の内付け建具 ○適用する (建具製造所の仕様) ・適用しない

5. 鋼製建具

性能等級 (建具符号は建具表による)
(16.4.2~3) (表16.4.1) (表16.2.1)

簡易気密型ドアセット
・適用する (標準仕様書 表16.4.1による)
・適用しない

外部に面する建具の耐風圧性 ・耐風圧性 (・ S-4 ・ S-5 ・ S-6)
耐震ドアとする場合 ・面内変形追随性の等級 (・)
防音ドア、防音サッシ ・遮音性の等級 (・)
断熱セツト、断熱サッシ
・断熱性の等級 (・)
点検口等のくつずりの材料 ・鋼板 ・ステンレス
(16.4.3)

鋼板厚さ ※標準仕様書 表16.5.1による
(16.4.4)

標準型鋼製建具の有効内法寸法 (表16.4.5による)
(16.4.6)

・適用する (建具符号、形式及び寸法は建具表による)

6. 鋼製軽量建具

性能等級 (建具符号は建具表による)
(16.5.2) (16.5.3) (表16.2.1)

簡易気密型ドアセットの気密性等級 ・適用する (A-3) ・適用しない
耐震ドアとする場合 ・面内変形追随性の等級 (・)
防音ドア、防音サッシとする場合 ・遮音性の等級 (・)
断熱ドア、断熱サッシとする場合 □断熱性の等級 (・)

鋼板類 ○亜鉛めっき鋼板 ・镀锌被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板
召合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板
(16.5.4)

鋼板厚さ ※標準仕様書 表16.5.1による
(16.5.5)

標準型鋼製軽量建具の有効内法寸法 (表16.4.5による)
(16.5.6)

・適用する (建具符号、形式及び寸法は建具表による)

7. ステンレス製建具

性能等級 (建具符号は建具表による)
(16.6.2) (16.6.3) (16.4.2)

耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級 ・建具表による
外部に面する建具の耐風圧性 (表16.2.1による) ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6
耐震ドアとする場合 ・面内変形追随性の等級 (・)
防音セツト、防音サッシとする場合 ・遮音性の等級 (・)
防音ドア、防音サッシとする場合 ・遮音性の等級 (・)
断熱ドア、断熱サッシとする場合 □断熱性の等級 (・)

ステンレス鋼板 ※SUS304、430J1L又はSUS443J1
(16.6.4)

表面仕上げ ※H L仕上げ ・鏡面仕上げ
(16.6.5)

ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ

8. 木製建具

建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 ・B種
(16.7.2)

表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F★☆☆☆
(16.7.2)

枠、くつずりの材料 ・建具表による

○フラッシュ戸
表面材の合板の種類

合板の種類	表面材の品質等
○普通合板 □	接着の程度 ※水掛り箇所1層、その他2層以上 板面の品質 ※広葉樹等
○天然木材化粧合板 □ ・特殊加工化粧合板 □	接着の程度 ※水掛り箇所1層、その他2層以上
○ミディアムデンシティファイバーボード (MDF) □	表面材の状態による区分 (・ DV ・ DO ・ DC) 曲げ強さによる区分 (・ 30 ・ 25 ・ 15) 接着剤による区分 (・ U ・ M ・ P) 難燃性による区分 (・ 難燃2 ・ 難燃3)

表面材のホルムアルデヒド放散量 ※標準仕様書16.7.2(イ)による
(16.7.3)

正面板の厚さ ※標準仕様書 表16.7.6による
(16.7.4)

引戸の定規線 ・召し合せかまちをいもうけとする
(16.7.2) (16.7.3) (表16.7.7)

○かまち戸
かまち樹種 (・) 鋳板樹種 (・)
見込み寸法 ※36mm ・建具表による
(16.7.2) (表16.7.3) (16.7.3) (表16.7.7) (16.7.4) (表16.7.10)

○あすま
種別、工法 ・I 型 ・II 型
上張り ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上 ・塗り織 ・生地織 (染地) ・生地織 (ウレタンリキヤー塗装)
見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による
(16.7.2) (16.7.3) (16.7.4) (表16.7.7)

・戸ぶすま
表面材の種類、品質等 (・)
戸ぶすまの見込み寸法 ※30mm ・建具表による
(16.7.3) (表16.7.7)

・紙張り際止
見込み寸法 ※30mm ・建具表による

9. 建具金物

食物の種類・見え掛り部の材質等
※標準仕様書表16.8.1及び適用 (備考欄の特記事項とも) は建具表による
(16.8.2)

金属製建具に使用する丁番 ※標準仕様書表16.8.2による
樹脂製建具に使用する丁番 ※標準仕様書表16.8.3による
木製建具に使用する丁番、戸車、レーン ※標準仕様書表16.8.4~5による
(16.8.3)

振り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取り付け位置 ※建具表による

10. 鍵

マスターキー ○製作する ・製作しない
(16.8.4)

鍵種 ※有 ・無

11. 自動ドア開閉装置

(16.9.2) (16.9.3)

自動ドア	性能値	防錆	開閉方式	運転防止
・ SSLD-1	※標準仕様書表 16.9.1による	・適用する	・光電 (反射) センサー ・熱線センサー ・音波センサー ・光電センサー ・電流センサー ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・車椅子使用者用 便所スイッチ	・行う (使用箇所は 建具表による) ・行わない
・ SS LD-2				
・ DSLD-1				
・ DSLD-2				

戸の開閉方式 ※建具表による
車椅子使用者便所スイッチ ・大型 (開・閉) 押し配スイッチ ・非接触スイッチ
車椅子使用者便所スイッチ ・大型 (開・閉) 押し配スイッチ ・非接触スイッチ

12. 自開式上吊り引き戸設置

性能 ※標準仕様書表16.10.1による ・図示による
(16.10.3)

16-3

建具工事

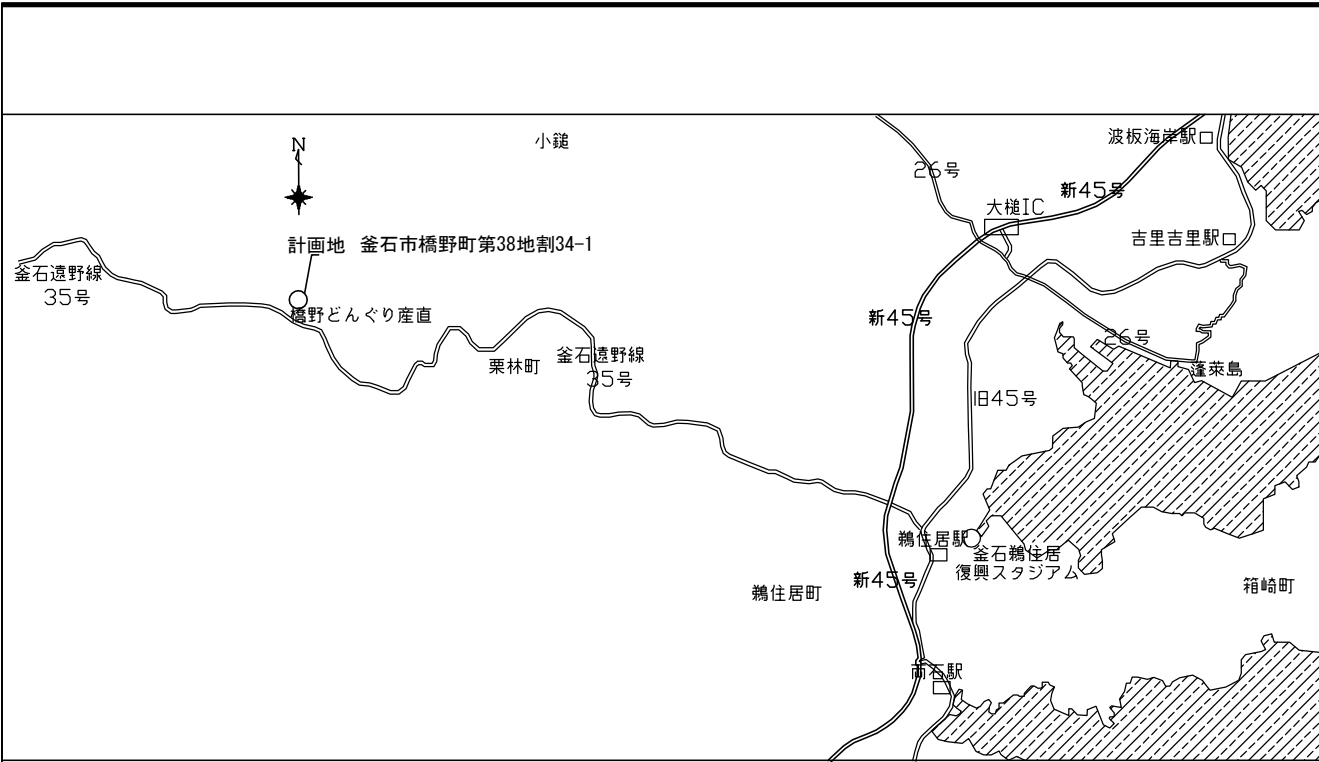
13. 重量シャッター

シャッターの種類
・管理用シャッター
・外装用防火シャッター 耐風圧強度 () pa
・屋内用防火シャッター
・防護シャッター
開閉機能による種類 ※電動式 (手動併用) ・手動式 (表 (16.11.1) (16.11.2))
安全装置 (急降下制動装置又は急降下停止装置) の設置箇所
急降下制動装置又は急降下停止装置 ※建具表による
障害物感知装置の設置箇所 ※建具表による
急停止機構の設置箇所 ※建具表による
管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない (16.11.2)
スラット及びシャッターケース用網板 めっき付塗層 ※Z12又はF12 (16.11.3)
・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼板)
・JIS G 3312 (溶融亜鉛めっき鋼板鋼板)
開閉形式 ※手動式 ・電動式 (手動併用) (16.12.2) (表16.12.1)
耐風圧強度 () pa
電動式の場合の障害物感知装置の設置箇所 ※建具表による
スラット ・ JIS G 3312 (溶融亜鉛めっき鋼板) (16.12.3) (16.12.4)
・ JIS 3322 (溶融亜鉛55%アルミニウム亜鉛めっき鋼板及び鋼板)
形状 ・インスターロッキング形 ・オーバーラッピング形
区分・材料 (16.13.2) (16.13.3)
セクション材料による区分 耐風圧 (Pa) 開閉方式による区分 収納形式による区分 ガイドレールの材質
※ステールタイプ ・125 ・ ※ バランス式 ・スタンダード形 ※ 溶融亜鉛めっき鋼材
・アルミニウムタイプ ・100 ・ チューン式 ・ローヘッド形
・ファイバークラスチック ・50 ・ 電動式 ・ハイリフト形 ・ステンレス鋼板
・オーバーラッピング形
・電動式の場合の障害物感知装置は建具表による
※特記仕様書に記載無き名称・種類・品質・厚さ・組合せ等は図示 (建具表) による
(16.14.2)
・合わせガラス

品 種	構成要素	溶接部等には脆特性、クラック発生等特性
※建具表による		
(16.14.2)		
・強化ガラス		

材料板ガラスによる種類	種 類	破片の種類、コブハツク面等特性	
○フロートガラス	・フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	・ I 類 ・ II 類	
○型板ガラス	・型板強化ガラス		
・熱線吸収フロート板ガラス (16.14.2)			
品 種	性 能	色 調	
・熱線吸収フロート板ガラス	・1種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ	
	・2種		
・熱線吸収網入り磨き板ガラス			
品 種	耐熱性の区分	日射減衰・透い他による区分	乾燥気体の種類
○断熱複層ガラス	・T1 ・ T3 ・ T5	・ G	・窒素 ・アルゴン
	・T2 ・ T4 ・ T6	・ S	
・日射熱通へい複層ガラス	・T1 ・ T3 ・ T5	・ G	・窒素 ・アルゴン
	・T2 ・ T4 ・ T6	・ S	
・熱線反射ガラス (16.14.2)			
品 種	日射透過へ性	耐久性による区分	色 調

外部仕上表		内部仕上表											
屋 根	◎ 木組/上野地板:構造用合板t=12 7ｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ 940品下葺 カラーガルバリウム鋼板 t=0.4縦平葺@364 勾配 1.5/10、 (セキノ S&W同等品) ○ 破風、鼻隠し、壁取り合い雨抑え、下り水切: 松 1等 t =24加工下地 カラーガルバリウム鋼板 t=0.4加工取付 ○ 唐草、: 松 1等30×30加工下地 カラーガルバリウム鋼板 t=0.4加工取付 ○ 軒樋等: 軒樋120Wファインスクエア同等品、集水器自在ドレン、縦樋 40角止め金物共 瞬水 S 15同等品加工取付 ○ 雪止金物: 雪止め用富士型 千鳥止め	室 名	床	巾木	H	壁	天 井	天井高	備 考				
		車 庫	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃA種仕上 勾配付0～-30 白線ライン入れ W150t1.5 防火衣掛け部FL+40W=300	打放補修 松集成材 20×60 SOP	300	木胴縁下地 石膏ﾎｰﾄﾞ t=9.5下張り 珪酸ｶﾙｼｳﾑ板 t=6張り E P－G塗装	軽量鉄骨組19形下地 化粧石膏ﾎｰﾄﾞ t=9.5張り	3.000	ヘルメット掛け15人×3 防火衣掛け15人×3 杉田エース163-439同等 枕棚W450×L4.5501段 ×6ヶ所				
		資材置場	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃA種仕上	同 上	300	同 上	同 上	3.000	格納棚×3ヶ所 本部: マトイ棚2ヶ所				
		屯 所 2部 3部 (2室)	(土間8帖部) ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ下地 防滑ﾋﾞﾆｰﾙｼｰﾄt=2.5貼り	打放補修 床材巻上 松集成材 20×60 SOP	300	木胴縁下地 石膏ﾎｰﾄﾞ t=12.5目地処理 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り 一部流し前 木胴縁下地 防水石膏ﾎｰﾄﾞ t=9.5下張 化粧珪酸ｶﾙｼｳﾑ板 t=6張り	(土間8帖部) 軽量鉄骨組19形下地 化粧石膏ﾎｰﾄﾞ t=9.5張り	2.820	行事用ホワイトボード 0.8×0.9 ※ｼｪｯﾄL1X10K-改良型L=1.65 ｼﾝｸﾞﾙﾌｰﾄﾞ 流し合ﾊﾞｯｸ膳板 シーリング充填 無線棚収納棚				
外 壁	◎ 木軸組/上構造用合板t=9下張り 防湿ｼｰﾄ下張 (タイベックシート同等品) タテ木胴縁 (杉18×45 (90)) @455 通気工法 ○ 高性能グラスウール 24K t=100 窯業系サイディング t=16横張り、役物共 [ｸｴﾐｰﾃﾞｰｲﾝﾌｪｰｼｵﾝ同等品] ○ 通気水切、下り壁水切り、サイディング取合い見切り: カラーガルバリウム鋼板 t =0.4加工取付 ○ 外壁換気口: 耐候性樹脂既成品 、水切り防虫網、雪返し付 (フクビノーブル4型同等品) ※ 外壁内通気措置ﾊﾞｲﾀ宅金融公庫融資住宅/木造住宅工事共通仕様書ｺﾛﾓﾄ (外壁ｺﾛ胴縁組)	(準不燃)	(和室10帖部) ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ下地 鋼製束組 木床組下地 大引き松90㉔U+00D790 構造用合板t=28下地 タタミ敷きt=55D種防カビ	ﾀﾏﾐ寄杉 55×25		木胴縁下地 石膏ﾎｰﾄﾞ t=12.5目地処理 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り 和室付鴨居杉上小45×15 和室付柱杉上小105×25	(和室10帖部) 軽量鉄骨組19形下地 石膏ﾎｰﾄﾞ t=9.5目地処理 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り 天井廻り縁杉上小36×15 天井見切縁杉上小105×25	2.400	上リカマチ120角3.6×2ヶ所 ﾋﾞｯｸﾞﾎｰﾚﾙ取付8m×2ヶ所 壁付けT Vﾊﾝｶﾞｰ×2ヶ所 団名板×2ヶ所 ポスト杉田エース×2ヶ所 249-990同等品				
		通路	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃA種仕上	打放補修 松集成材 20×60 SOP	300	木胴縁下地 石膏ﾎｰﾄﾞ t=12.5目地処理 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	軽量鉄骨組19形下地 化粧石膏ﾎｰﾄﾞ t=9.5張り 天井見切松集成105×25 SOP	2.600 2.400	ポスト杉田エース 249-990同等品				
基礎廻り	◎ 外部廻り立上り壁: ポリスチレンフォーム t =30打込み (防蟻材) ノ上 モルタル金ｺﾞﾃ仕上 ◎ 内部廻り立上り壁: ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修仕上 (B種) 基礎天端: 均しモルタル t =20金ｺﾞﾃ仕上	男子 WC	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ下地 長尺ｼｰﾄ貼り t=2.0 仕上	打放補修 床材巻上 松集成材 20×60 SOP	300	木胴縁下地 防水石膏ﾎｰﾄﾞ t=12.5目地処理 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	軽量鉄骨組19形下地 防水石膏ﾎｰﾄﾞ t=9.5目地処理 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	2.400	シンボルサイン 小便器ﾊﾞｯｸ膳板 シーリング充填				
	開口部	女子 WC	同 上	同 上	300	同 上	同 上	2.400	シンボルサイン 多目的手摺りL型				
玄関ポーチ 車庫入口	外部土間ｺﾝｸﾘｰﾄ: ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃA種仕上げ (水勾配付) ホース洗い場: 合板型枠打放し補修B種の上、防水モルタル塗 SUSグレーチング400㉔U+00D71000	本部 和室42帖	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ下地 鋼製束組 木床組下地 大引き松90㉔U+00D790 構造用合板t=28下地 タタミ敷きt=55D種防カビ 1帖物	ﾀﾏﾐ寄杉 55×25		木胴縁下地 石膏ﾎｰﾄﾞ t=12.5目地処理 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り 和室付鴨居杉上小45×15	軽量鉄骨組19形下地 石膏ﾎｰﾄﾞ t=9.5目地処理 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り 天井廻り縁杉上小36×15	2.600	神棚 ﾋﾞｯｸﾞﾎｰﾚﾙ取付12.8m 1.6*8ヶ所				
		物 入	床組下地 構造用合板t=28下地 天然木化粧ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ t=12張り	松集成材 20×60 SOP		木胴縁下地 押入用化粧 石膏ﾎｰﾄﾞ t=9.5下張り	軽量鉄骨組19形下地 押入用化粧 石膏ﾎｰﾄﾞ t=9.5張り	2.400					
内部 共通事項	床: 天然木化粧ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ: 複合1種ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ、巾300㉔U+00D71,800、F☆☆☆☆ 床: 構造用合板 (針葉樹) : 特類、2級、C-D、F☆☆☆☆ 巾木: 既成巾木、MDF芯、樹脂化粧ｼｰﾄ張り60*12.5 既製品F☆☆☆☆ 壁: GB-R、GB-D t 12.5はホルムアルデヒド吸収分解石膏ボードとする 壁: 壁胴縁下地は木胴縁組とする 杉1等45×25@455内 壁: エアコン取付部の下地補強 GB-R t 12.5に替えて構造用合板t=12張り455*300程度 壁: 化粧ｹｲｶﾙ板端部見切縁: アルミ製 天井: GB-R、GB-D t 9.5はホルムアルデヒド吸収分解石膏ボードとする 内部天井下地材: 軽鉄野縁材19形 天井廻縁: 特記無きは既成廻り縁、 塩ビ既製品F☆☆☆☆ EP (日本ﾊﾞｴﾝﾄ Hit' ﾚｯｼｵﾝ70 同等品J19-85C) 居室及び天井裏等の建材・仕上材等 (接着剤等含む) の化学物質発散量に関しては建築基準法第28条の2の基準を遵守するとともに J I SおよびJ A Sの F☆☆☆☆等級以上の材料を用いる。 外壁の軸組等の防蟻防蟻: 現場における防蟻・防蟻剤塗布白アリ通行止 (JISK1571、設計GL+1,000以下) 及びコロバシ床組部	火災時の安全に関すること (防火認定番号)											
		外部	耐火火区分	認定番号	構造方法等の名称								
		外壁	防火構造	PC030BE-9201	窯業系サイディング表張り								
		軒天井	不燃材料	NM-1453	珪酸カルシウム板 t=6.0								
その他	軒天井	防火構造	PC030BE-3590-2 (1)	金属系サイディングタテ張り									
		内部	耐火火区分	認定番号			内部	耐火火区分	認定番号				
		石膏ボード (GB-R) t 12.5	不燃材料	NM-8619			化粧石膏ボード (GB-D) t 9.5	準不燃材料	QM-9824				
		石膏ボード (GB-R) t 9.5	準不燃材料	QM-9828			押入化粧石膏ﾎｰﾄﾞ t=9.5	準不燃材料	QM-9808				
		化粧石膏ボード (GB-D) t 12.5	不燃材料	NM-0128			ｹｲｶﾙ板 t 6.0	不燃材料	NM-8576、8578				
		防水石膏ﾎｰﾄﾞ t=9.5 12	準不燃材料	QM-9826			ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ (壁紙)	不燃 (準不燃) 材料	基材の防火性能種別による				
							ｹｲｶﾙ板 t 6.0	不燃材料	NM-3522				
外構	○ 消防章セラミック蓄光材300φ 1ヵ所 株式会社ヒロベコウキ同等品 ○ 施設文字: 150×150 10文字 ステンレスチャンネル文字 分団名看板3ヶ所 ○ 床点検口600角 1ヵ所 (本部物入れ) ○ 天井点検口450角 3ヵ所 ○ 屋外掲示板 1ヵ所 ○ ホース乾燥用ポール: 既成品 N Aホスポール14.4m-360K g F (バンドレス型吊下げ装置付タイプ) 電動ウインチ及びサイレン付 基礎建築工事	温熱環境に関すること											
		断熱構造		断熱材の種類と厚さ				気密層の基準					
		地域の区分	4地域	部 位		材 料 (区分)		厚さ	気密材の種類		特記すべき措置		
		断熱工法の種類	充填断熱	屋根		不変							
	天井			グラスウール 24K		c	100 mm			車庫以外すべて充填			
		相当隙間面積		外壁		グラスウール 24K		c	100 mm			車庫以外すべて充填	
	床 (その他の部分)			ポリスチレンフォーム		c	50 mm			和室、物入打込み			
		結露発生防止対策	小屋裏・床下 換気・通気	基礎立上りの外周部 (外気に接する部分)		ポリスチレンフォーム		c	30 mm			車庫以外すべて打込み	
	土間床下等 (その他の部分)												
	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ下部			室内側防湿フィルム厚0.15mm (JISA6930-1997)		防湿フィルム相互の重ねは100mm以上とする							
	YAHATA ARCHITECTS STUDIO												
YAHATA ARCHITECTS STUDIO 株式会社 八幡建設建築設計事務所 岩手県釜石市岡町東4地割26番地12 TEL0193-23-6438 FAX0193-23-6712	一級建築士事務所 岩手県 奥州 (2211) 1270号	承 認	審 査	検 図	製 図	特 記		改訂番号	改訂月日	改訂内容	業務番号	工事名称	
	一級建築士登録 第199454号 八幡康正										2023-10	橋野地区消防屯所建設 (建築主体) 工事	
												図面内容	仕上表
												縮尺 A1 1:50 A3 1:100	図面 区分 建築意匠 図面 番号 A-09

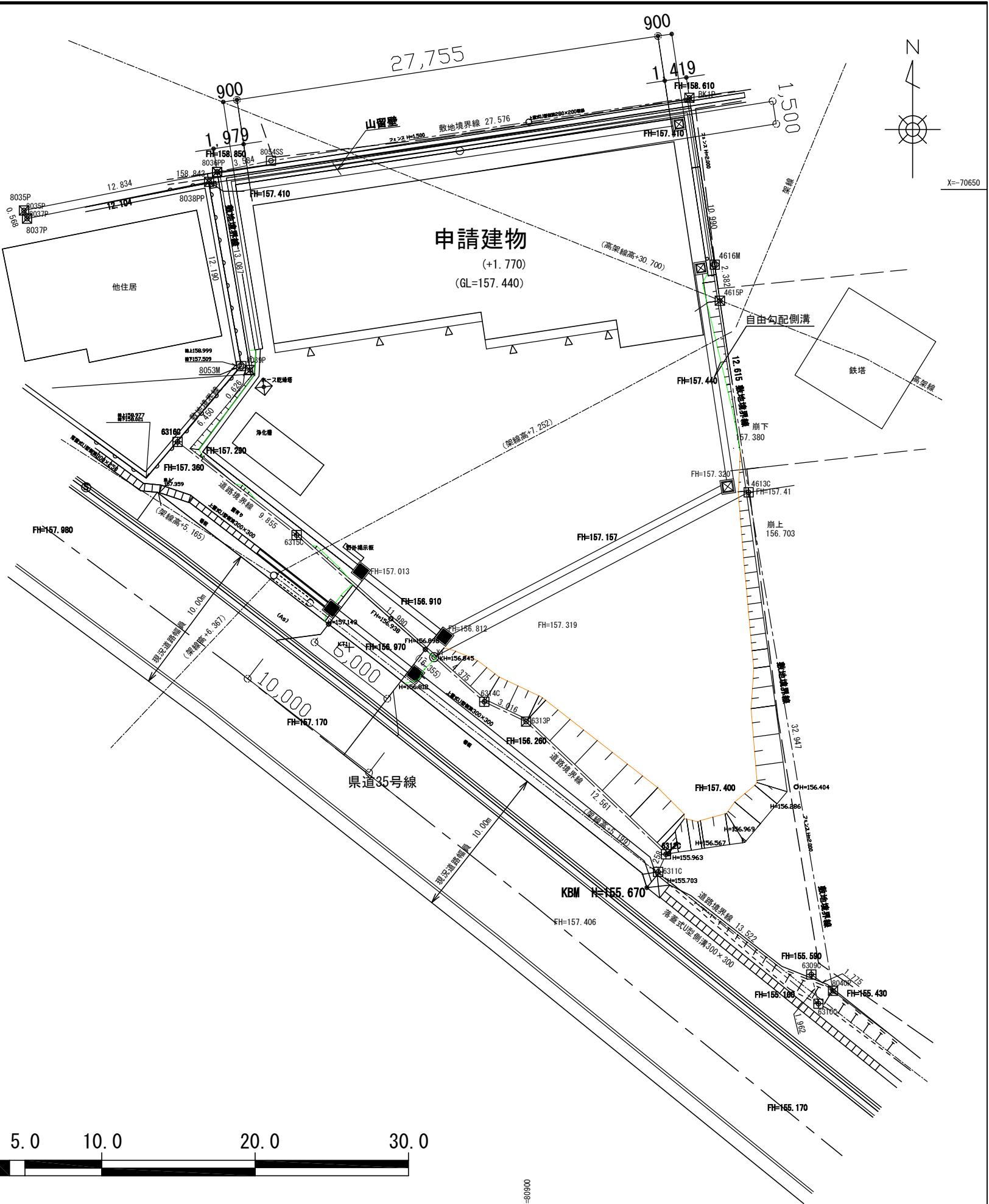


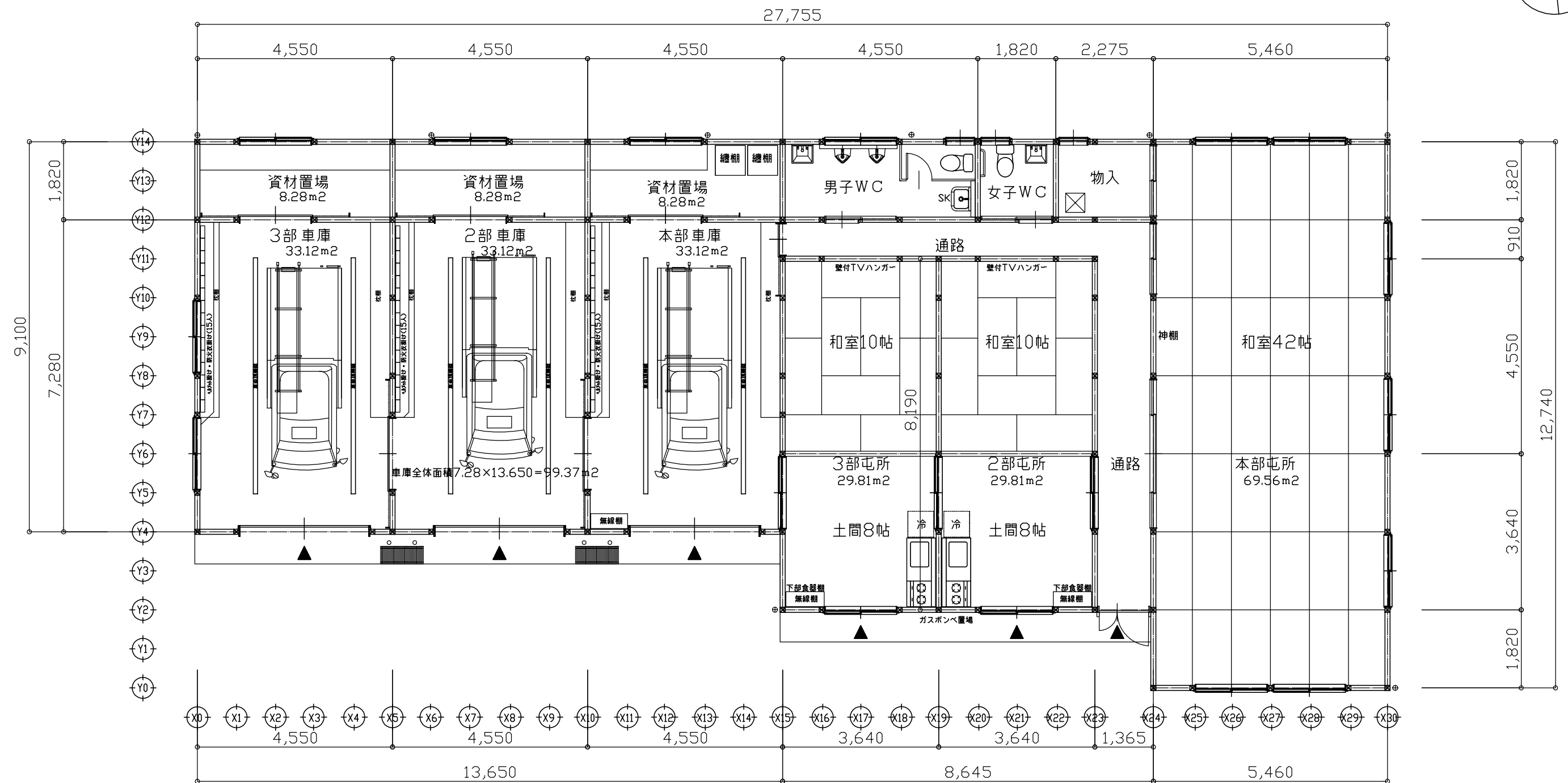
付近見取図

計画概要	
地名地番	釜石市橋野町第38地割 34-1
用途地域	都市計画区域外
防火地域	指定なし 22条地域 指定なし
建ぺい率	無し
容積率	無し
敷地面積	912.01m ² (275.88坪)
主要用途	08990 その他 (消防屯所)
工事種別	新築

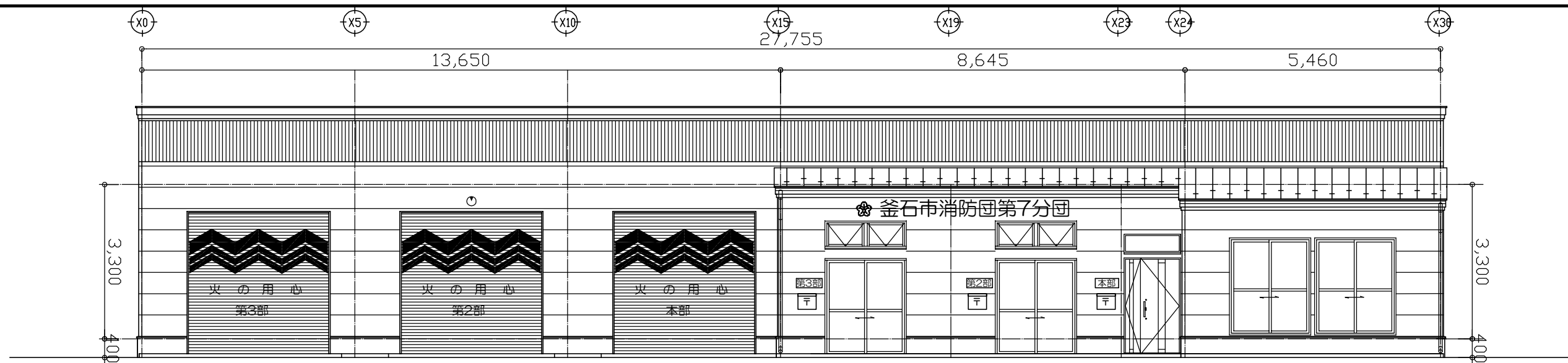
求積表

地番	34-1			
NO	Xn	Yn	Xn・(Yn+1-Yn-1)	距離
6316C	-70666.433	80876.776	254752.490965	6.450
8053M	-70661.499	80880.931	-145350.703443	12.190
8038PP	-70649.490	80878.833	986478.828870	12.104
8037P	-70651.887	80866.968	852415.016655	0.568
8035P	-70651.355	80866.768	-875158.334385	12.834
8036PP	-70648.845	80879.355	-1041010.731075	13.087
8039P	-70661.755	80881.503	-2315373.726085	30.949
4615P	-70657.244	80912.122	-2295653.857560	12.615
4613C	-70669.720	80913.993	-521047.845560	32.947
8040P	-70702.205	80919.495	-289030.614040	1.775
6309C	-70701.132	80918.081	66953.972004	1.962
6310C	-70703.038	80918.548	705828.428354	13.522
6311C	-70694.455	80908.098	702702.882700	1.258
6312C	-70693.305	80908.608	608386.582830	12.561
6313P	-70684.663	80899.492	836906.409920	3.016
6314C	-70683.367	80896.768	1057140.436852	16.355
6315C	-70672.509	80884.536	1412884.799928	9.855
合計			1824.036930	
合計面積			912.0184650	
地積			912.01	m ²

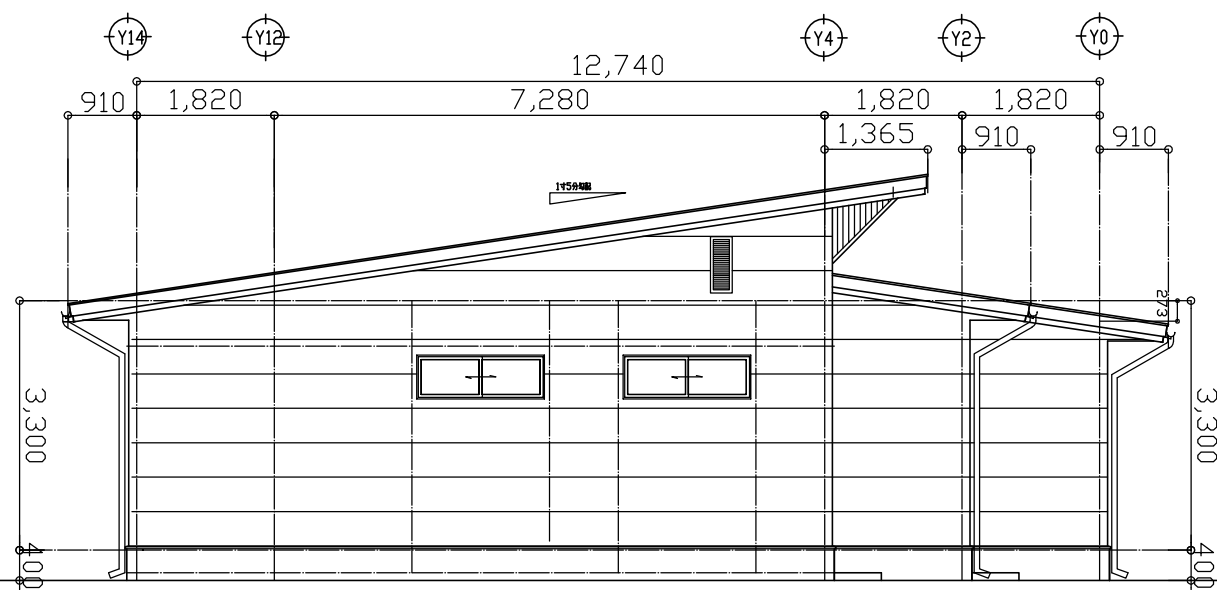




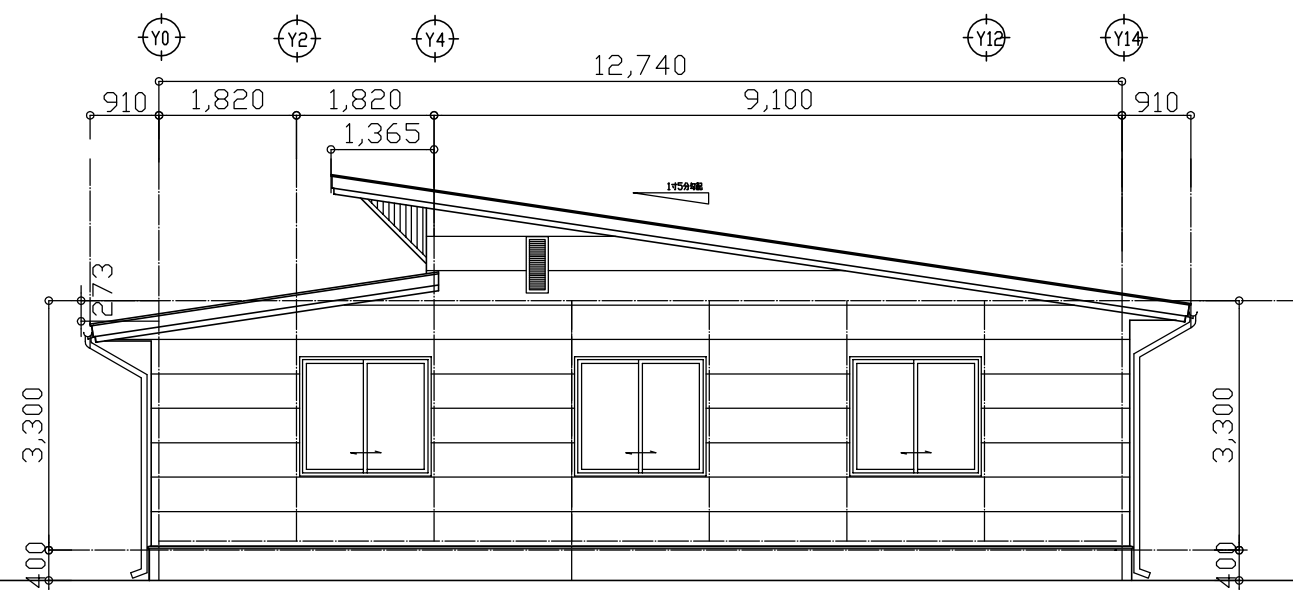
床面積 $27.755 \times 9.100 = 252.5705$
 $1.820 \times 8.645 = 15.7339$
 $5.460 \times 3.640 = 19.8744$
 $= 288.1788 \text{ m}^2$
 $= 288.17 \text{ m}^2 (87.17 \text{ 坪})$



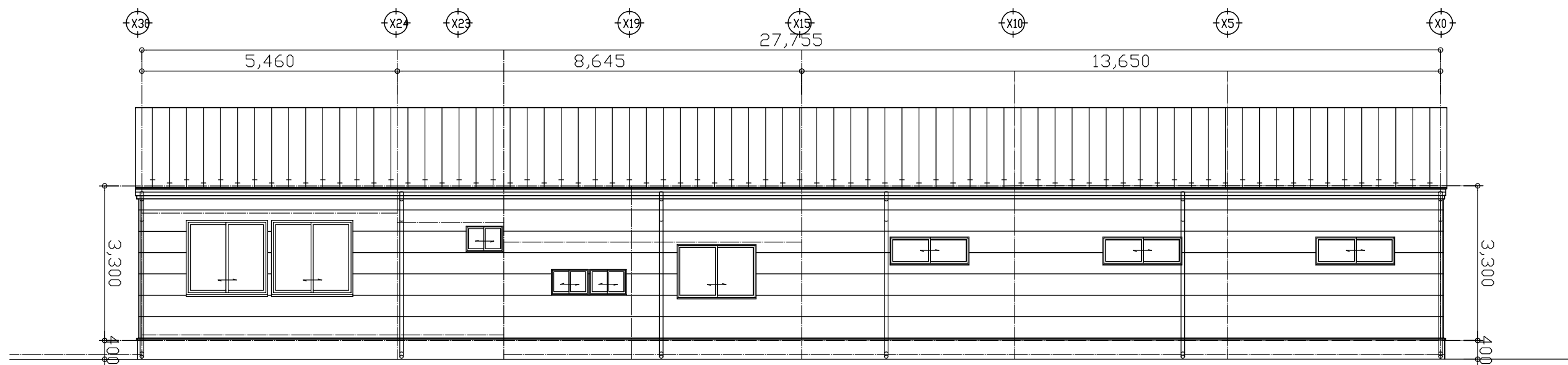
南側立面図



東側立面図



西側立面図



北側立面図



YAHATA ARCHITECTS STUDIO
株式会社 八幡建設建築設計事務所
岩手県釜石市南町第4地割2号番地12
TEL0193-23-6438 FAX0193-23-6712

一級建築士事務所
岩手県
第お(2711)1270号
一級建築士登録
第199484号
八幡康正

承認

審査

検図

製図

特記

改訂番号 改訂月日 改訂内容

業務番号 工事名称

2023-10 橋野地区消防屯所建設(建築主体)工事

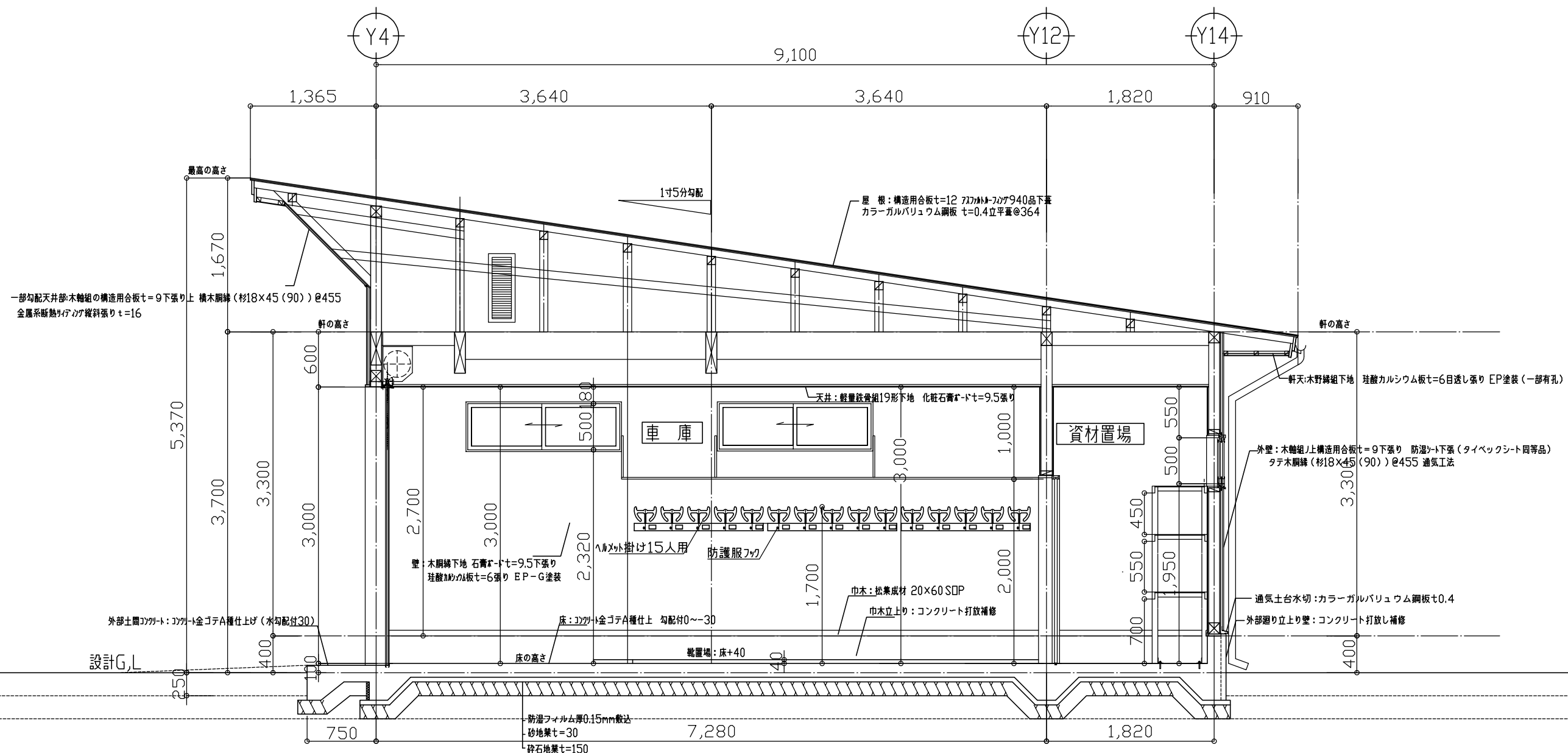
図面内容

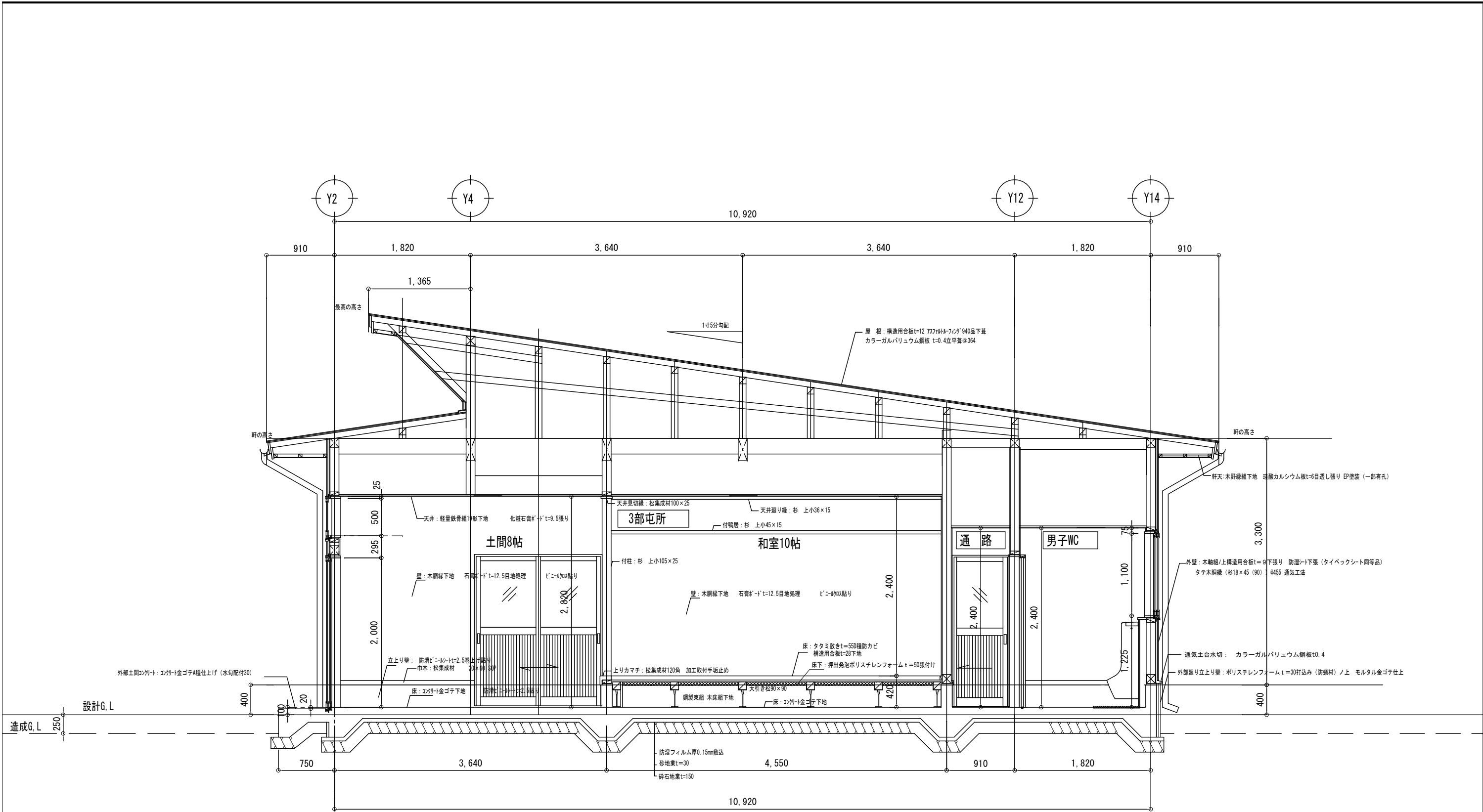
立面図

縮尺 A1 1:50 A3 1:100

図例 建築意匠

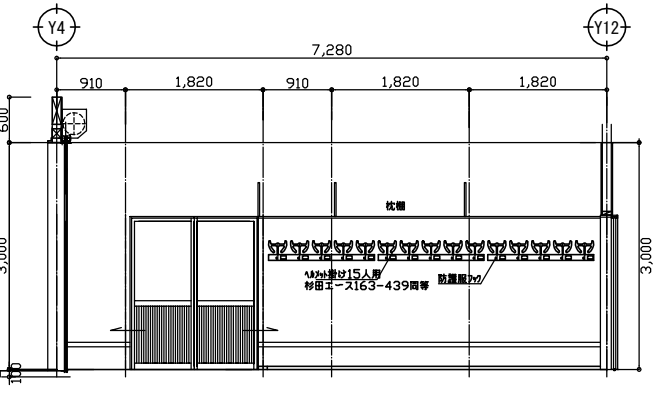
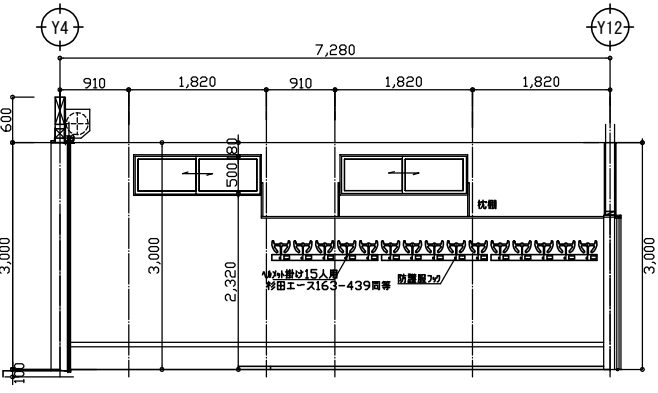
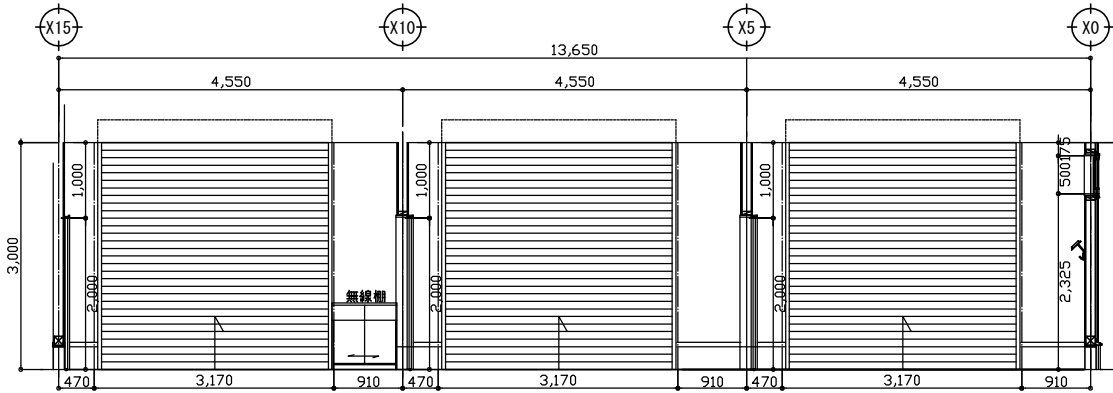
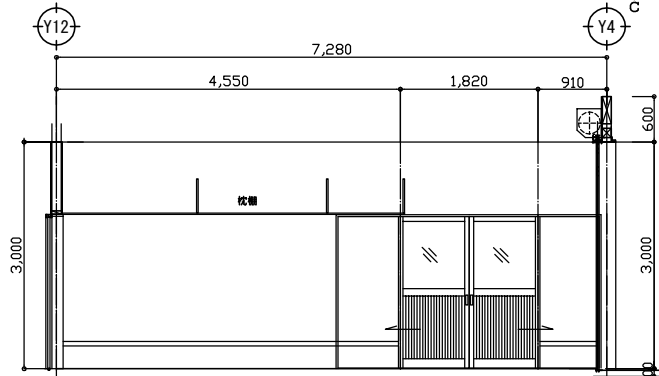
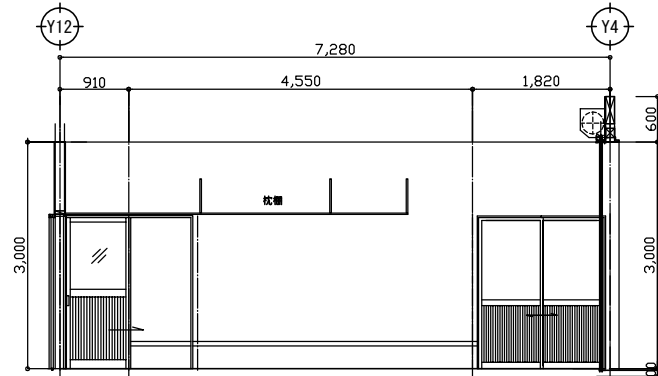
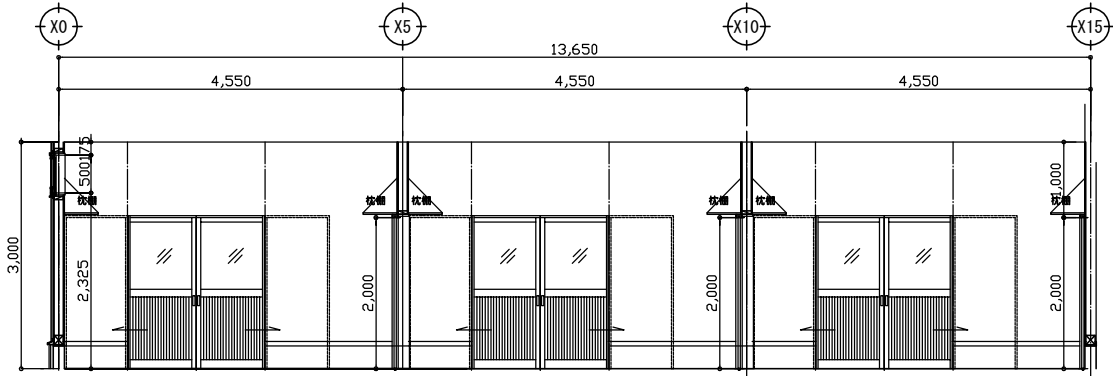
図番 A-12





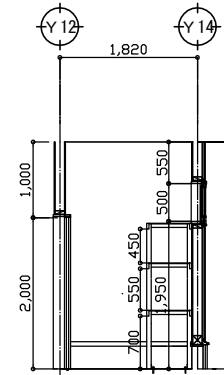
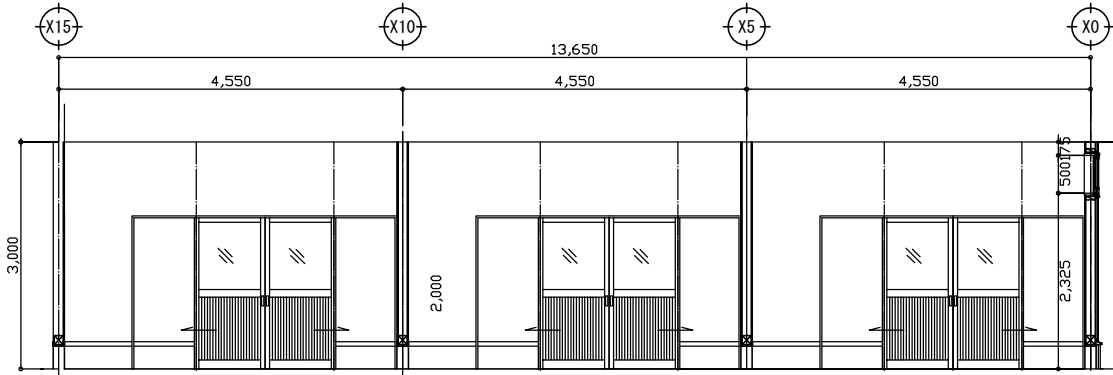
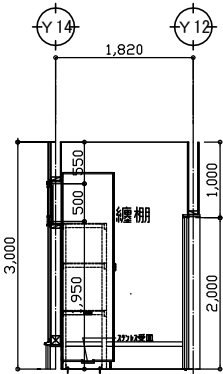
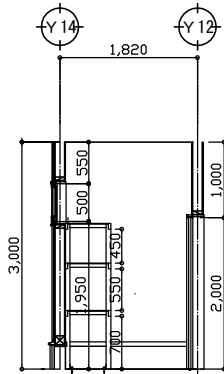
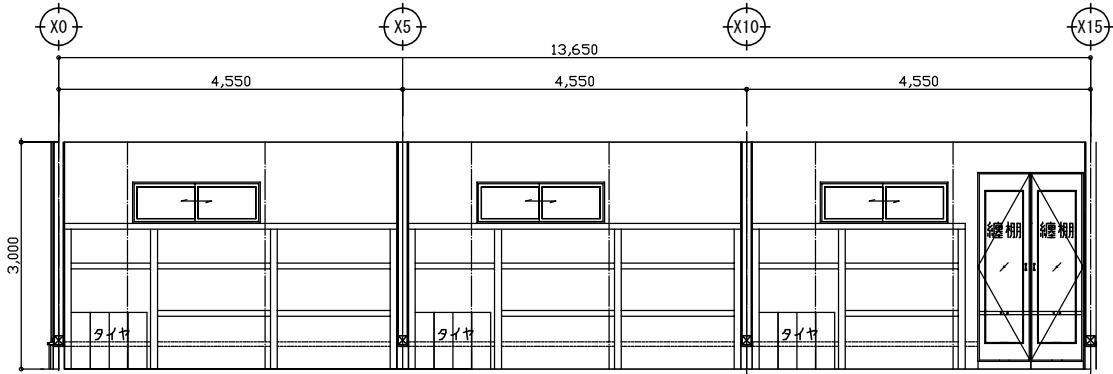
本部 2部 3部

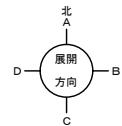
車庫	仕上表
天井	軽量鉄骨組19形下地 化粧石膏ボード=9.5張り
壁	木胴縁下地、石膏ボード=9.5下張り 珪藻土=6張り EP-G塗装
巾木	コンクリート打放補修 松集成材=20、SDP H60
床	リブ金ゴテA種仕上 勾配付0～30 白線ライン入れ W150t1.5



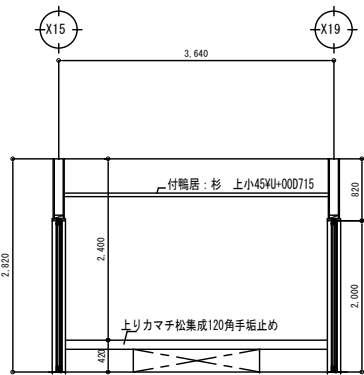
本部 2部 3部

資材置場	仕上表
天井	軽量鉄骨組19形下地 化粧石膏ボード=9.5張り
壁	木胴縁下地、石膏ボード=9.5下張り 珪藻土=6張り EP-G塗装
巾木	コンクリート打放補修 松集成材=20、SDP H60
床	リブ金ゴテA種仕上

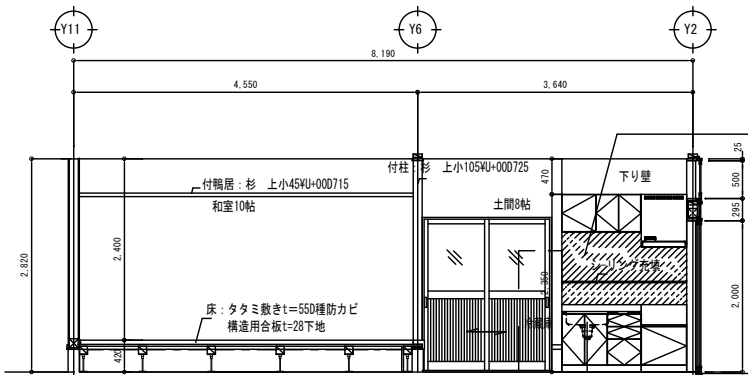




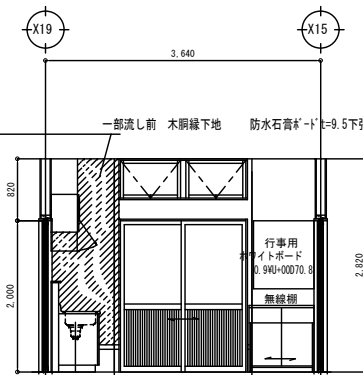
2部 3部 屯所 和室		仕上表
天井	軽量鉄骨組19形下地 石膏ボードt=9.5下張り、ビニール貼り	
壁	木胴縁下地、石膏ボードt=12.5下張り ビニール貼り	付鴨居: 杉 上小45KU+000715
巾木	杉: 寄杉55KU+000725、ノール杉18KU+00079	
床	構造用合板t=28下地、タタミ敷きt=550種 押出発泡ポリスチレンフォームt=50張付 鋼製束柱 木床組下地 大引き松90KU+000790	



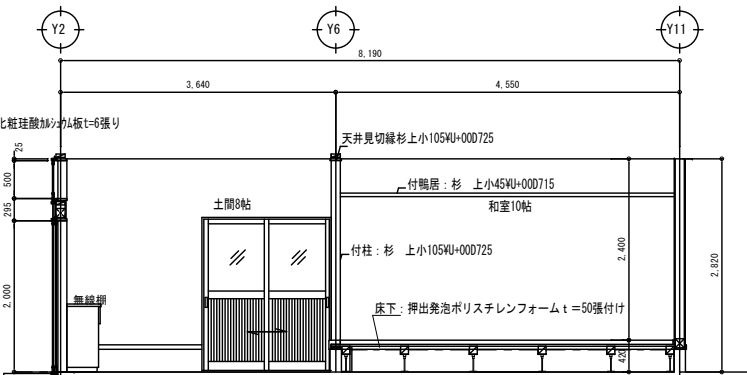
3部屯所 A



3部屯所 B

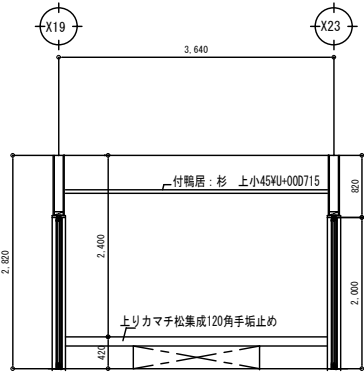


3部屯所 C

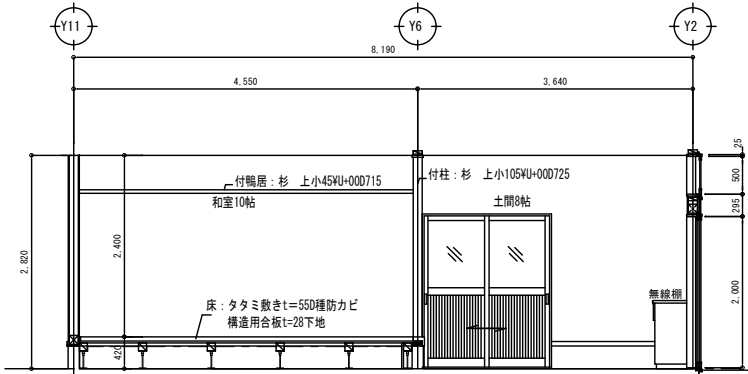


3部屯所 D

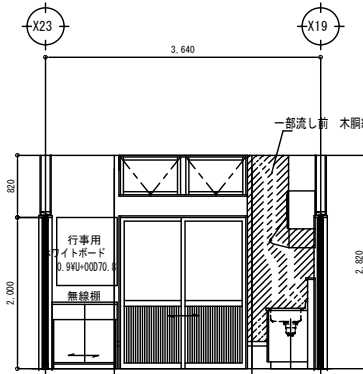
2部 3部 屯所 土間		仕上表
天井	軽量鉄骨組19形下地 化粧石膏ボードt=9.5張り	
壁	木胴縁下地 石膏ボードt=12.5目地処理 ビニール貼り	
巾木	打放精修床材巻上、 松集成材t=20、SOP H60	
床	コンクリート金ゴテ下地 防滑ビニールt=2.5貼り	



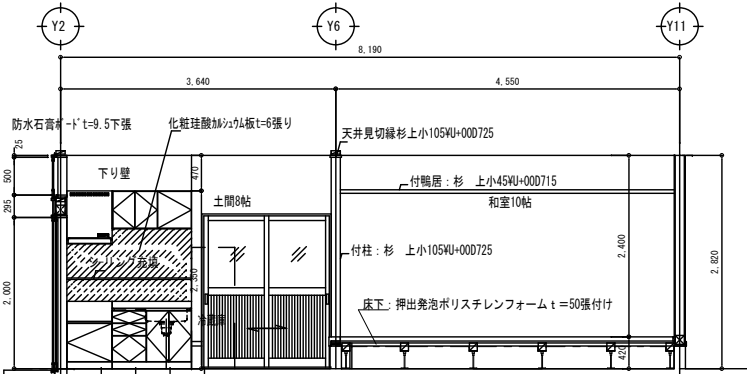
2部屯所 A



2部屯所 B

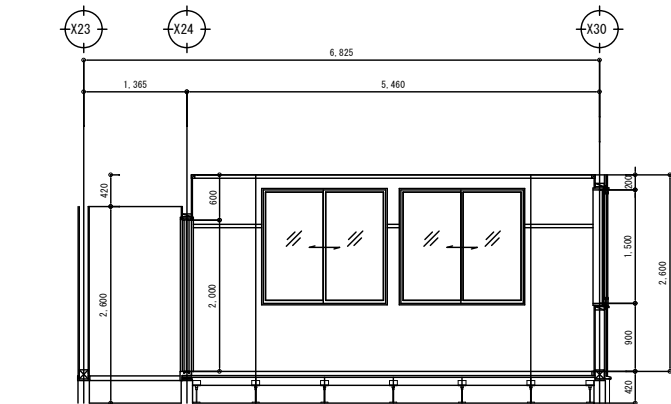


2部屯所 C

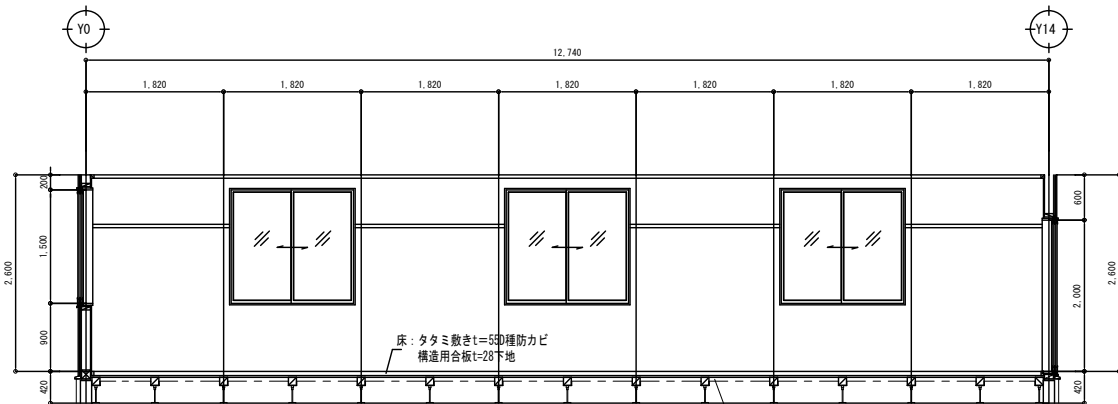


2部屯所 D

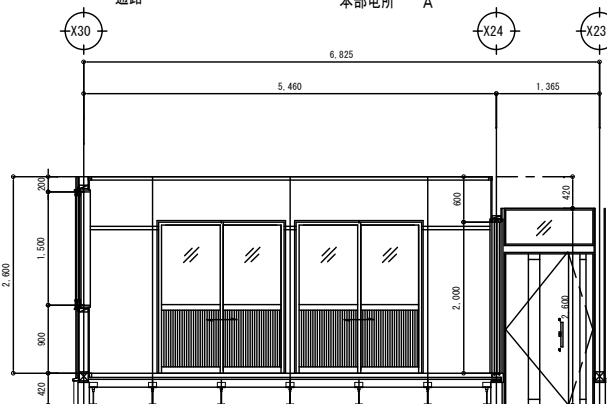
本部 屯所 和室		仕上表
天井	軽量鉄骨組19形下地 石膏ボードt=9.5下張り、ビニール貼り	
壁	木胴縁下地、石膏ボードt=12.5下張り ビニール貼り	付鴨居: 杉 上小45KU+000715
巾木	杉: 寄杉55KU+000725、ノール杉18KU+00079	
床	構造用合板t=28下地、タタミ敷きt=550種 押出発泡ポリスチレンフォームt=50張付 鋼製束柱 木床組下地 大引き松90KU+000790	



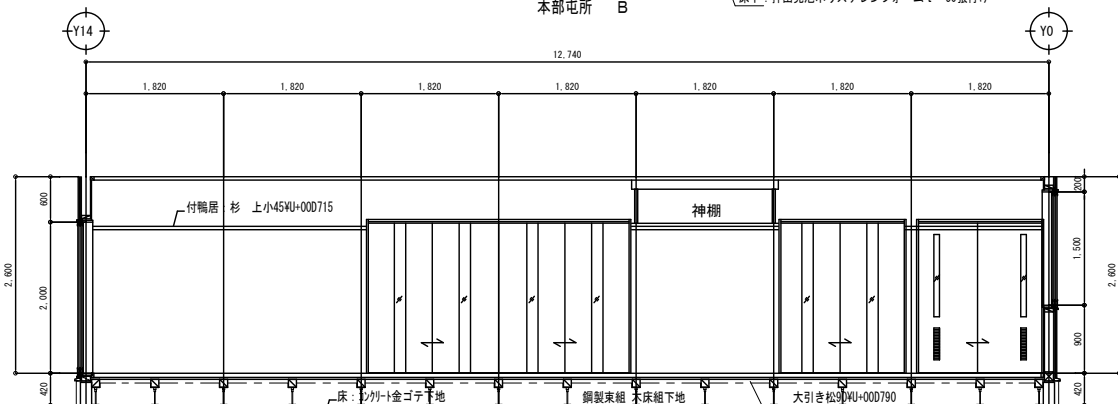
本部屯所 A



本部屯所 B



本部屯所 C



本部屯所 D



YAHATA ARCHITECTS STUDIO
株式会社 八幡建設建築設計事務所
岩手県釜石市岡石町第4地割2-6番地1-2
TEL0193-23-6438 FAX0193-23-6712

一般建築士事務所
岩手県
第お (2711) 1270号
一般建築士登録
第199454号
八幡康正

承認

審査

検図

製図

特記

改訂番号

改訂月日

改訂内容

業務番号

工事名称

橋野地区消防屯所建設(建築主体) 工事

図面内容

展開図 2

縮尺

A1 1:50

A3 1:100

図面

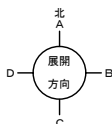
区分

建築意匠

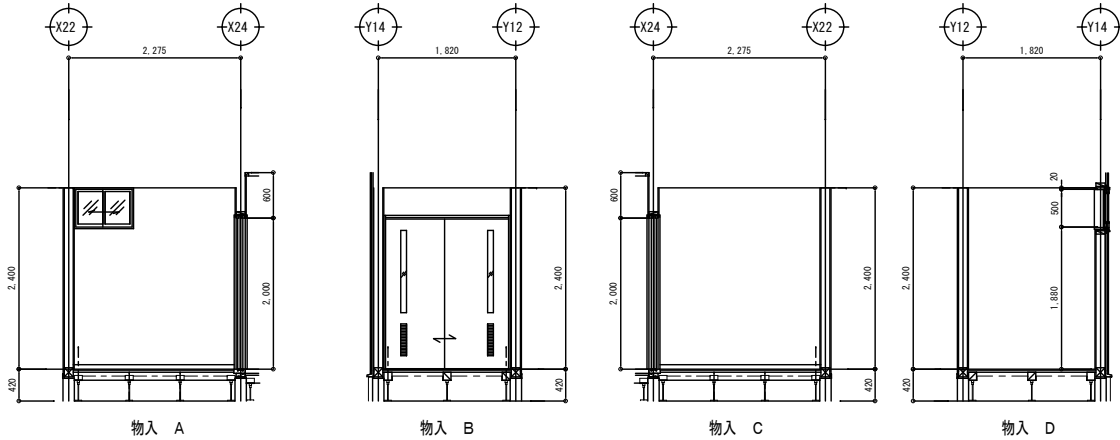
図面

番号

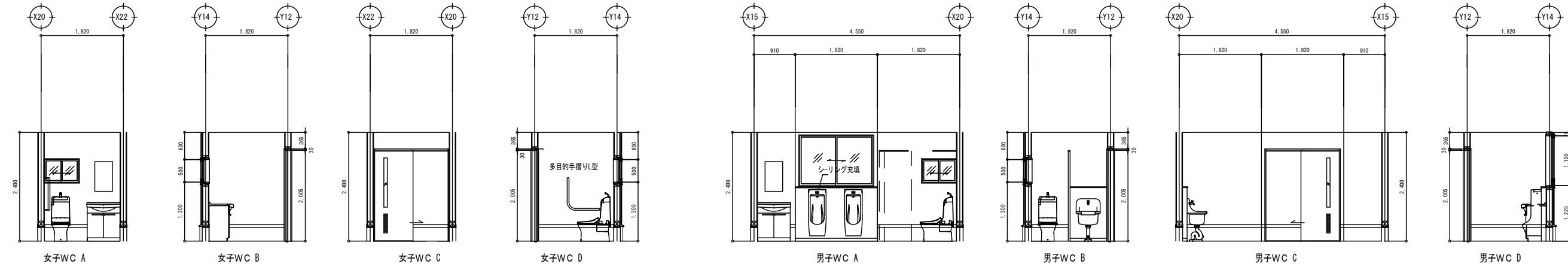
A-17



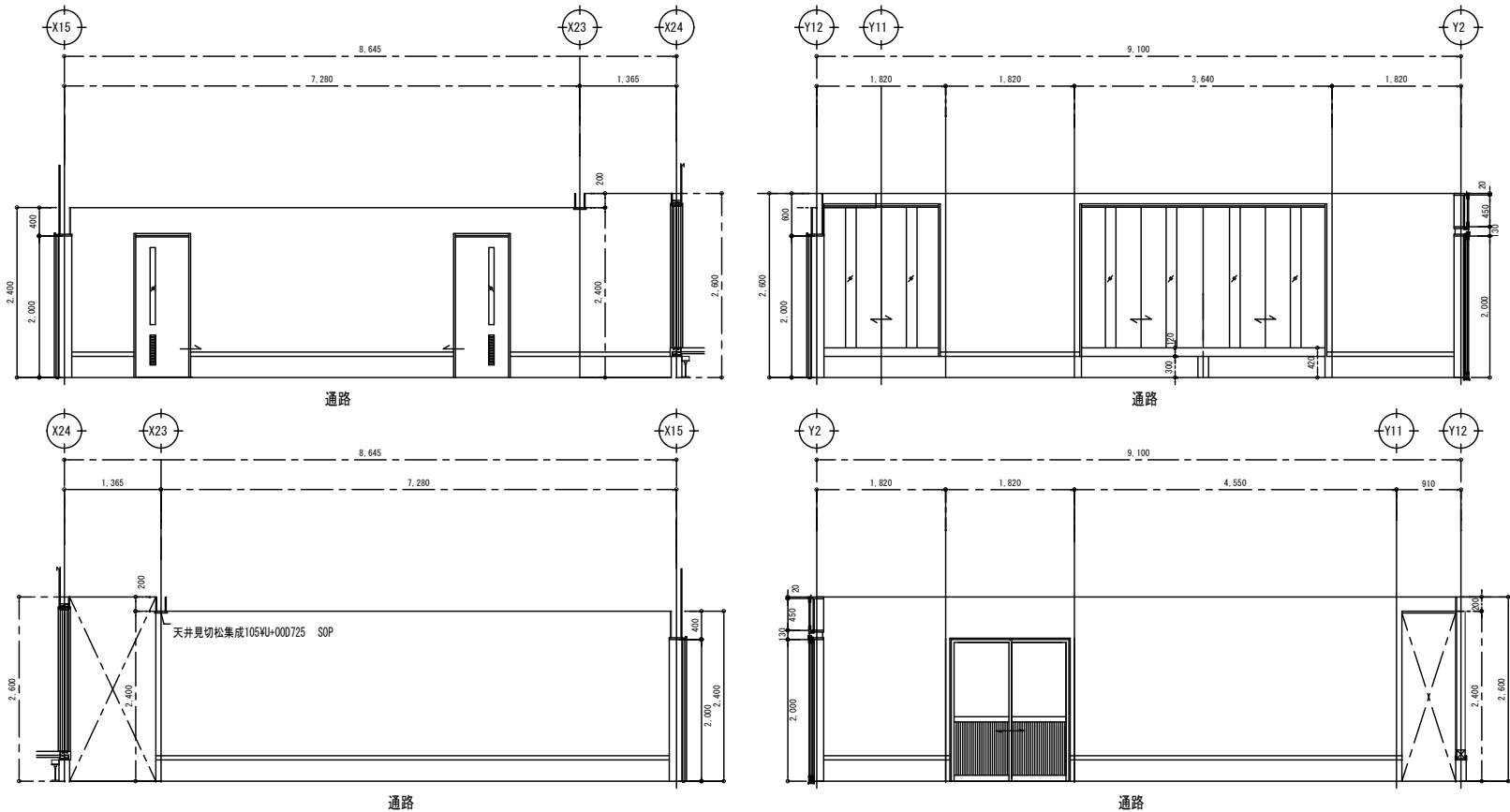
物入	仕上表
天井	軽量鉄骨組19形下地 押入用化粧石膏板 t=9.5下張り
壁	木脚縁下地 押入用化粧石膏板 t=9.5下張り
巾木	松集成材 t=20、SOP H60
床	構造用合板 t=28下地、天然木化粧パナゲ t=12張り 押出発泡ポリスチレンフォーム t=50張付



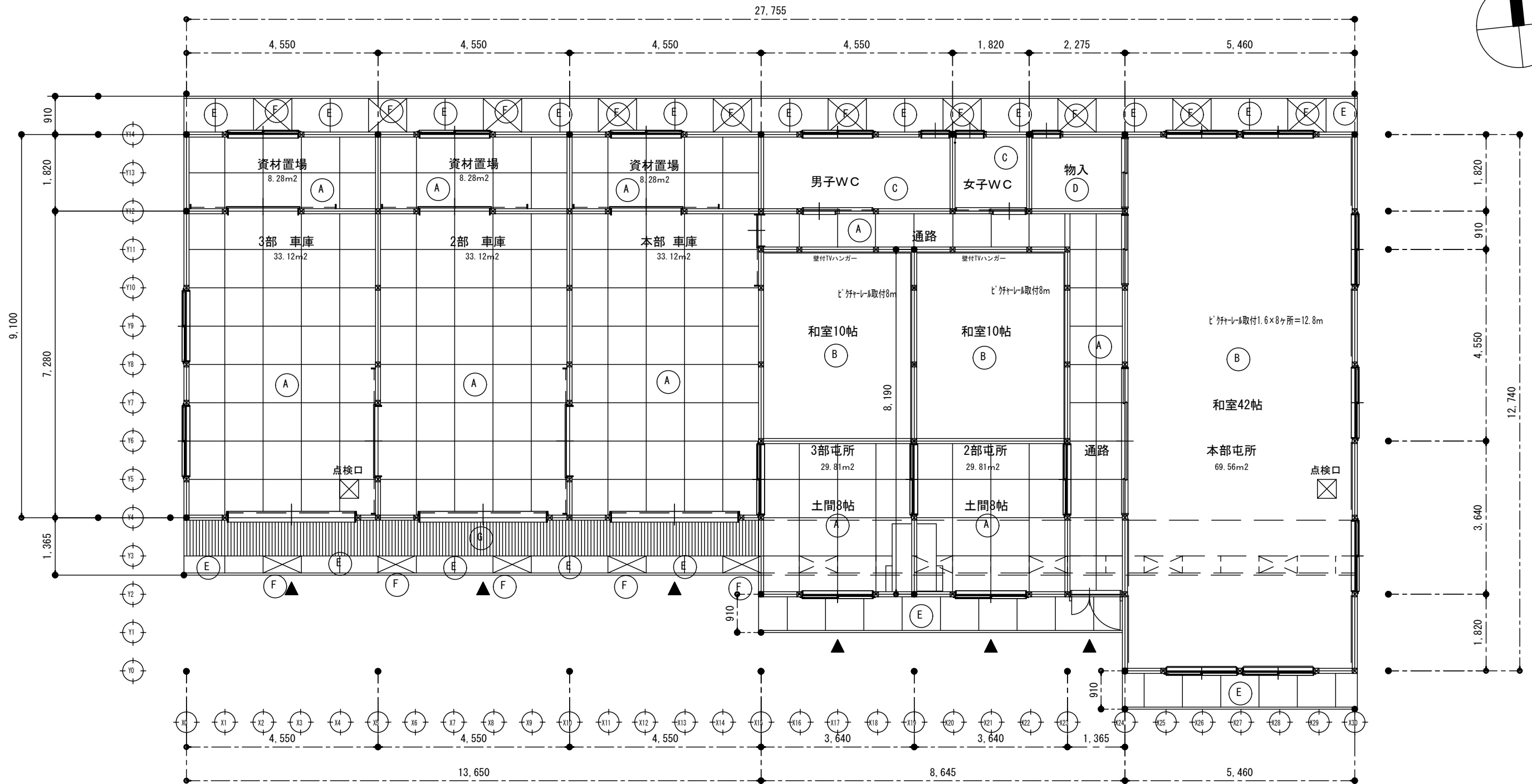
女子、男子 WC	仕上表
天井	軽量鉄骨組19形下地 防水石膏板 t=9.5下張り、ビニルクロス貼
壁	木脚縁下地、防水石膏板 t=9.5下張り ビニルクロス貼
巾木	打放補修床材巻上 松集成材 t=20、SOP H60
床	コケシ金ゴテ下地 長尺シート貼 t=2.0



通路	仕上表
天井	軽量鉄骨組19形下地 化粧石膏板 t=9.5張り
壁	木脚縁下地 石膏板 t=12.5目地処理 ビニルクロス貼
巾木	打放補修 松集成材 t=20、SOP H60
床	コケシ金ゴテ下地

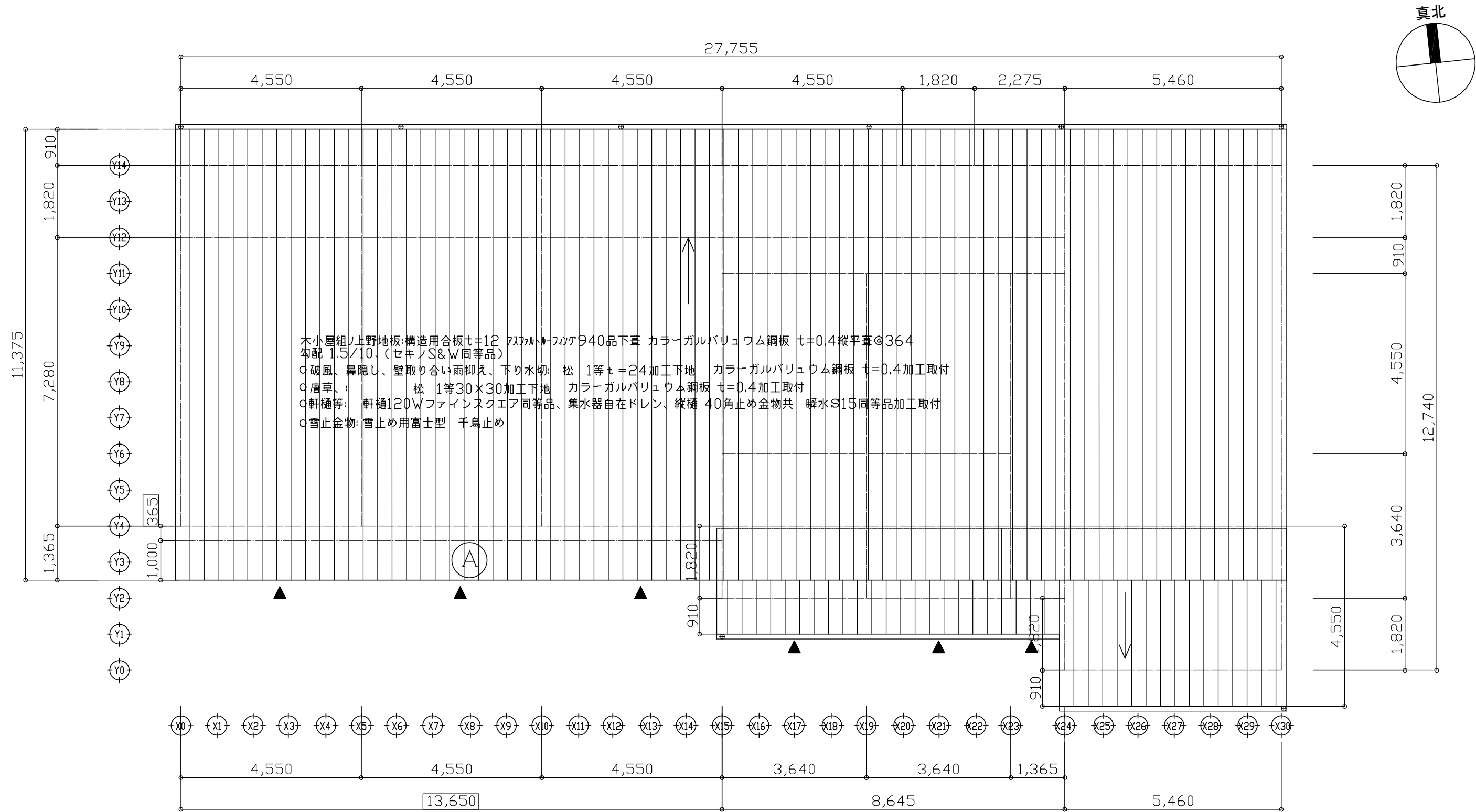


	YAHATA ARCHITECTS STUDIO 株式会社 八幡建設建築設計事務所 岩手県釜石市岡石町第4地割2-6番地1-2 TEL0193-23-6438 FAX0193-23-6712	一級建築士事務所 岩手県 第お (2711) 1270号 一級建築士登録 第199454号 八幡建設	承認	審査	検図	製図	特記	改訂番号	改訂月日	改訂内容	業務番号 2023-10	工事名称 橋野地区消防屯所建設(建築主体) 工事			
													図面内容		
			展開図 3										縮尺 A1 1:50 A3 1:100	図面 区分 建築意匠	
													図面 番号 A-18		



A	軽量鉄骨組19形下地 化粧石膏板・t=9.5張り
B	軽量鉄骨組19形下地 石膏板・t=9.5目地処理 ビニールクロス貼り
C	軽量鉄骨組19形下地 防水石膏板・t=9.5目地処理 ビニールクロス貼り
D	軽量鉄骨組19形下地 押入用化粧 石膏板・t=9.5下張り
E	木野縁組 杉1等45YU+00D740@455下地 珪酸カルシウム板t=6目透し張り EP塗装
F	木野縁組 杉1等45YU+00D740@455下地 有孔珪酸カルシウム板t=6目透し張り EP塗装 開口率4.4%
G	木軸組の構造用合板t=9下張り上 金属系断熱材「イソグ」縦斜張り t=16 タイベックシート下張り、 横木胴縁下地 (スマートスパン柄同等品)

天井伏図 1/100



屋根伏図 1/100

床面積 $27.755 \times 9.100 = 252.5705$
 $1.820 \times 8.645 = 15.7339$
 $5.460 \times 3.640 = 19.8744$
 $= 288.1788 \text{m}^2$
建築面積 $0.365 \times 13.650 = 4.98225$
 $= 293.16105 \text{m}^2$
建築面積の計 $= 293.16 \text{m}^2$



YAHATA ARCHITECTS STUDIO
株式会社 八幡建設建築設計事務所
岩手県釜石市南石町第4地割26番地12
TEL0193-23-6438 FAX0193-23-6712

一級建築士事務所
岩手県
第お(2711)1270号
一級建築士登録
第199484号
八幡康正

承認

審査

検図

製図

特記

改訂番号 改訂月日 改訂内容

業務番号 2023-10

工事名称

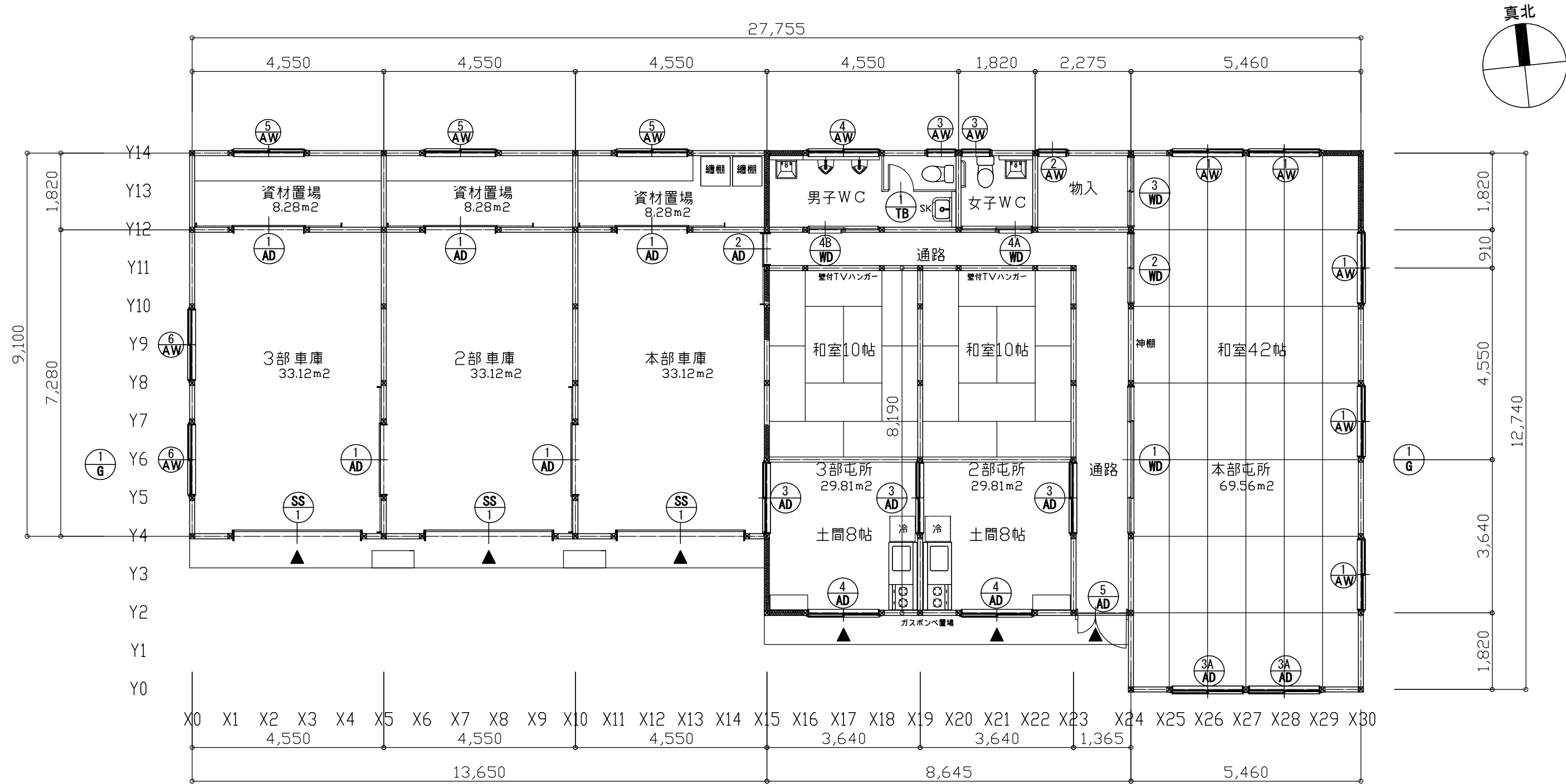
橋野地区消防屯所建設(建築主体) 工事

図面内容

屋根伏図

縮尺 A1 1:50 A3 1:100

図章 建築意匠 図番 A-20



法規の検討

部屋名	床面積 (㎡)		必要面積 (㎡)	有効面積 (㎡)	合計	判定
2、3部屯所	29.82	採光	$29.82 \times 1/20 = 1.49$	AD-4 (0.75 × 1.05 × 2) × 3.0 4.72	6.97	OK
8.190 × 3.640 = 29.82		換気	$29.82 \times 1/20 = 1.49$	AD-4 (0.75 × 0.50 × 2) × 3.0 2.25		
		排煙	$29.82 \times 1/50 = 0.60$	AD-4 0.75 × 2.0 1.50		
				0.75 × 0.5 × 2 0.75	2.25	OK
					0.75	OK
本部屯所	69.56	採光	$69.56 \times 1/20 = 3.48$	AD-3A (0.75 × 1.05 × 2) × 3.0 4.72	17.09	OK
5.46 × 12.740 = 69.56				AW-1 (1.65 × 1.5 × 5) × 1.0 12.37		
		換気	$69.56 \times 1/20 = 3.48$	AD-3A (0.75 × 2.0 × 2) 3.00		
				AW-1 (0.75 × 1.5 × 5) 5.62		
		排煙	$69.56 \times 1/50 = 1.39$	AD-3A (0.75 × 0.2 × 2) 0.30	8.62	OK
				AW-1 (0.75 × 0.6 × 5) 2.25	2.55	OK

消防法上の有窓階算定の計算

延べ床面積 288.17㎡ × 1/30 = 9.61㎡

SS-1 3.0×3.0×3ヶ所=27.0㎡
AD-4 0.75×2.0×2ヶ所=3.0㎡
AD-3 0.75×2.0×2ヶ所=3.0㎡
計=33.0㎡ OK

床面積 27.755×9.100=252.5705
1.820×8.645= 15.7339
5.460×3.640= 19.8744
=288.1788㎡
=288.17㎡ (87.17坪)

採光の補正係数 用途地域指定のない区域の場合 敷地境界まで4.0m以上の為係数 3.0 緩和 道路境界線に接する為 道路 3.0 緩和



YAHATA ARCHITECTS STUDIO
株式会社 八幡建設建築設計事務所
岩手県釜石市南町第4地割2の番地12
TEL0193-23-6438 FAX0193-23-6712

一級建築士事務所
岩手県
第お(2711)1270号
一級建築士登録
第199484号
八幡康正

承認

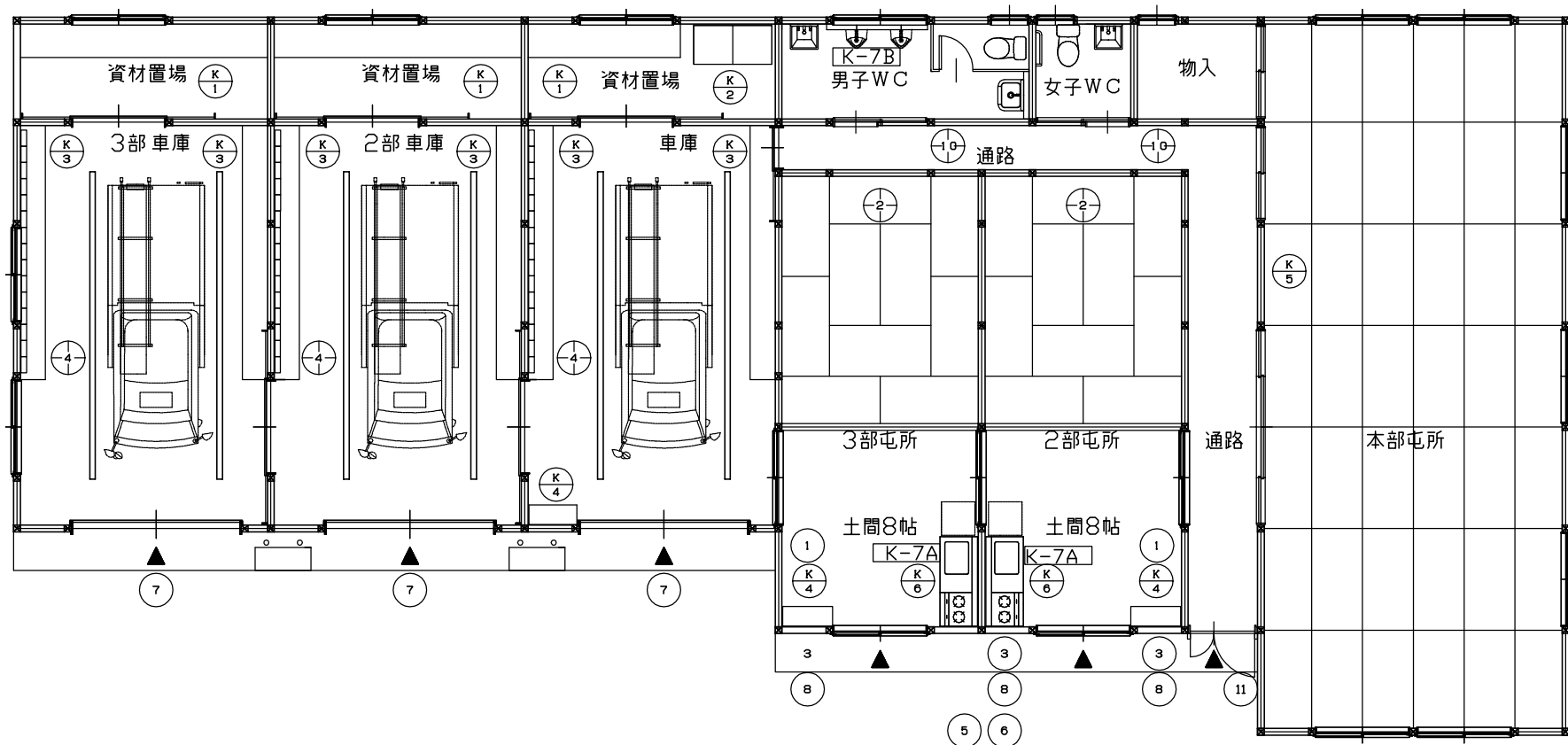
審査

検図

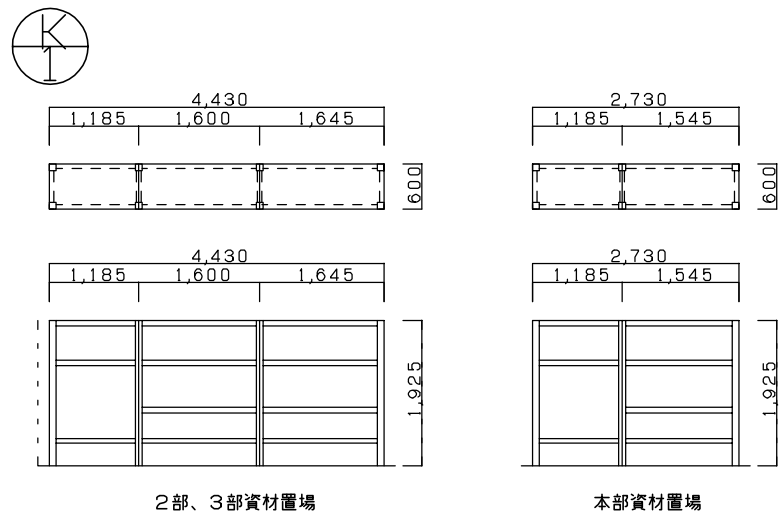
製図

特記

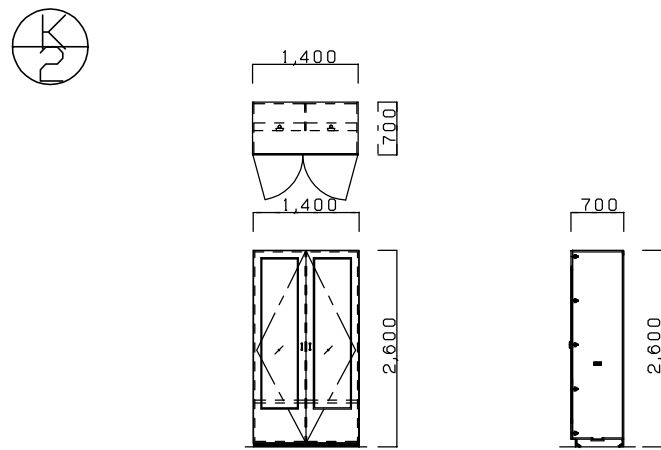
符号・数		3ヶ所	5ヶ所	1ヶ所	3ヶ所	2ヶ所	1ヶ所
室名		車庫	車庫	待機室1	屯所 本部屯所	屯所	通路
形式		手動軽量シャッター 内付タイプ	引分け戸（外付）	片引き戸（外付）	断熱引違戸	断熱引違戸 断熱外倒し排煙窓	断熱親子開き戸 断熱F1X欄間付
材種		軽量カラー鋼板t=0.8	カラーアルミ	カラーアルミ	カラーアルミ アルミ樹脂	アルミ樹脂	アルミ樹脂
仕上		メーカー仕様 文化シャッターファイター同等品	メーカー標準品	メーカー標準品	メーカー標準品	メーカー標準品	メーカー標準品
硝子			型4、下段アルミパネル	型4+A6+透明3 下段断熱アルミパネル	型4+A6+透明3 下段断熱アルミパネル 型4+A15+透明3	型4+A15+透明3 下段断熱アルミパネル	型4+A15+透明3
金物	錠	シリンダー錠 水圧開閉錠	シリンダー錠	シリンダー錠	シリンダー錠	シリンダー錠	シリンダー錠
	丁番						SUST番
	その他	ガイドレール 外部三方枠スチール焼付塗装	附属金物一式 外部：アルミ額縁 センターストッパー	附属金物一式 外部：アルミ額縁	附属金物一式 引手	附属金物一式 引手 ワンタッチ排煙オペレーター	附属金物一式
備考		付属金物一式 下部SUS40×20床見切入れ	SUSレール 内部：集成材額縁着色CL 三協STフロント同等品	SUSレール 内部：集成材額縁着色CL 三協STフロント同等品	SUSレール 内部：集成材額縁着色CL 三協STフロント同等品	SUSレール 内部：集成材額縁着色CL ランマ網戸	SUSレール 内部：集成材額縁着色CL
符号・数		(1/W)	(1/W)	(1/W)	(1/W)	(1/W)	(1/W)
室名		本部屯所	物入	女子WC 男子WC	男子WC	資材置場	車庫
形態							
形式		引違い窓	引違い窓	引違い窓	引違い窓	引違い窓	引違い窓
材種		アルミ樹脂	アルミ樹脂	アルミ樹脂	アルミ樹脂	アルミ樹脂	アルミ樹脂
仕上		メーカー標準品	メーカー標準品	メーカー標準品	メーカー標準品	メーカー標準品	メーカー標準品
硝子		ペアガラス F4+A16+FL3	ペアガラス F4+A16+FL3	ペアガラス F4+A16+FL3	ペアガラス F4+A16+FL3	ペアガラス F4+A16+FL3	ペアガラス F4+A16+FL3
金物	錠	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント 埋込式手動式開閉オペレータ取付	クレセント 埋込式手動式開閉オペレータ取付
	丁番						
	その他	附属金物一式 メーカー標準品	附属金物一式 メーカー標準品	附属金物一式 メーカー標準品	附属金物一式 メーカー標準品	附属金物一式 メーカー標準品	附属金物一式 メーカー標準品
備考		樹脂網戸 集成材額縁 着色CL	樹脂網戸 集成材額縁 着色CL	樹脂網戸 集成材額縁 着色CL	樹脂網戸 集成材額縁 着色CL	樹脂網戸 集成材額縁 着色CL	樹脂網戸 集成材額縁 着色CL
符号・数		(1/E)	(1/E)	(1/E)	(2/E)	(1/E)	(1/A) (1/B)
室名		小屋裏	男子WC	本部屯所	本部屯所	物入	女子、男子WC
形態							
形式		小屋裏ガラリ フクビ 大型ヤグリ ノープル4型同等品	常時開放式トイレブース 見込40	上吊り4枚引違い戸 固定枠見込145mm t=24 t=30	上吊り2枚引違い戸 固定枠見込145mm t=24 t=30	上吊り2枚引違い戸 固定枠見込145mm t=24 t=30	上吊り片引き戸 固定枠見込145mm t=24 t=30
材種		メーカー標準品	心材：ペーパーコア材	基材：MDF	基材：MDF	基材：MDF カラーアルミガラリ	基材：MDF カラーアルミガラリ
仕上		メーカー標準品	表面材：高圧メラミン樹脂化粧板	樹脂化粧シート貼り	樹脂化粧シート貼り	樹脂化粧シート貼り	樹脂化粧シート貼り
硝子				アクリル樹脂板t=4.0（透明）	アクリル樹脂板t=4.0（透明）	アクリル樹脂板t=4.0（透明）	アクリル樹脂板t=4.0（半透明）
金物	錠		表示付スライドラッチ錠（非常時開放方式）、ストライク	シリンダーカマ錠	シリンダーカマ錠	シリンダーカマ錠	シリンダーカマ錠 女子表示錠
	丁番		常開放式中心吊りグレビティヒンジ				
	その他		戸当り、帽子掛けフック、アルミエッチ、引手	角型引き手 戸先戸尻両側ソフトクローズ	角型引き手 戸先戸尻両側ソフトクローズ	角型引き手 戸先戸尻両側ソフトクローズ	角型引き手 戸先戸尻両側ソフトクローズ
備考		防虫ネット付	巾木：SUSHL笠木：アルミ マグネットキャッチ	メーカー付属品一式 床見切レール 柵化粧MDF	メーカー付属品一式 床見切レール 柵化粧MDF	メーカー付属品一式 床見切レール 柵化粧MDF	メーカー付属品一式 床見切レール 柵化粧MDF
		YAHATA ARCHITECTS STUDIO 株式会社 八幡建設建築設計事務所 岩手県釜石市岡石町第4地割2-6番地1-2 TEL0193-23-6438 FAX0193-23-6712	一般建築士事務所 岩手県 釜石市 〒985-0801 (2711) 1270号 一般建築士登録 第199434号 八幡直正	承認 審査 検図 製図	改訂番号 改訂月日 改訂内容	業務番号 工事名称 図面内容	縮尺 A1 1:50 A3 1:100 図章 設計 監理 建築意匠 A-22
						建具表	



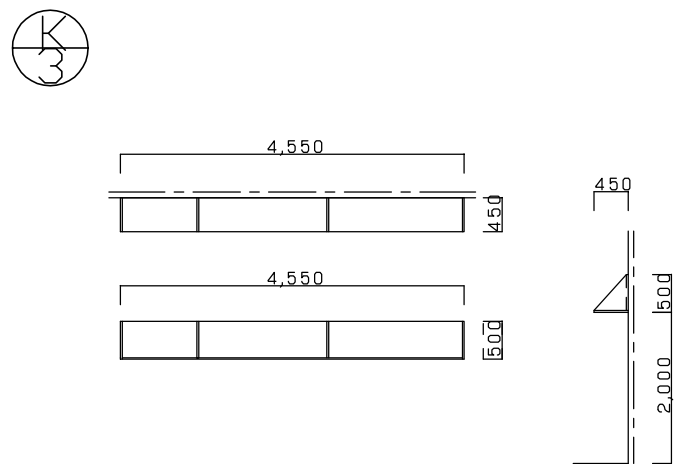
家具平面図



設置場所	各分団資材置場 3ヶ所
名称	K-1: 木棚
仕様	本体: 集成材 棚板: 合板



設置場所	本部資材置場 1ヶ所
名称	K-2: 纏棚
仕様	本体: ユニボード 扉: ユニボード+アクリル



設置場所	各部団車庫 6ヶ所
名称	K-3: 枕棚
仕様	本体: 集成材



YAHATA ARCHITECTS STUDIO
株式会社 八幡建設建築設計事務所
岩手県釜石市南石町第4地割2-6番地12
TEL0193-23-6438 FAX0193-23-6712

一級建築士事務所
岩手県
第27111270号
一級建築士登録
第199484号
八幡康正

承認

審査

検図

製図

特記

改訂番号

改訂月日

改訂内容

業務番号

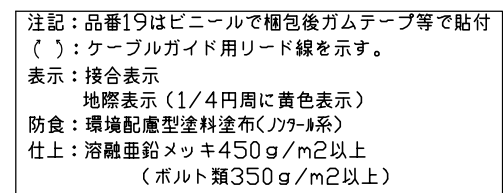
工事名称

橋野地区消防屯所建設（建築主体）工事

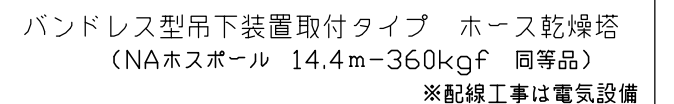
家具平面図、家具図1

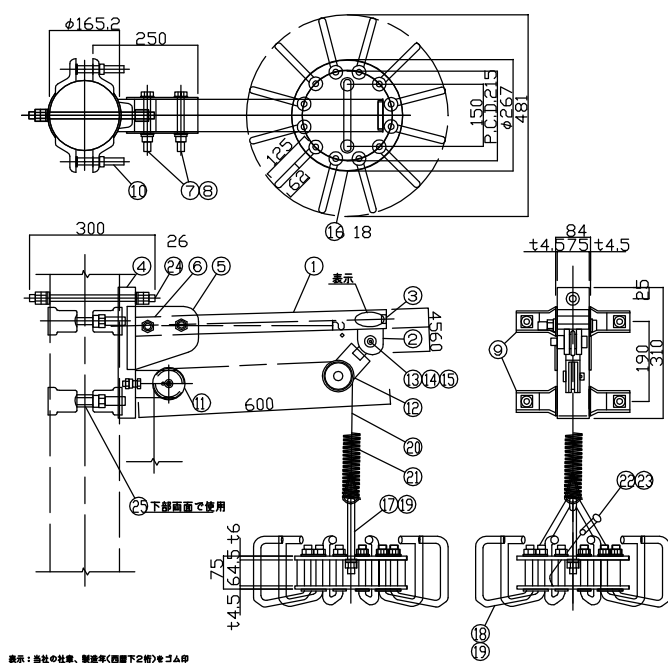
縮尺
A1 1:50
A3 1:100

図面
区分
建築意匠
A-23



付属5	コード収納箱(φ190～φ290用)鍵付	1組		日東工業
付属4	揚程制御装置付電動ワイヤ安全ｶﾞｰ	1組	SUS304	
付属3	揚程制御装置付電動ワイヤ(C002-0312-7)	1組		富士製作所
付属2	電動ワイヤ取付ﾊﾞﾝﾄﾞ(片側用)φ216.3用	上下1組	SS400	
付属1	ワイヤ式吊下装置片側12本(φ165.2用)	1組		
品番	品名	個数	材質	備考

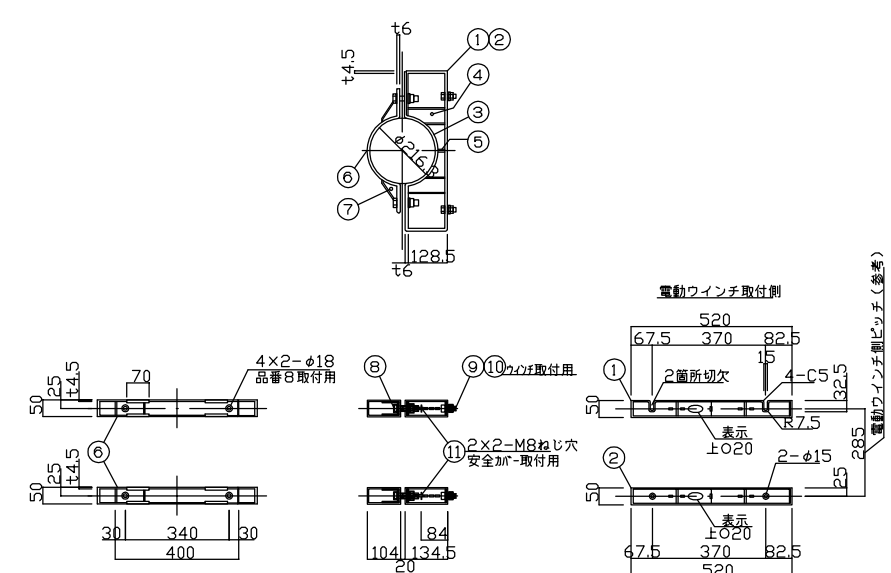




表示：各社の仕様、製造年（西暦下2桁）をゴダ印
仕上：防錆処理（※φ450φ以下は上
（※ホルト重350g/m2以上）

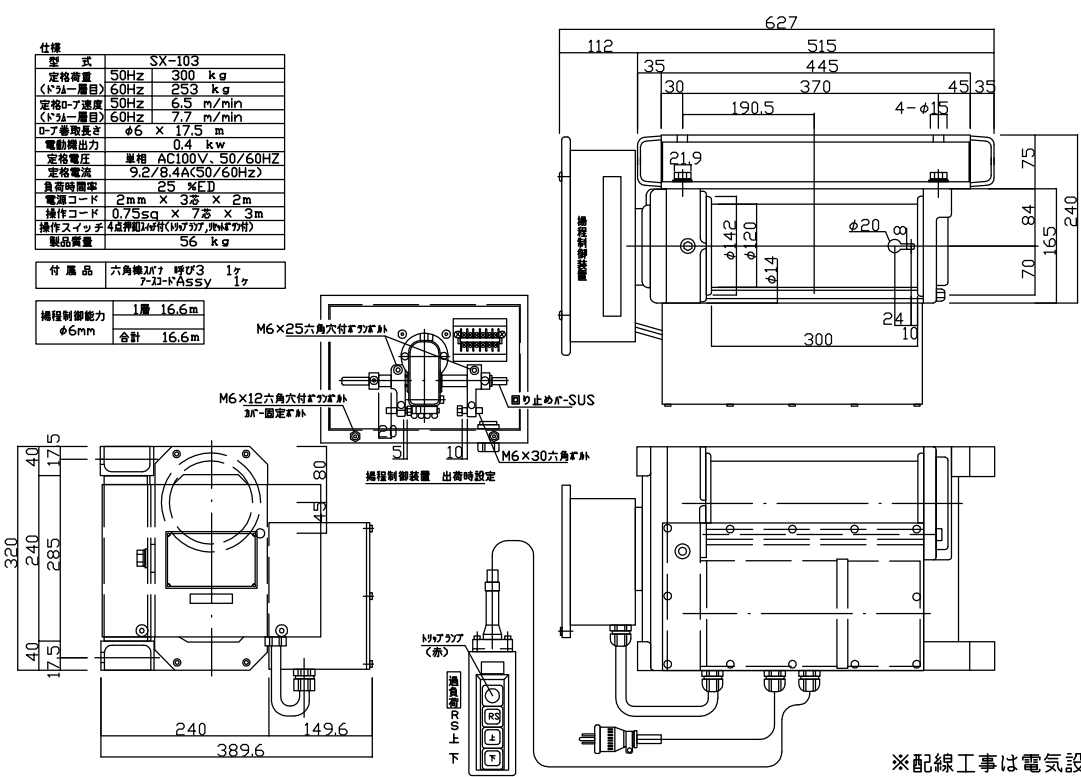
25	芯合せカラー（φ27.2×1.9-35）	2	STK400	
24	金ねじM16×300付W×2、SW×2、NX4	1	強度区分4.6	
23	消火用ホースね用口（φ10×15m）	1	防火樹脂	
22	シャックル（φ12）	1	-	
21	圧縮ばね（φ5×φ50-180 巻数14.5）	1	SUS302	
20	防火ホース（φ6.3×25m 付リブ）	1	SUS	
19	六角ナット、W、SW（M16用）	14	強度区分4	
18	ホースフック（φ16）	12	SS400	
17	ハンガーフック（φ16）	1	SS400	
16	ハンガー金物（12本吊用）	1	SS400	
15	スナップピン（呼び16）	1	SUS	
14	ホース下げ用滑車取付板（φ27.2×5.5-18	1	SUS	
13	ホース下げ用滑車取付板（M16×75×38付W×4	1	SUS	
12	ホース下げ用滑車（φ75）	1	SUS	
11	ボルト用滑車（φ50） 付六角ボルトM12×35付3種N×2	1	SUS	
10	横小判丸頭板（M16×120×95付角W、N	4	強度区分4.6	
9	ボルト（φ4.5）φ16.5.2用	2	SS400	
8	HL-Spring（M16用）	2	SUS	
7	六角板（M16×130×44付W×2、SW、N	2	強度区分4.6	
6	側板つなぎ（50×75×φ4.5）	2	SS400	
5	側板（150×170×φ4.5）	2	SS400	
4	共架金物（溝形鋼75×40×φ5-310）	1	SS400	
3	防風具（φ2）	1	SPCC	
2	ホース下げ用滑車取付板（φ9）	2	SS400	
1	共架金物（75×40×3.2-600）	1	STKR400	
品番	品名	個数	材質	備考

NAホスポール14.4m-360Kg f 用
電動ウインチ式吊下装置片側12本吊（付属品のみ）
付属1：ウインチ式吊下装置片側12本吊（φ165.2用）

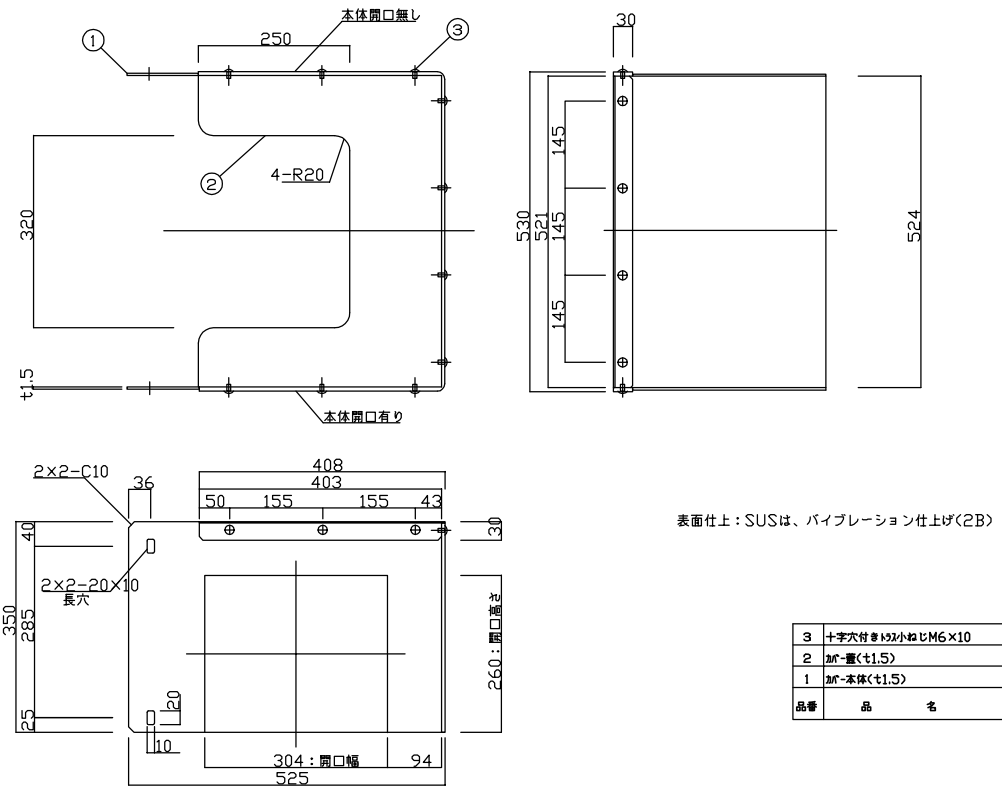


11	六角板（M16×15×15）	4	SUS304	6	取付バンドR（φ16）	2	SS400
10	1/4角金物（φ12.5）	4	ホース	5	取付ボルト（M16×25.5×φ4.5）	2	SS400
9	六角板（M16×40×40（N、SW、W）	4	強度区分4.6	4	取付ボルト（M16×24×φ4.5）	4	SS400
8	六角板（M16×70×38付W×2、SW、N	4	強度区分4.6	3	取付バンドA本体（φ16）	2	SS400
7	取付ボルト（φ50×70×φ4.5）	8	SS400	2	取付バンドA下部用金物（φ4.5）	1	SS400
				1	取付ボルト（M16×25.5×φ4.5）	1	SS400
品番	品名	個数	材質	品番	品名	個数	材質

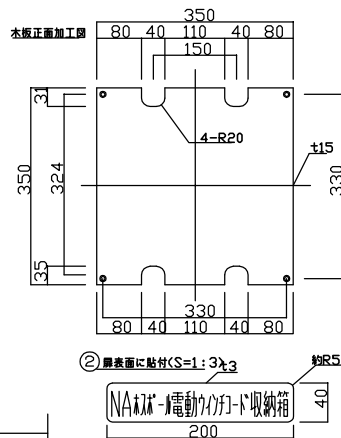
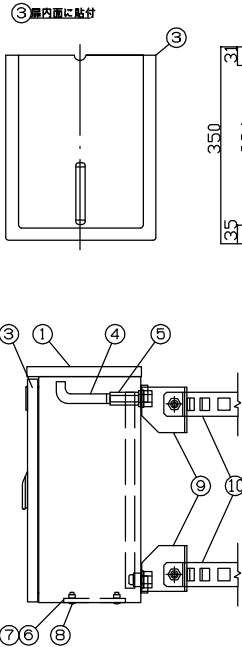
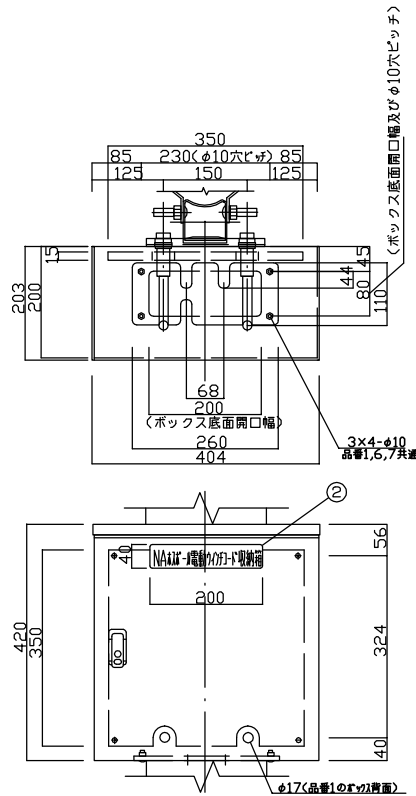
付属2：電動ウインチ取付バンド（片側用）φ216.3用



付属3：揚程制御付電動ウインチ（C002-0312-7）50Hz用 東日本



付属4：揚程制御付電動ウインチ用安全カバー

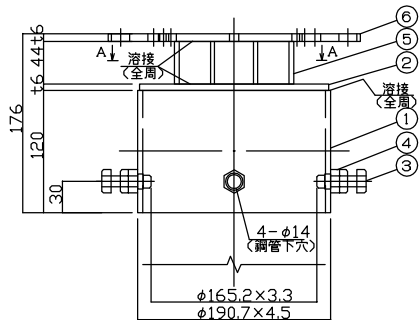
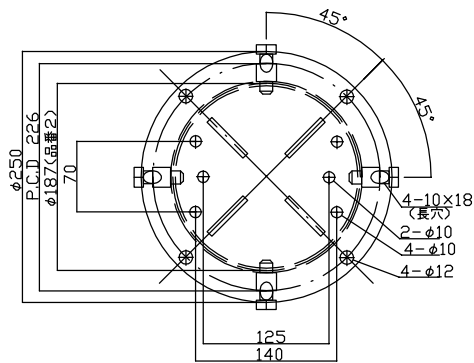


10	コード収納箱取付バンド(TCSB-19)	上下組	SS400	イワブチ
9	コード収納箱取付金具(TCS-2)	上下組	SS400	イワブチ (一部組込)
8	十字穴付小ねじM6×20付SW,W,N	4	SUS304	
7	パッキン(260×110×t2)	1	EPDM	
6	フレック(260×110×t1)	1	SUS	
5	高ワット(M16×H50)	2	SWCH	
4	コード収納用ハンガー・ボルト(M16)	2	SS400	
3	取り扱い説明書入れ(308×222×H17.5)	1	樹脂	日東工業
2	ネームプレート(白)200×40×t3	1	アクリル	日東工業
1	コード収納箱(KK-07895-2)	1組	SUS	日東工業
品番	品名	個数	材質	備考

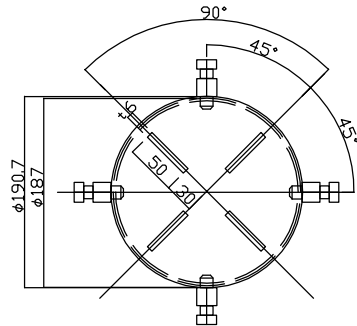
注記：品番3を扉内面に貼付
表示：品番2(扉表面)を貼付
仕上：防錆面銀めっき350g/7以上(品番4,5)
品番1は、日東工業標準品(型番SD20-44A)の塗装色仕上げ(日建工D25-70B)
品番6は、ハイブレーション仕上(2B)

※配線工事は電気設備

付属5：コード収納箱(φ190~φ290用)鍵付



サイレン用取付用架台



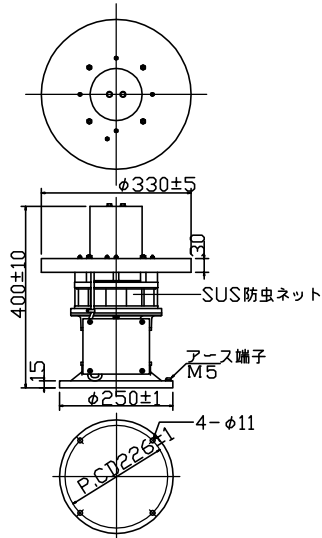
A-A矢視断面図

6	ナット取付フレック(φ250×t6)	1	SS400	
5	雲台リアプレート(44×50×t6)	4	SS400	
4	六角ナットM12<1種>	4	強度区分4	
3	六角ナットM12×40×40 付3種N	4	強度区分4.6	
2	雲台取付フレック(φ187-t6)	1	SS400	
1	支持管(φ190.7×4.5-120)	1	STK400	

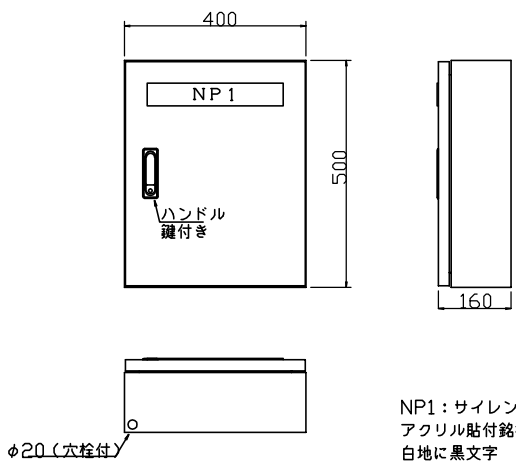
品番	品名	個数	材質	備考
----	----	----	----	----

無指向型 モーターサイレン

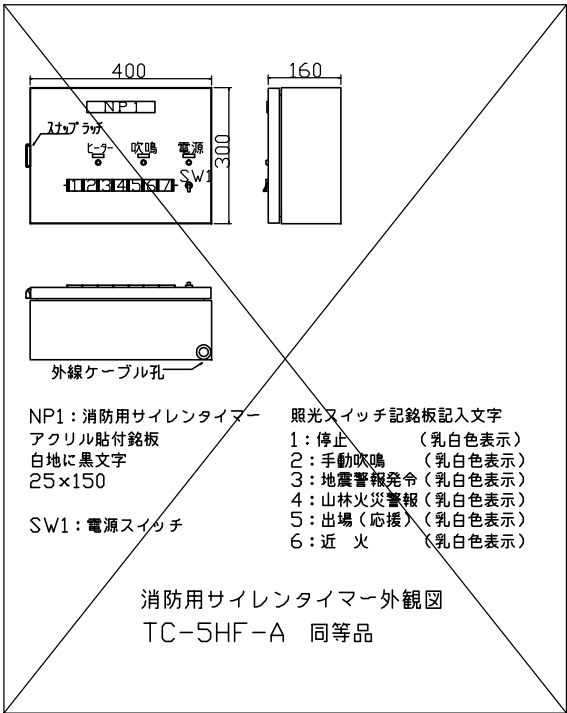
型 式	容量 (W)	定格 消費 電力 (W)	消費 電流 (A)	回転数 R.P.M	定格 時間 (分)	音圧/1m d0±3	音響 周波数 (Hz)	φA	φB P.C.I	φC	D	H	質量 Kg	ヒーター 容量	カタログ No.
AQN (AQN-H)	200	330	3.5	200	5	121	700	250	230	4-φ8.5	310 (330)	343	11 (11)	100W	P-102 (PH-102)
AC100V 1φ 50/60Hz	400	650	7.0	7500	5	126	750	250	226	4-φ11	310 (330)	405	14 (17)	100W	P-103 (PH-103)
	750	960	10.0	7200	5	128	720	250	226	4-φ11	310 (330)	435	16 (21)	100W	P-104 (PH-104)
AQN (AQN-H)	200	330	1.75	7000	5	121	700	250	230	4-φ8.5	310 (330)	343	11 (11)	100W	P-202 (PH-202)
AC200V 1φ 50/60Hz	400	650	3.5	7500	5	126	750	250	226	4-φ11	310 (330)	405	14 (17)	100W	P-203 (PH-203)
	750	960	5.0	7200	5	128	720	250	226	4-φ11	310 (330)	435	16 (21)	100W	P-204 (PH-204)



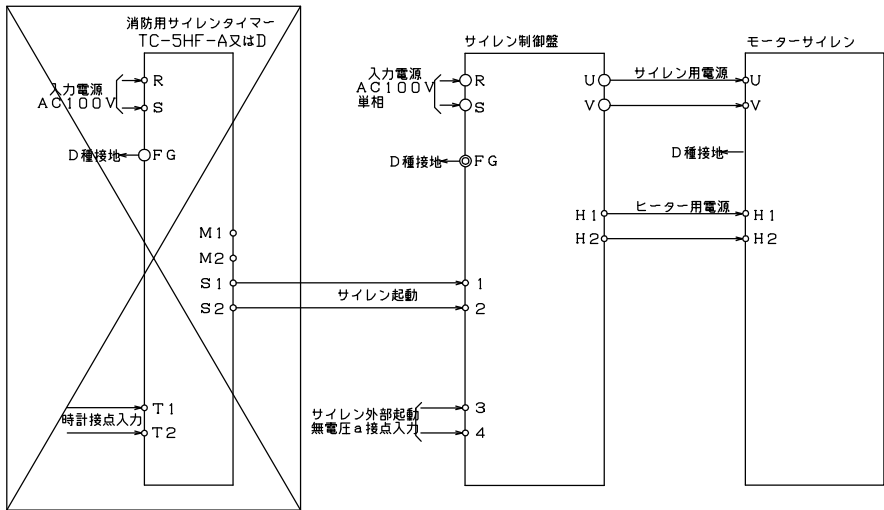
モーターサイレン外観図
AQN-HK-7A) 400W 同等品



サイレン制御盤外観図
MGA-412-H 同等品



消防用サイレンタイマー外観図
TC-5HF-A 同等品



※配線工事は電気設備



YAHATA ARCHITECTS STUDIO
株式会社 八幡建設建築設計事務所
岩手県釜石市南町東4地割20番地12
TEL0193-23-6438 FAX0193-23-6712

一級建築士事務所
岩手県
第お(2711)1270号
一級建築士登録
第199484号
八幡康正

承認

審査

検図

製図

特記

toyooka

改訂番号

改訂月日

改訂内容

業務番号

工事名称

橋野地区消防屯所建設(建築主体) 工事

図面内容

ホース乾燥塔 3

縮尺

A1 1:50

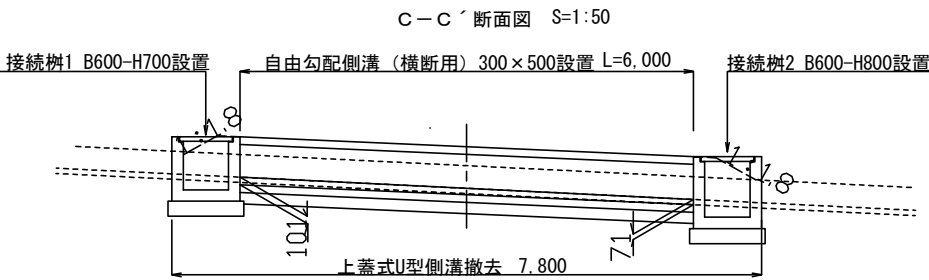
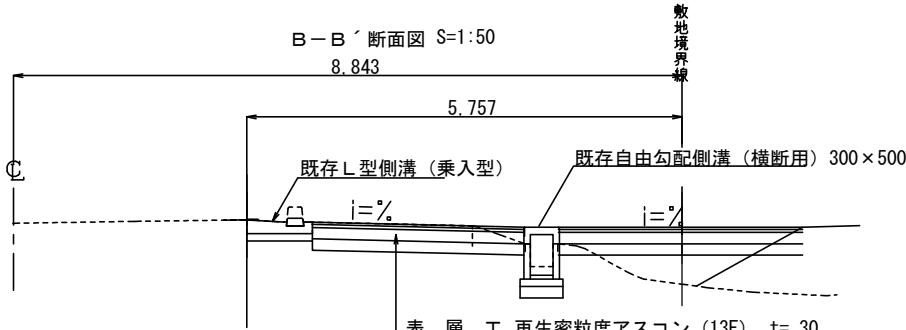
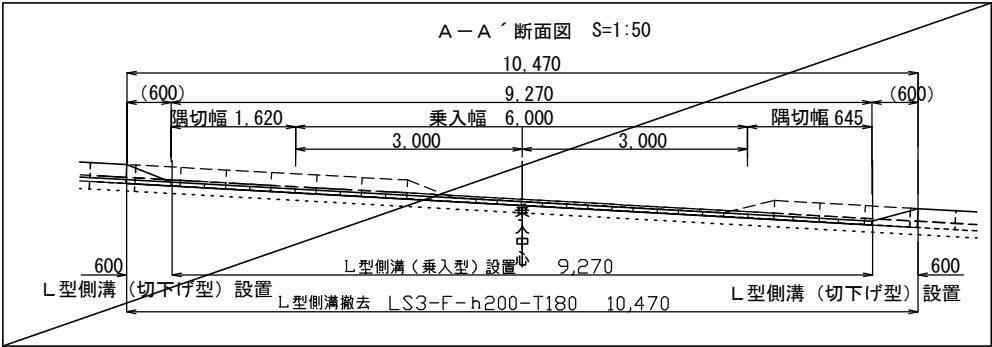
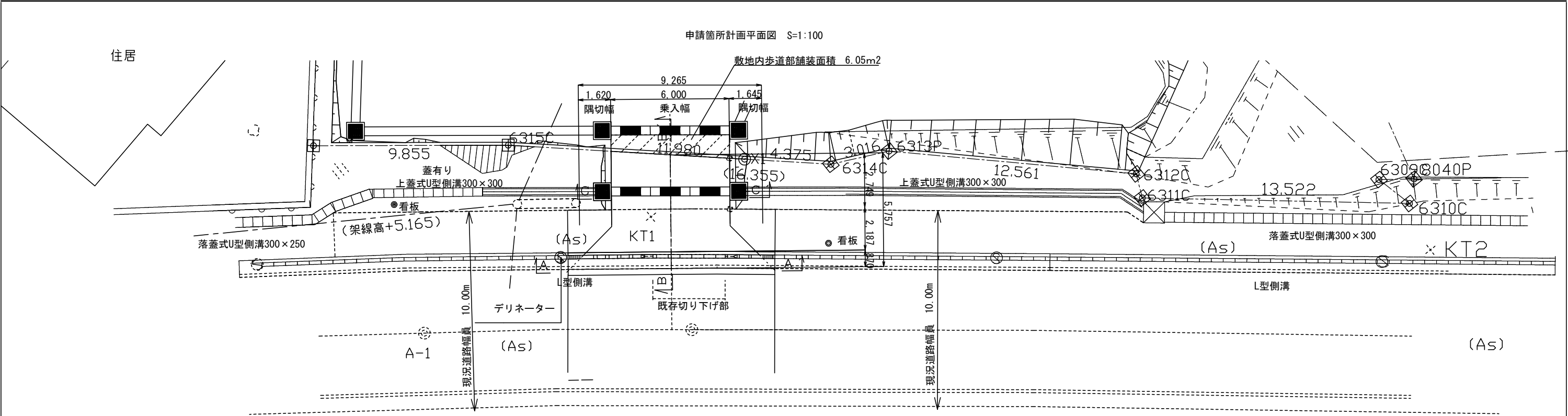
A3 1:100

図例

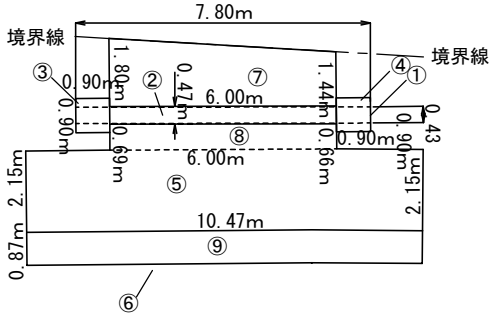
建築意匠

図例

A-28

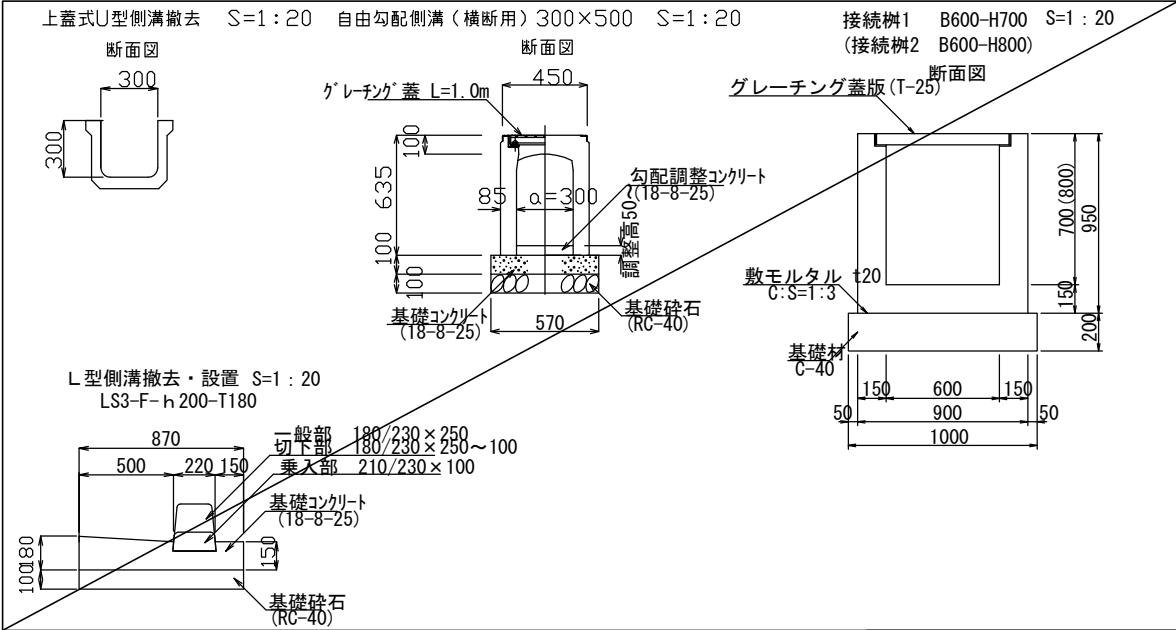


求積図
※アスファルト舗装カッター (歩道2.15+道路14.1) =16.25m

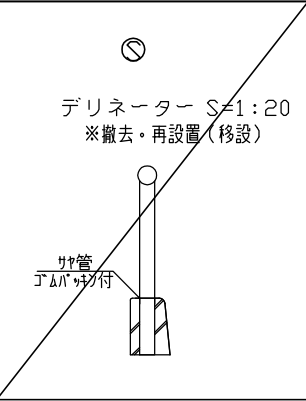


求積表

番号	名称	計算式
①	上蓋式U型側溝撤去	$0.43 \times 7.8 = 3.35$
②	自由勾配側溝 (横断用) 300×500設置	$0.47 \times 6.0 = 2.82$
③	接続樹 B600-H700設置	$0.90 \times 0.90 = 0.81$
④	接続樹 B600-H800設置	$0.90 \times 0.90 = 0.81$
⑤	乗入れアスファルト舗装撤去・設置	$2.15 \times 10.47 = 22.51$
⑥	乗入れアスファルト舗装撤去・設置	$0.30 \times 10.47 = 3.14$
⑦	乗入れアスファルト舗装新設	$1/2 \times (1.80 + 1.44) \times 6.00 = 9.72$
⑧	乗入れアスファルト舗装新設	$1/2 \times (0.69 + 0.66) \times 6.00 = 4.05$
⑨	L型側溝撤去・設置	$0.87 \times 10.47 = 9.11$



工種	数量
上蓋式U型側溝撤去	A=3.35㎡ L=7.80m
自由勾配側溝 (横断用) 300×500設置	A=2.82㎡ L=6.00m
接続樹設置 ③+④	A=1.62㎡
乗入れアスファルト舗装撤去・設置 ⑤	A=22.51㎡
乗入れアスファルト舗装新設 ⑦+⑧	A=13.77㎡
L型側溝撤去・設置	A=9.11㎡ L=10.47m
デリネーター移設	N=1.0箇所



排水施設詳細図

プレキャスト集水桝 B600-1510(20)
(集水桝4)

プレキャスト集水樹 B600-1\$7000
(集水樹5・接続樹1)

プレキャスト集水桧 B600-H8000
(接続桧2)

自由勾配側溝（UNVS：横断部）300サイズ

断面図

グレーチング蓋 $L=1.0\text{m}$

Figure 1 is a cross-sectional diagram of a pile foundation. It shows a pile with a diameter of $\phi=300$ embedded in a concrete base (基礎コンクリート (18-8-25)) and a gravel base (基礎砕石 (RC-40)). The pile is surrounded by a concrete cap (コンクリート調整) and a gravel cap (砕石調整). The total height of the pile is 10000. The diagram also shows the pile's position relative to the ground level (地表面) and the pile's diameter ($\phi=300$).

●本体寸法表

呼 び 名 (a x c)		参考重量 (kg)	寸 法 (mm)						設置位置
			B	b	W	H	e	c'	
○	300x 300	412	450	10	570	435	85	100	敷地内
	x 400	492				535			
○	x 500	570				635			県道敷地内
	x 600	650				735			
	x 700	840				835			
	x 800	935		25	600	935	100		
	x 900	1030				1035			
	x1000	1120				1135			
	x1100	1210				1235			

横断部用グレーチング蓋

※BPN ≧ 40

●グレーチング蓋(D-GRIP) 寸法表

呼び名	寸法(φ)	
	a	t
300用	370	50
400用	470	60
500用	600	65
600用	700	75

※T-25横断用

平面図

平面图

平面图

グレーチング蓋版(T-25)断面図

グレーチング蓋版(T-25) 断面図

断面図
グレーチング蓋版(T-25)

敷モルタル t20
C:S=1:3
基礎碎石
RC-40

基礎碎石
RC-40

敷モルタル
C:S=1:3
基礎砕石
RC-40

浸透井戸 S=1:50

暗渠管
高密度PE管 $\phi 200$

高密度PE管φ200
(ダブル構造 無孔)

フィルター材
単粒度碎石5号

[illegible]

YAHATA ARCHITECTS STUDIO
株式会社 八幡建設建築設計事務所
若手県釜石市面石町第4地割2番地12
TEL0193-23-6438 FAX0193-23-6712

一級建築士事務所
岩手県
第お(2711)1270号

一級建築士登録
第199484号
八幡康正

承認

审查

檢

製	図
---	---

特

特

改訂番	改訂月	改訂内容
-----	-----	------

業務番号

工程名称	工程名称
工程地点	工程地点
工程内容	工程内容
工程规模	工程规模
工程投资	工程投资
工程工期	工程工期
工程负责人	工程负责人
工程联系人	工程联系人
工程联系电话	工程联系电话
工程电子邮箱	工程电子邮箱
工程网址	工程网址
工程地址	工程地址
工程邮编	工程邮编
工程开户行	工程开户行
工程账号	工程账号
工程名称	工程名称

橋野地区消防屯所建設（建築主体）工事

排水施設詳細図

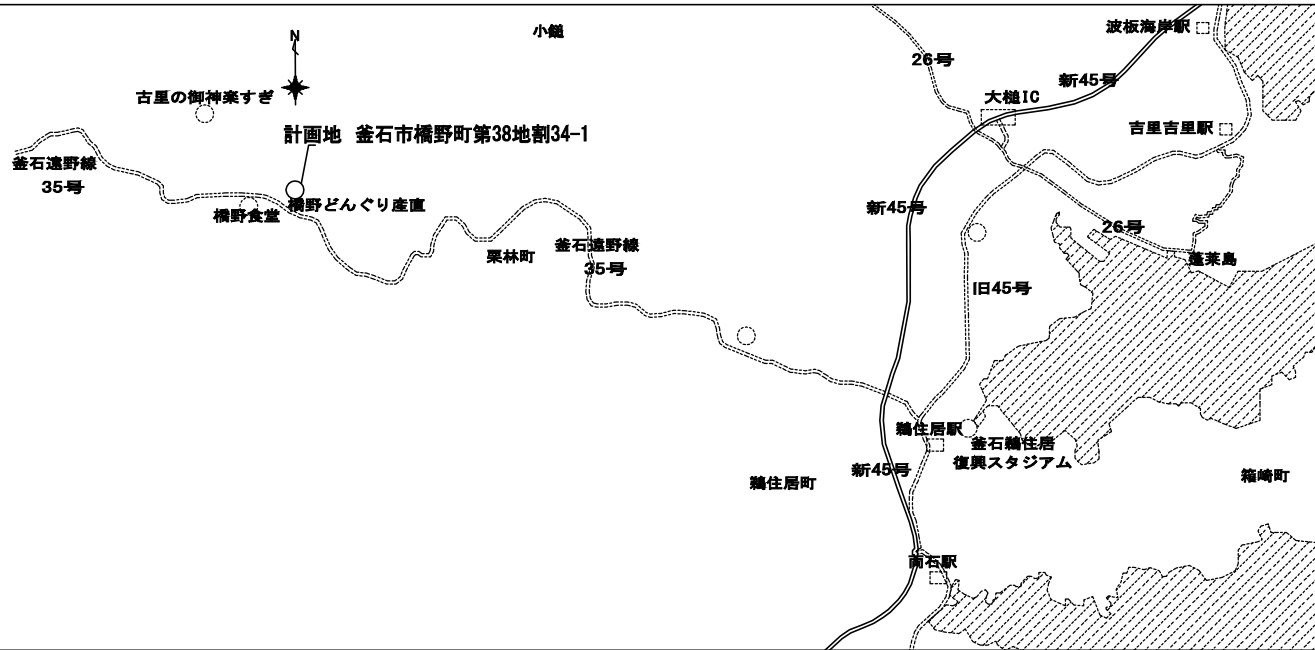
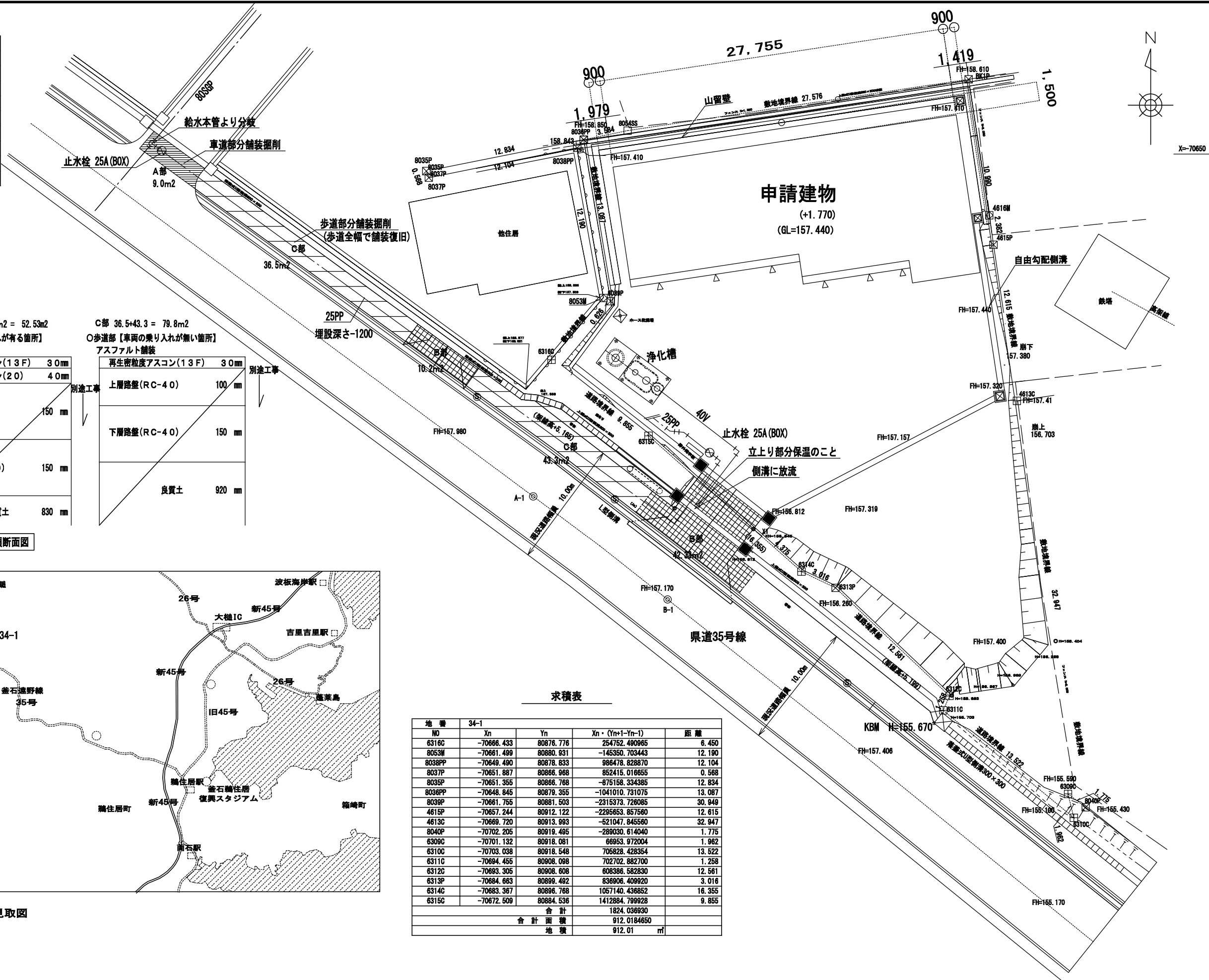
縮尺 A1 1:20 A3 1:40	図面 区分 建築意匠 図番 A-30
--------------------------	--------------------------

計画概要	
地名地番	釜石市橋野町第38地割34-1
用途地域	都市計画区域外
防火地域	指定なし 22条地域 指定なし
建ぺい率	無し
容積率	無し
敷地面積	912.01m2 (275.88坪)
主要用途	08990 その他 (消防屯所)
工事種別	新築

路床整正面積 9.0+52.53+79.8 =141.33m2

A部 9.0m2		B部 10.2m2 + 42.33m2 = 52.53m2		C部 36.5+43.3 = 79.8m2	
○道路部		○歩道部【車両の乗り入れが有る箇所】		○歩道部【車両の乗り入れが無い箇所】	
アスファルト舗装		アスファルト舗装		アスファルト舗装	
再生密粒度アスコン(13F)	30mm	再生密粒度アスコン(13F)	30mm	再生密粒度アスコン(13F)	30mm
再生密粒度アスコン(20)	40mm	再生密粒度アスコン(20)	40mm	再生密粒度アスコン(20)	40mm
別途工事		別途工事		別途工事	
上層路盤(M-40)	150mm	上層路盤(M-40)	150mm	上層路盤(RC-40)	100mm
下層路盤(RC-40)	350mm	下層路盤(RC-40)	150mm	下層路盤(RC-40)	150mm
良質土	630mm	良質土	830mm	良質土	920mm

舗装要領断面図



付近見取図

求積表

地番	34-1				
NO	Xn	Yn	Xn・(Yn+1-Yn-1)	距離	
6316C	-70666.433	80876.776	254752.490965	6.450	
8053W	-70661.499	80880.931	-145350.703443	12.190	
8038PP	-70649.490	80878.833	986478.828870	12.104	
8037P	-70651.887	80866.968	852415.016655	0.568	
8035P	-70651.355	80866.768	-875158.334385	12.834	
8036PP	-70648.845	80879.355	-1041010.731075	13.087	
8039P	-70661.755	80881.503	-2315373.726085	30.949	
4615P	-70657.244	80912.122	-2295653.857580	12.615	
4613C	-70669.720	80913.983	-521047.845560	32.947	
8040P	-70702.205	80919.495	-289030.614040	1.775	
6309C	-70701.132	80918.081	66953.972004	1.982	
6310C	-70703.038	80918.548	705828.428354	13.522	
6311C	-70694.455	80908.098	702702.882700	1.258	
6312C	-70693.305	80908.608	608386.582830	12.561	
6313P	-70684.663	80899.482	836906.409820	3.016	
6314C	-70683.367	80896.768	1057140.436852	16.355	
6315C	-70672.509	80884.536	1412884.799928	9.855	
合計			1824.036930		
合計面積			912.0184650		
地積			912.01	m	

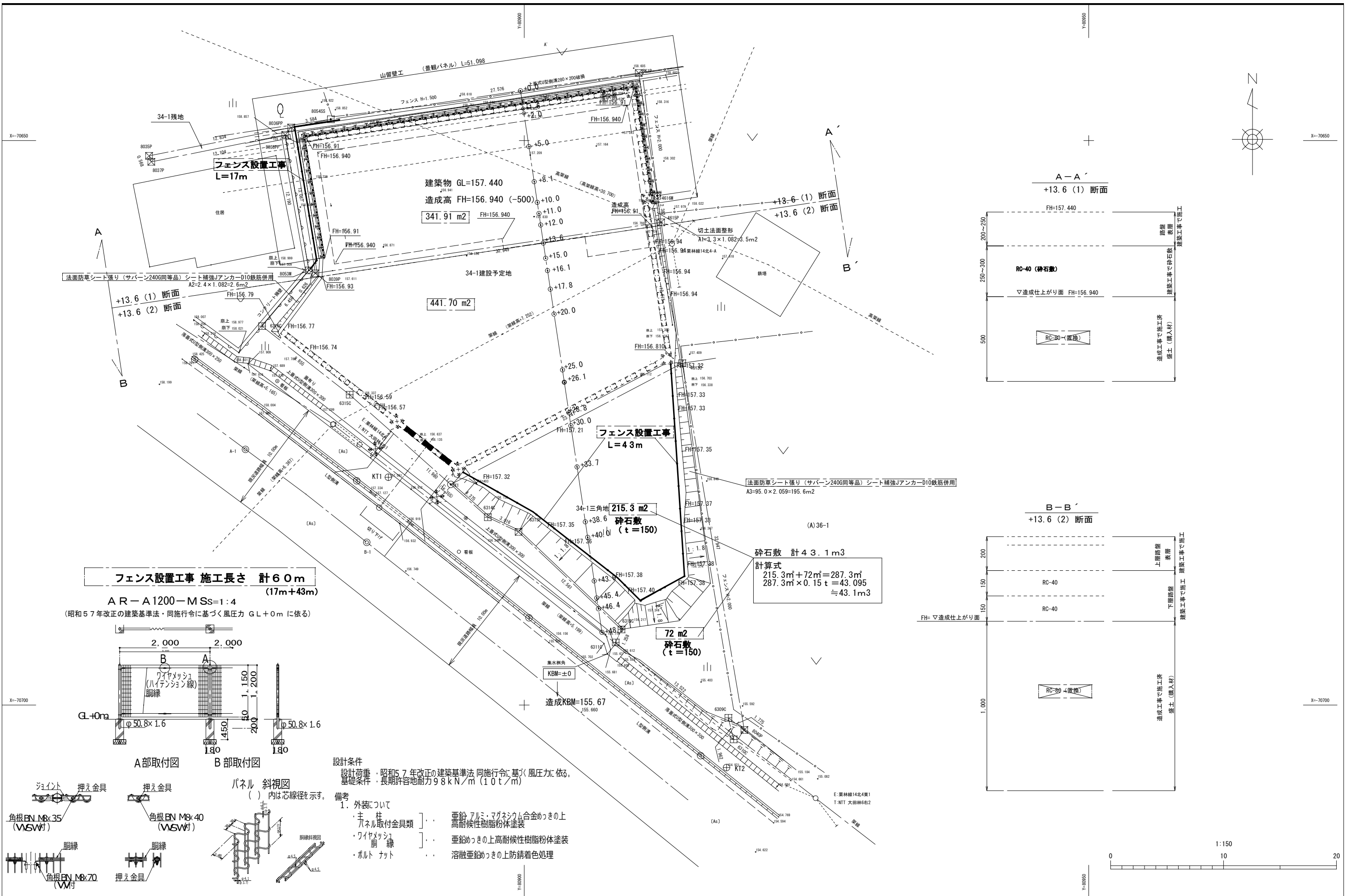


YAHATA ARCHITECTS STUDIO
株式会社 八幡建設建築設計事務所
岩手県釜石市南石町第4地割26番地12
TEL0193-23-6438 FAX0193-23-6712

一級建築士事務所 岩手県 第27111270号	承認	審査	検図	製図	特記
一級建築士登録 第199484号 八幡康正					

改訂番号	改訂月日	改訂内容

業務番号	工事名称	縮尺	図面区分	建築意匠
2023-10	橋野地区消防屯所建設(建築主体)工事	A1 1:150	図面区分	建築意匠
2024-11	屋外給水配管図布設、歩道舗装図	A3 1:300	図面番号	A-32



<div><div><div></div><div>YAHATA ARCHITECTS STUDIO</div><div>株式会社 八幡建設建築設計事務所</div><div>岩手県釜石市岡石町第4地割2 6番地 12</div><div>TEL0193-23-6438 FAX0193-23-6712</div></div></div>	一級建築士事務所 岩手県 第お (2711) 1270号	承認	審査	検図	製図	特記	改訂番号	改訂月日	改訂内容	工事名称 <div>橋野地区消防屯所建設（建築主体）工事</div>		
	一級建築士登録 第199484号 八幡康正					※購入材はRC-80（釜石地区）とする。 ※発生土処分先は釜石市岡石町第5地割27とする。（運搬距離L=17.9Km）					図面内容	
											縮尺 A1 1:150 A3 1:300	図面 A-33
												造成平面図

構造設計標準仕様

適用は ☒ 印を記入する

1. 建築物の概要

工事名称 橋野地区消防屯所建設（建築主体）工事
建築場所 釜石市橋野町第38地割34番1
用途 ☒ 消防屯所 ☐
工事種別 ☒ 新築 ☐ 増築
規模 地下 0 階 地上 1 階
構造種別 ☒ 木造
建築工法 ☒ 軸組工法 ☐ 枠組壁工法（2×4工法）
増築計画 ☒ 無 ☐ 有
設計条件 積雪 80 cm
その他

2. 使用構造材料

(1) コンクリート

適用箇所	種類	基準強度 (N/mm ²) 設計 F _c 品質 F _q	スランプ (cm)	備考
捨コンクリート	普通	15	—	15
無筋コンクリート	普通	16・18	—	
土間コンクリート	普通	21	—	15
基礎、基礎梁	普通	21	24	15

(2) 鉄筋 JIS規格品とする

異形鉄筋 ☒ SD295A ☐ SD345（径 D19 以上）
溶接金網 ☒ 6φ-150×150

(3) 構造部材 JAS規格品または法第37条第二号による認定品とする。

(4) 構造用面材 JISおよびJAS規格品または法第37条第二号による認定品とする。

(5) 釘 JISおよびJAS規格品または法第37条第二号による認定品とする。

(6) 接合金物 ☐ (財)日本住宅・木材技術センターが定める規格に適合するCマーク表示製品およびその同等品 ☒ (財)日本住宅・木材技術センターが定める規格に適合するZマーク表示製品およびその同等品

(7) アンカーボルト

(財)日本住宅・木材技術センターが定める規格に適合するZマーク表示製品及びその同等品とする。
M12 ☒ (☒ L=400 ☐ L=450 ☐ L=500)
M16 ☐ (☐ L=600 ☐ L=700 ☐ L=800 ☐ L=900)
(☐ L=400 Zマーク表示金物同等品)

(8) その他

コンクリートブロック JIS A 5406
☐ A種 ☐ B種 ☐ C種 厚 100 ☐ 120 ☐ 150 ☐ 190

3. 地 盤

地盤調査により、所定地耐力の確認を行う

地盤調査方法 ☐ 目視（地質）
☒ 静的貫入試験（スウェーデン式サウンディング調査）
☒ 標準貫入試験（ボーリング調査）10m×2ヶ所 位置図示
☐ 含水比測定
☐ 平板載荷試験

その他 地調査結果がある場合であっても現場状況によって工事監理者の指示により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

4. 土 工 事

根切りは機械掘りを基本とするが、根切り底は鋤取りにて丁寧に造る。
また周辺、土質、地下水等状況によりのりをつけるかまたは山留めを設ける。
根切り土は場内敷き均しを基本とする。ただし、悪質土は場外処分とする。
埋め戻しは良質土によりランマー等による転圧を十分行う。
深さ1mを越える山留めは、特記による。

5. 地業工事

☒ 地業 砕石 C40-0又はRC40-0
☐ ラップル
☐ 地盤改良
☐ 表層セメント改良工法
(設計改良強度 F_c= kN/m² 改良厚 m)
配合試験 ☐ 有 ☐ 無 (☐ 有機質土無 ☐ 黒色土無)
☒ 深層柱状改良工法
※鉛直精度の確認できる施行機械を用いる。
※トルク計または電流計により支持層の確認できる施工機械を用いる。
(改良強度 kN/m² , φ= mm L= m)
配合試験 ☐ 有 ☐ 無 (含水比100%以内で有機質土無)

☐ その他 工法)

☒ 直接基礎 (☐ 布基礎 ☒ べた基礎)
支持層 深さ SGL - 0.5m - m
☐ 50kN/m² ☒ 30kN/m² ☐ 20kN/m² 以下（べた基礎）
☐ 35kN/m²
☐ 既製杭基礎
杭種 ☐ 鋼管杭 (工法)
施工機械の重量 kN 以上
杭載荷試験 ☐ 有 ☐ 無
建柱車の使用 ☐ 無 ☐ 有 (先端支持力係数150以下)
☐ 摩擦杭 (工法)
☐ PHC杭（セメントミルク工法）
☐ その他（H型PCパイルL=6.0m、28セットで想定）

長期杭耐力 50 kN/本
SWS試験、土質調査（基礎、杭の位置を明記すること。）

深度	土質	N値	標準貫入試験値						SWS試験値	
			10	20	30	40	50	60	調査地番	位置図
0.50	▼設計GL	▽							O	位置図
1.00										
1.50										
2.00										
2.50										
3.00										
3.50										
4.00										
4.50										
5.00										
5.50									O	位置図
6.00										
6.50										
7.00										
7.50										
8.00										
8.50										
9.00										
9.50										
10.00										
10.50										

O 支持地盤、地層および深さについてのコメント

O 近隣データの調査地番と設計地番とは約 m の距離がある

O 備考

6. 鉄筋コンクリート工事

（コンクリート）

コンクリートはJIS認定工場の製品とする。
セメントは特記なき限り普通ポルトランドセメントを標準とする。
調合計画は、工事着工前に工事監理者の承認を得る。
圧縮強度試験供試体（JASS 5T-603）は下記●印により、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごととする。
☐ 現場水中養生 強度管理材齢 28日 F_q = F_c + 3 N/mm²
●標準水中養生 強度管理材齢 28日 F_q + T = F_c + 3 + 温度補正 N/mm²
F_q : 品質基準強度
T : 温度補正

なお、採取本数は特別指示なき限り一回につき四週用に3本とする。
ポンプ打ちコンクリートは、打ち込み位置に出来るだけ近づけて垂直に打つこと。
打ち込み継続中における打ち継ぎ時間の限度は、外気温25℃未満の場合は2.5時間、25℃以上の場合は2時間以内とする。

（鉄筋）

鉄筋は、JIS G3112の規格品を標準とし、材料規格証明書を工事監理者に提出すること。
原則としてD19以下は、重ね継手とする。

(1) 鉄筋末端及び中間部の折曲げ形状・寸法

折り曲げ図		
部 位	末 端 部	中 間 部
折り曲げ内の寸法 (D)	2 d 以上	3 d 以上
余 長	4 d 以上	—

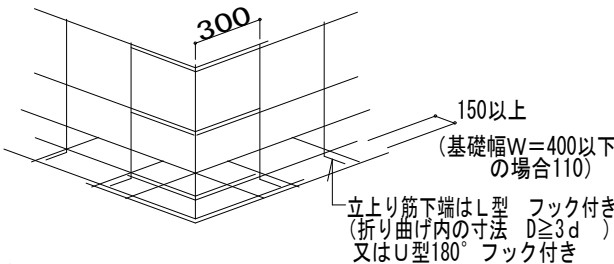
(2) 鉄筋の重ね継手の長さ（布基礎隅角部は除く）

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 (N/mm ²)	重ね継手長さ
SD295A (SD345)	21 24	40 d (45 d) 又は 30 d フック付
	18	45 d (50 d) 又は 35 d フック付

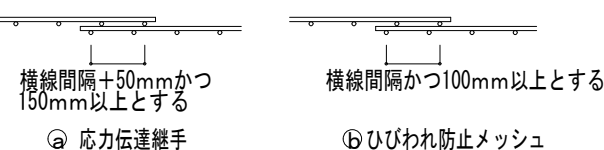
※ () はSD345の場合を示す。

(3) 布基礎隅角部配筋補強

布基礎隅角部では各横筋を折り曲げた上、直交する他方向の横筋に300mm以上重ね合わせる。



(4) 溶接金網の継手



(6) かぶり厚さ

部 位	設計かぶり厚さ (mm)
土に接する部分	基礎立上がり 50
	基礎底板 70



(7) 鉄筋のあき

異形鉄筋 1. 5 d 以上（鉄筋間隔 1. 5 d + 鉄筋の最外径）
粗骨材の最大寸法の 1. 25 倍以上かつ 25 mm 以上（型 枠）

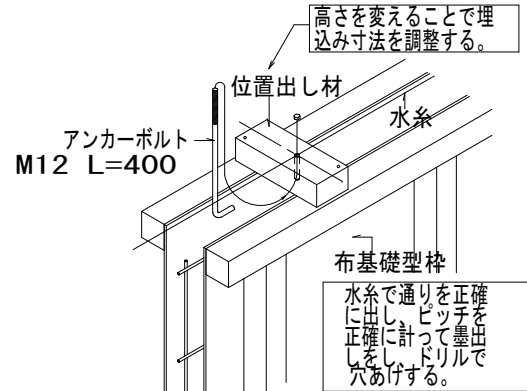
材料は、合板厚12mmまたは金属製型枠パネルを標準とする。
基礎、はり側のせき板の最小存置期間は下記による。ただし、コンクリートの圧縮強度が5N/mm² 以上であることを確認すれば、取り外してよい。
平均気温15℃以上 3日 ・ 平均気温5～15℃ 5日 ・ 平均気温5℃以下 8日
（注記） 平均気温は、型枠の存置期間中の平均気温を示す。

工事監理者に事前連絡し指示を受けるもの。

☒ 配筋検査
☐ 型枠検査

（アンカーボルト）

アンカーボルトの据付けは、テンプレート等を用いて設計寸法所定位置にセットする。なお、コンクリート打設時に移動しないよう固定する。
コンクリート打設後アンカーボルトの移動がない事を確認する。



（M16アンカーボルト等据付方法例）

7. 設備関係

令第129条の2の4の事項

建築物に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。

■建築設備（昇降機を除く）、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽の恐れがないものにする。

■屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に緊結する事。

□煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支枠を設けたものを除き、90cm以下とすること。

□煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。

■建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は固定補強すること。

■風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障の無い構造とすること。

■建築物の部分貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。

■管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可動継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。

■管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。

■法20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものについては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。

給湯設備*は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障の無い構造とすること。満水時の質量が15kgを超える給湯設備については地震に対して安全上支障の無い構造として、平成12年建設省告示第1388号第5に規定する構造方法による事

*「給湯設備」：建築物に設ける電気給湯器その他の給湯設備で屋上水槽等のうち給湯設備に該当するものを除いたもの



YAHATA ARCHITECTS STUDIO
株式会社 八幡建設建築設計事務所
岩手県釜石市岡石町第4地割26番地12
TEL0193-23-6438 FAX0193-23-6712

一級建築士事務所
岩手県
第お (2711) 1270号
一級建築士登録
第199484号
八幡康正

承認

審査

検図

製図

特記

改訂番号

改訂月日

改訂内容

業務番号

工事名称

橋野地区消防屯所建設（建築主体）工事

縮尺 A1 1:50 A3 1:10

図面内容 建築構造

図面区分 S-01

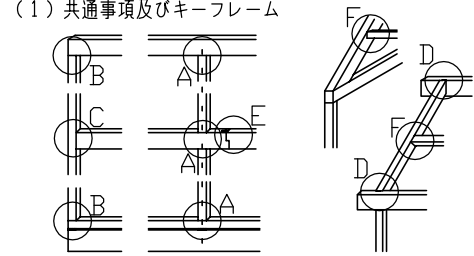
図面番号

木 造 軸 組 接 合 部 標 準 図 (1)				
1. 一般事項	2. 材料	3. アンカーボルト	4. 接合一般	
<p>(1) 適用範囲</p> <p>※本標準図は建築物及び工作物の構造上主要な部分に木材・木質材料を用いる工事に適用する。</p> <p>木造の構法は、建築基準法施行令第3章3節に規定する木造軸組工法に適用する。</p> <p>(2) 設計図書</p> <p>設計図書とは本標準図、特記仕様書、設計図、指示書（現場説明書及び質疑回答書を含む）をいう。</p> <p>(3) 準拠する図書</p> <p>設計図書に記載なきものは下記の図書に準拠する。（※全て最新版による。）</p> <p>「木造住宅工事仕様書」（住宅金融支援機構監修）</p> <p>「公共建築木造工事標準仕様書 平成31年版」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）</p> <p>「木造計画・設計基準 平成29年版」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）</p> <p>「木造軸組工法住宅の許容応力度設計（2017年版）（日本住宅・木材技術センター）</p> <p>「日本工業規格 JIS A3301－2015木造校舎の構造設計標準」（2015年改訂版）</p> <p>上記の仕様書に記載無き場合は、公共規格又はこれに準ずる規格を適用する。</p> <p>(4) 設計図書の優先順位</p> <p>設計図書の優先順位は下記による。</p> <p>1. 指示書（現場説明書及び質疑回答書）</p> <p>2. 設計図</p> <p>3. 特記仕様書</p> <p>4. 本標準図</p> <p>(5) 疑義</p> <p>疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監理者に申し出、その処理方法について協議する。</p> <p>(6) 製作要領書及び施工計画書の作成・提出</p> <p>工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監理者の承諾を受ける。</p> <p>(7) 施工図及びプレカット図の提出</p> <p>工事に先立ち各種の施工図を作成し監理者の承諾を受ける。また、必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。プレカット工場を使用する場合には、プレカット図を施工図と位置づける。</p> <p>(8) 製作工場の選定、承諾</p> <p>設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場及び木工技能者を選定し、監理者の承諾を受ける</p> <p>(9) 各種試験・検査報告書の提出</p> <p>施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。</p> <p>(10) 接合工法</p> <p>本標準図に示す構造耐力上主要な柱及び梁の接合方法は、下記による。</p> <p>・継手仕口による在来工法</p> <p>・梁受け金物、及びボソパイプ等による金物工法</p> <p>なお、上記の方法はひとつの建物で混用して構わない。</p> <p>また、本標準図は在来接合工法のみについて記載しており、金物工法を用いる場合は、金物工法用の標準図を本標準図に追加して用いること。</p> <p>本標準図で指定していない金物に変更する場合は、監理者の承認を得ること。</p> <p>(11) 加工部材に関する留意事項</p> <p>本標準図で扱う一般的な在来プレカット工場で加工可能な範囲は以下による。</p> <p>・梁：部材断面が幅90mm～150mm、梁成が幅と同寸～450mm、及び材長6 m以下</p> <p>・柱：90角～150角の正方形断面、長さ6 m以下</p> <p>これらを超える場合は、一般プレカット工場では加工できない為、任意形状の加工が可能な加工機を有する工場を選定すること。</p>	<p>(1) 木材及び木質材料</p> <p>主要構造部に使用する木材・木質材料の品質については日本農林規格に準拠する。</p> <p>(2) 接合具</p> <p>a)くぎ</p> <p>主要構造部に使用するくぎはJIS A 5508で規定される鉄丸くぎ（N釘）または太め鉄丸くぎ（CN釘）または溶融亜鉛メッキ太め鉄丸くぎ（ZN釘）またはステンレス鋼釘（S釘）またはせっこうボード用くぎ（GN釘）を用いる。</p> <p>b)木質構造用ビス</p> <p>主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靱性が確保されるものを選定することとし、造作用のビス（コーススレッド等）を用いてはならない。</p> <p>使用箇所・呼び径・呼び長さ等については色付専用ビスを使用する。</p> <p>c)ボルト・ナット・座金</p> <p>1) 主要構造部に使用するボルト及びナットについては以下による。</p> <p>・ボルトはJIS B 1051 ,ナットはJIS B 1052 に規定される機械的性質を満たす炭素鋼</p> <p>・公益財団法人日本住宅・木材技術センター規格に準じた金物に使用するボルト及びナット</p> <p>【 Zマーク表示金物 】</p> <p>【 Dマーク表示金物 】</p> <p>【 Sマーク表示金物 】</p> <p>・上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験成績書を取得して、耐力が明示された金物に使用するボルト及びナット</p> <p>2) 主要構造部に使用するボルト・ナットのねじはJISB0205に示すメートル並目ねじとし、構造上主要な部分にはM12以上を用いる。</p> <p>3) ボルト及びナットを用いて木材及び接合金物を緊結する場合には適切な寸法と厚みのある座金を用いる。</p> <p>※ ボルト・ナット及び座金の使用部位、種類、材質、寸法、表面処理については色付専用ビスを使用する。</p> <p>d)ドリフトピン・ラグスクリュー</p> <p>主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靱性が確保されるものを選定することとする。使用箇所・材質・呼び径・呼び長さ等については色付専用ビスを使用する。</p> <p>e)木栓・木ダボ</p> <p>主要構造部に使用する場合は所定の強度が確保できる樹種を指定する。</p> <p>樹種・径等については、特記仕様書で指定する。</p> <p>節・目切れ等の耐力上の欠点のないものとする。</p> <p>(3) 接合金物</p> <p>a)規格金物</p> <p>構造材の接合に用いる接合金物の規格は以下による。</p> <p>・JIS A 5531；木構造用金物</p> <p>・公益財団法人日本住宅・木材技術センターによる規格に準じた金物；Zマーク表示金物、又は Cマーク表示金物</p> <p>・同等認定金物；Dマーク表示金物</p> <p>・性能認定金物；Sマーク表示金物</p> <p>上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験評価機関で試験成績書を取得して基準耐力が明示された金物を、規格金物として使用できる。</p> <p>使用部位と金物の名称、材質、その他については色付専用ビスを使用する。</p> <p>b)製作金物</p> <p>製作金物の使用部位・材質・形状・寸法・溶接仕様・表面処理等については、設計図による。 本物件は特に無し</p> <p>(4) 接着剤</p> <p>原則として、構造計算による応力の検定に現場接着による接着剤の耐力は算入しない。但し、たわみや振動等に対する剛性確保のために接着剤の効果を見込む場合はこの限りではない。</p> <p>建築現場で用いる接着剤の名称・材質・使用環境等について★★★★とする。</p> <p>(5) 防腐防蟻処理及び耐候処理</p> <p>防腐防蟻処理及び耐候処理（塗装）は特記仕様書で指定する。</p> <p>土台及び外壁の地盤面から1 m以下の構造材については適切な防腐防蟻処理を行う。</p> <p>適切な防腐防蟻処理については★★★★を使用する事。</p>	<p>※共通事項</p> <p>・アンカーボルト及び座金の品質と性能、表面処理等は、監督員の承諾による。</p> <p>(1) 土台固定用アンカーボルト</p> <p>a).アンカーボルトの埋設位置； アンカーボルトの埋設位置は以下による。</p> <p>－1.耐力壁（筋交い、合板仕様共通）の下部；</p> <p>耐力壁（筋交い、合板仕様共通）の下部は、その面端の柱の下部に近接した位置（柱芯より200mm内外）とする。</p> <p>－2.土台切れの端部及び、土台の継手仕口；</p> <p>土台切れの端部及び、土台の継手仕口では、男木の端部に設ける。</p> <p>当該部分が出隅の場合は、出来る限り柱に近接させた位置とする。</p> <p>－3.その他；</p> <p>上記以外では、2.0m以内の間隔で設ける。</p> <p>(2) 引張金物専用アンカーボルト</p> <p>a).引張金物専用アンカーボルトの径</p> <p>引張金物専用アンカーボルトの呼び径は、M16以上とする。</p> <p>b).引張金物専用アンカーボルトの基礎への埋込み長さ</p> <p>引張金物専用のアンカーボルトの基礎コンクリートへの埋込み長さは、J型アンカーボルトを用いる場合は、360 mm 以上とする。その他のアンカーボルトを用いる場合は、引張金物の耐力を満たす埋込み長さとする。</p>		

木造軸組接合部標準図(2)

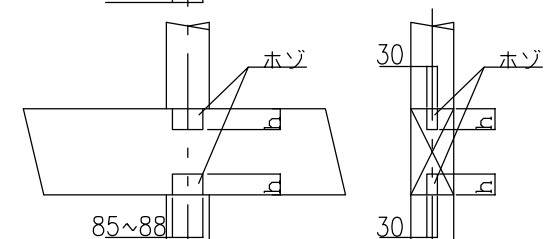
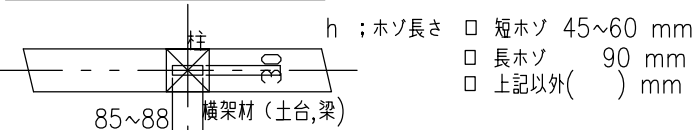
5. 軸組標準接合部

(1) 共通事項及びキーフレーム

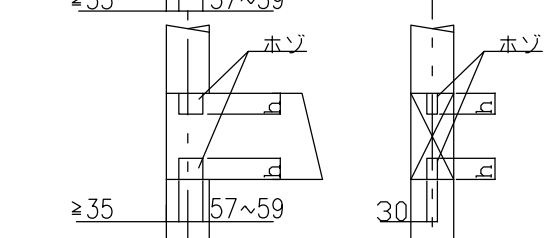
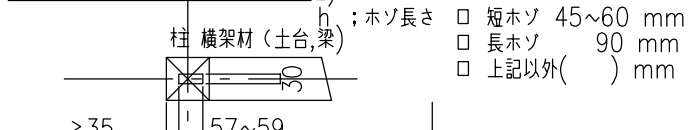


(2) 標準的な継手仕口 (mm)

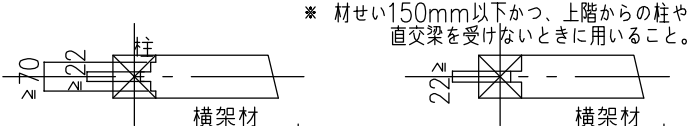
A 柱-横架材仕口: 一般部 (土台共通)



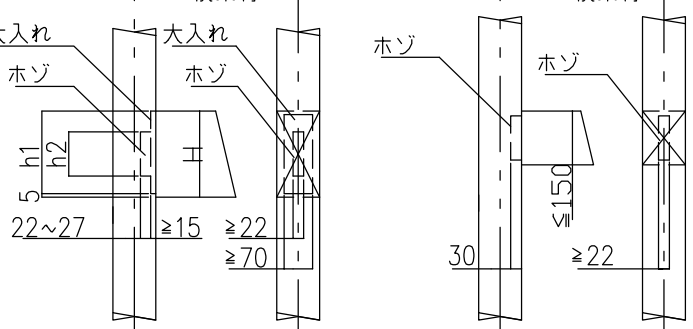
B 柱-横架材仕口: 出隅部 (土台共通)



C 通柱-横架材仕口: 胴差し

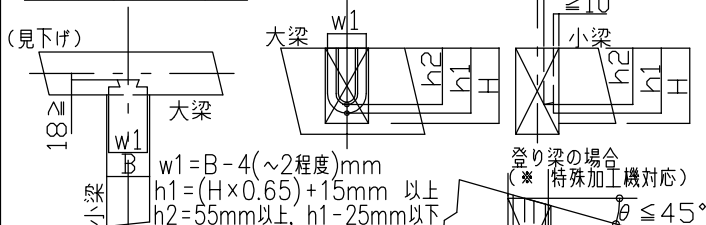


C 通柱-横架材仕口: 桁差し
* 材せいの150mm以下かつ、上階からの柱や直交梁を受けないときに用いること。

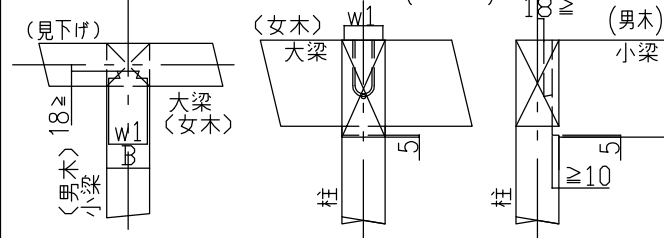


h1 = H-5 mm 程度
* 胴差しで通し柱に取り付く方向は、2方向までとする。

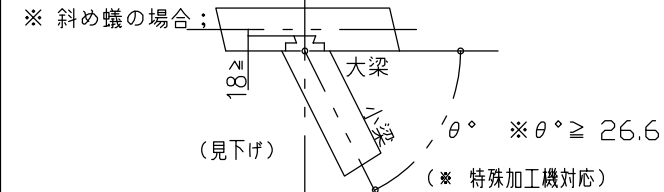
D 大梁-小梁仕口: 蟻仕口



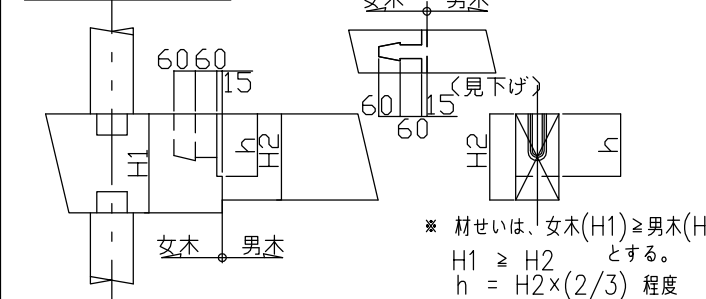
* Hは大梁と小梁の重なり寸法を示す。
* 小梁せいが大梁せいより大きい場合:
小梁せいが大梁せいより大きい場合には、
柱持たせのおさまりとしなければならない。(下図参照)



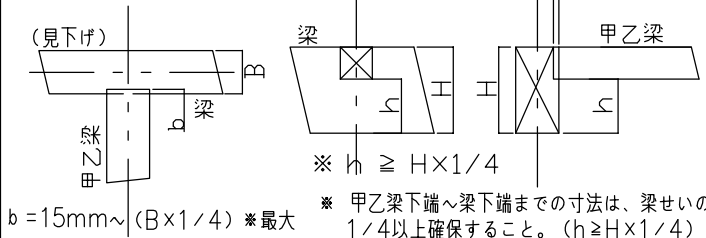
* 柱持たせの柱幅は、大梁の幅と同寸以上とする。



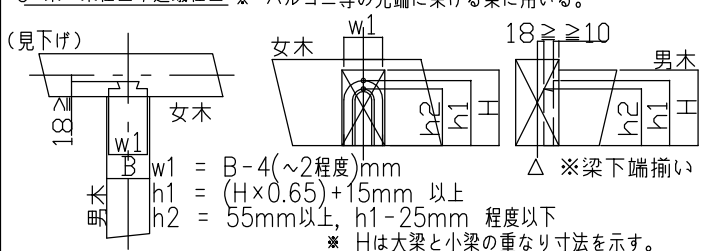
E 梁-梁継手: 腰掛継ぎ



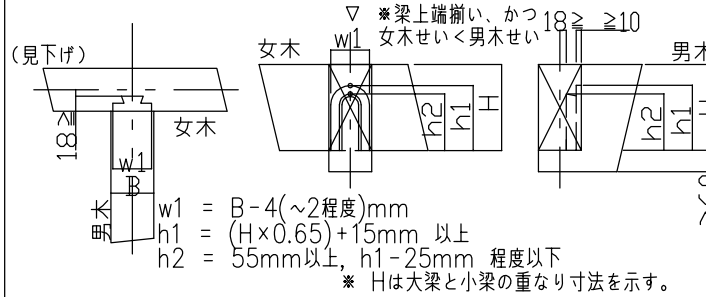
F 梁-甲乙梁仕口: 大入れ



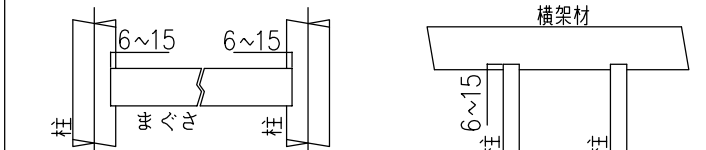
G 梁-梁仕口: 逆蟻仕口



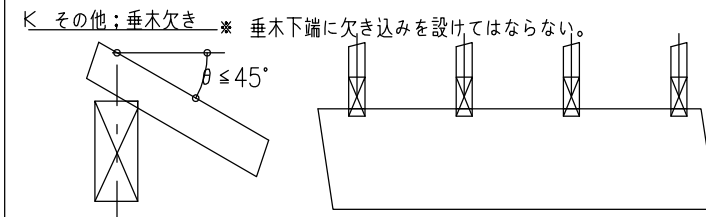
H 梁-梁仕口: 茶臼仕口



I その他: まぐさ欠き



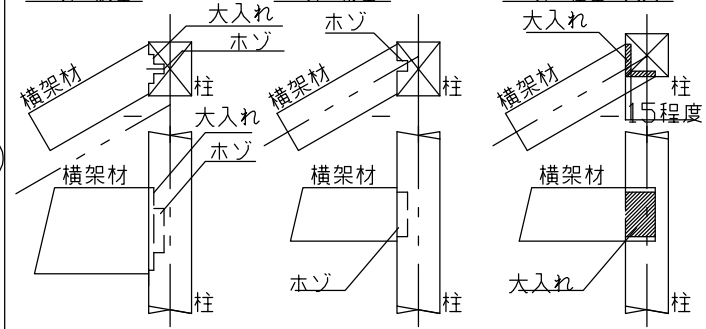
* 筋交い耐力壁の中核も上図に準じる。



(3) 特殊加工機を用いた標準的な継手仕口 (mm)

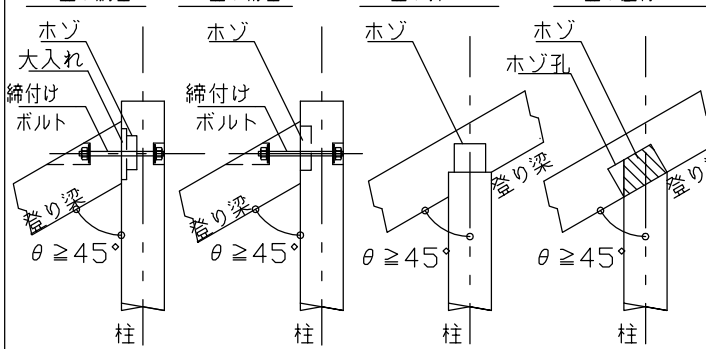
特殊加工機を用いることにより対応が可能な継手仕口の一列を、本節に示す。
特殊加工機を用いた継手仕口は、加工工場が限定されるので注意すること。
特殊加工機を用いた継手仕口は、その形状により加工コストが増すので注意すること。

L 斜め胴差し

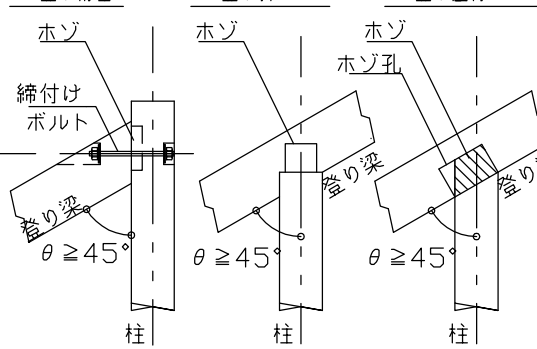


* L, Mともに、梁幅が柱からこぼれない範囲で用い、柱断面を調整して使用すること。
* L, Mともに、柱梁の緊結には引きボルトの代わりにコーナー金物を使用すること。
使用するコーナー金物は、羽子板同等以上の引張耐力を有するものとする。

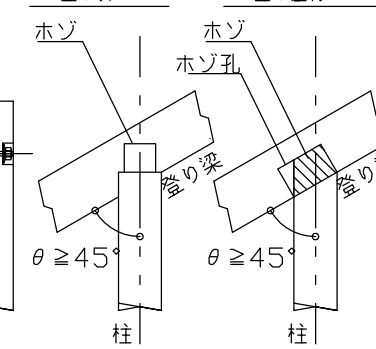
O 登り胴差し



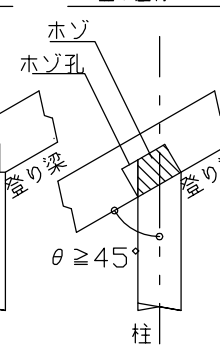
P 登り桁差し



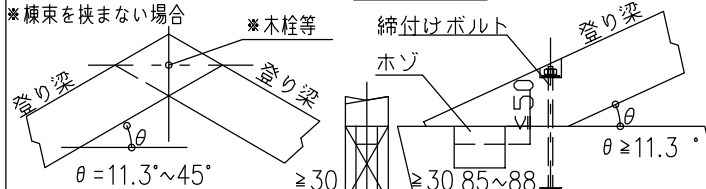
Q 登り斜めホゾ



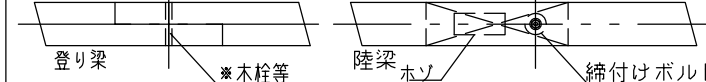
R 登り座付きホゾ



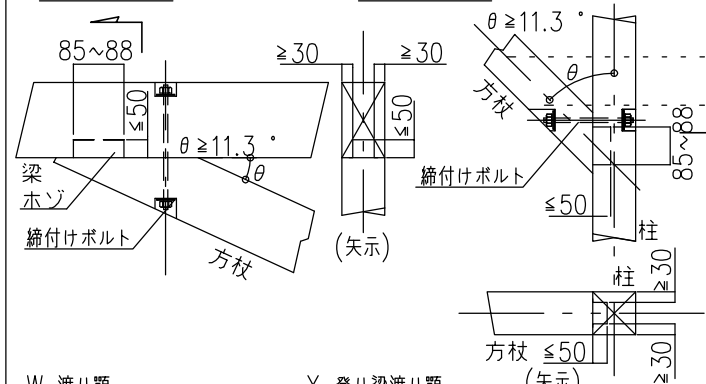
S 登り梁合掌部



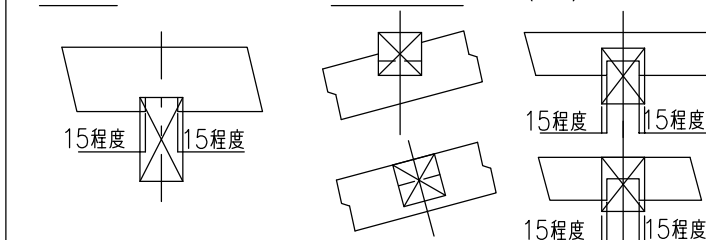
(見下げ)



U 方杖-梁仕口

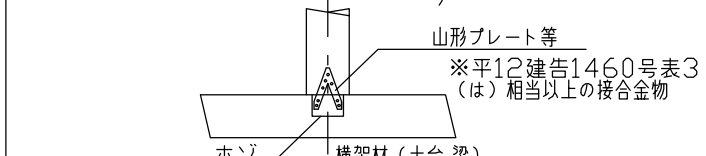


W 渡り類



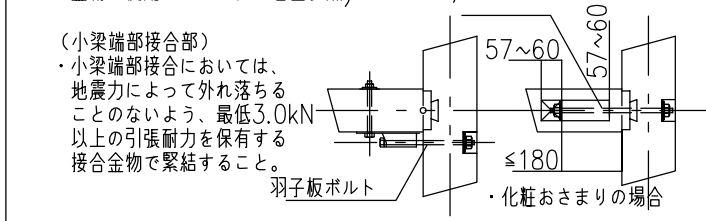
(4) 継手・仕口の補強金物

・耐力壁柱の柱脚・柱頭においては、耐力壁による引抜き力を計算し、引抜き以上の耐力を有する接合金物を使用すること。
・上記以外の柱脚接合部には、5.1kN以上の引張耐力を有する接合金物(平12建告1460号表3に対応する表符号の"は"相当以上)を使用すること。



(梁-梁 接合部)

・水平断面の外周部横架材接合部においては、床水平断面による引抜き力を計算し、引抜き以上の耐力を有する接合金物を使用すること。
・上記以外の接合部には、7.5kN以上の引張耐力を有する接合金物を使用すること。(右図参照)



YAHATA ARCHITECTS STUDIO
株式会社 八幡建設建築設計事務所
岩手県金沢市南町第4地割2の番地12
TEL0193-23-6438 FAX0193-23-6712

一級建築士事務所
岩手県
第27111270号
一級建築士登録
第199484号
八幡廣正

承認

審査

検図

製図

特記

改訂番号 改訂月日 改訂内容

業務番号 工事名称

2023-10

橋野地区消防屯所建設(建築主体)工事

図面内容

木造軸組接合部標準図(2)

縮尺
A1 1:50
A3 1:100
S-03

木造軸組接合部標準図(3)

6. 耐力壁 (注) (単位)mm

6.1 共通事項
各部仕口形状は、(3)高耐力仕様構造用合板張り耐力壁を除き、木造軸組接合部標準図(2)5.軸組標準接合部に準ずる。
面材張り耐力壁の面材に対する釘頭のめり込みは、2mmを限度とする。2mmを超える場合は隣り合う釘との中間部に増し打ちすること。
耐力壁の土台と基礎との間、無収縮モルタル又は十分な耐久力を持つスペーサー材を挿入し隙間を埋めること。
柱の有効細長比(断面の最小二次率半径に対する座屈長さの比)は、150以下とすること。

6.2 耐力壁の仕様 (1) 施行令46条に準じた耐力壁

a. 筋かい耐力壁: 45×90以上 (片筋かい壁倍率: 2.0倍)
(たすき掛け壁倍率: 4.0倍)
1段の場合(H≤3000mm)

②P 2段の場合(6000mm≥H>3000mm) 筋かいの芯は、柱と横架材の内法面の交点にあわせる

1Pの場合: 8kN以上
2Pの場合: 16kN以上

中核端部補強金物
必要耐力

15mm大入れ

イ詳細図

2) 各部仕口形状及び性能

① 筋かい端部: 突き付けの上、筋かいプレート(2倍用)を使用
② 各階の柱頭柱脚部: ホソ差し等の上、水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力を有する金物を使用する
③ 中核端部: 15mm大入れの上、必要耐力以上の金物を横向きに使用
④ 梁端部在来仕口部補強金物: 耐力壁の許容せん断力以上の引抜耐力を有するものとする
⑤ 耐力壁のせん断力を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト: M12以上のアンカーボルトを耐力壁面端の柱近接位置(柱芯から200mm内外)に1本ずつ設置

在来工法及び金物工法とも柱梁ビスどめタイプを基本とする

(2) 昭56建告1100号に準じた耐力壁

a. 面材張り大壁仕様耐力壁
(片面張り壁倍率: 2.5倍)
(両面張り壁倍率: 5.0倍)

柱

面材張り耐力壁出隅要領図

1) 各部材料および寸法

① 面材: 構造用合板 t=9mm以上又はOSB t=9mm以上
② 柱間隔: 600mm≤P≤2000mm
③ 高さ: H≤6000mm
④ 間柱: 幅30以上、間隔500mm以下(合板継目部は幅45mm以上)
⑤ 中核: 幅90mm以上

2) 各部仕口形状及び性能

① 各階の柱頭柱脚部: ホソ差し等の上、水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力を有する金物を使用する
② 中核端部: まぐさ欠きに15mm大入れの上、2-N75斜め釘打ち
③ 間柱端部: 間柱欠きに6~15mm大入れの上、2-N75斜め釘打ち
④ 耐力壁のせん断力を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト: M12以上のアンカーボルトを耐力壁面端の柱近接位置(柱芯から200mm内外)に1本ずつ設置

3) 構造用合板の釘打ち方法

構造用合板(又はOSB)の4周を釘打ちする
② 柱及びはりに対するかり寸法: 22.5mm以上
合板に対するへり空き: 10mm以上
柱はりのへり空き: 12.5mm以上
金物が干渉する場合は、金物を離れた位置に所定の本数を釘打ちする
③ 横架材・柱: N50@150mm以下
④ 中核: N50@150mm以下 ⑤ 間柱: N50@150mm以下

b. 受け材付き真壁仕様耐力壁
(片面張り壁倍率: 2.5倍)
(両面張り壁倍率: 5.0倍)

1) 各部材料および寸法

① 面材: 構造用合板 t=9mm以上又はOSB t=9mm以上
② 柱間隔: 600mm≤P≤2000mm
③ 高さ: H≤6000mm
④ 間柱: 幅30以上、間隔500mm以下(合板継目部は幅45mm以上)
⑤ 中核: 幅90mm以上 ⑥ 受け材: 幅45mm以上

2) 各部仕口形状及び性能

① 各階の柱頭柱脚部: ホソ差し等の上、水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力を有する金物を使用する
② 中核端部: 突き付けの上、2-N75斜め釘打ち
③ 間柱端部: 突き付けの上、2-N75斜め釘打ち
④ 耐力壁のせん断力を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト: M12以上のアンカーボルトを耐力壁面端の柱近接位置(柱芯から200mm内外)に1本ずつ設置

3) 構造用合板の釘打ち方法

構造用合板(又はOSB)の4周を釘打ちする
② 受け材に対するかり寸法: 22.5mm以上
合板に対するへり空き: 10mm以上
受け材のへり空き: 12.5mm以上
金物が干渉する場合は、金物を離れた位置に所定の本数を釘打ちする
③ 受け材と柱はり: N90@300mm以下(面材構造用合板(又はOSB)張りの場合は@150以下)
④ 受け材、中核: N50@150mm以下 ⑤ 間柱: N50@150mm以下

(3) 高耐力仕様構造用合板張り耐力壁(JIS A 3301標準仕様): 短期許容せん断耐力ΔQa=29.6kN/m

本耐力壁を採用する場合は、設計図書に試験成績書を添付すること

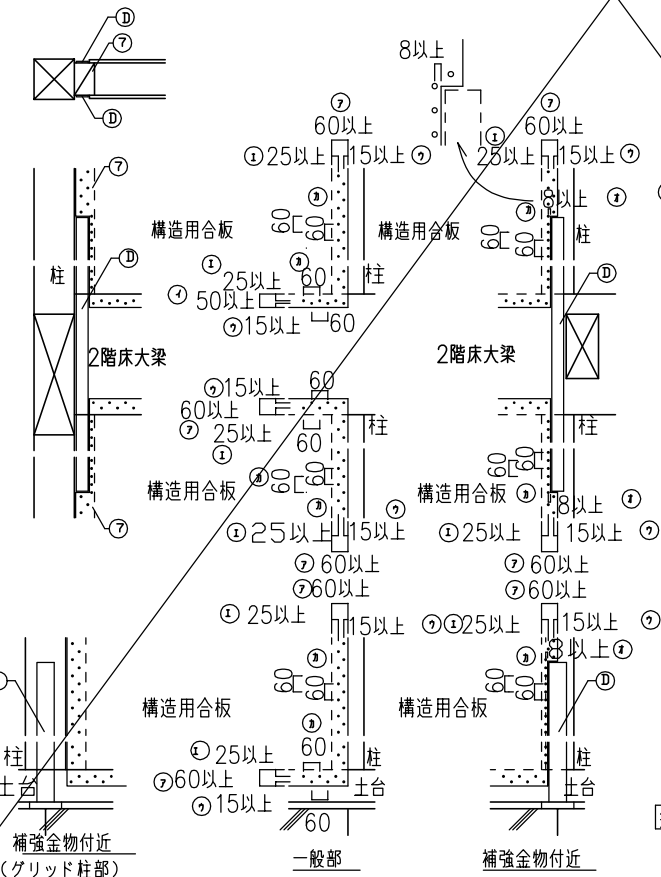
a. 条件及び仕様

1) 各部材料

- ① 面材: 構造用合板 t=12mm 両面張り
② 間隔: 900mm≤P≤1000mm
③ 高さ: 1800mm≤H≤3650mm
④ 高耐力壁を用いる場合のグリッド柱: 150mm×150mm以上
(グリッド柱: X方向とY方向の主要鉛直構面の交点の柱)
⑤ 高耐力壁の端部および合板継ぎ目部の柱: 120mm×120mm以上
⑥ 構造用合板継ぎ目部横つなぎ材: 120mm×120mm以上
⑦ グリッド柱に取付く受け材: 75mm×120mm以上
⑧ 間柱: 見付け45mm以上、見込み120mm以上、間隔P/3以下
⑨ 小壁柱: 120mm×120mm以上
- 2) 各部仕口形状及び性能
- ① 柱頭柱脚部: 厚さ30mm×深さ90mm以上
② 中核端部ホソ: 片側から柱に取り付く場合: 厚さ30mm×深さ90mmホソ差し
両側から柱に取り付く場合: 厚さ30mm×深さ60mmホソ差し
③ 間柱端部: 横架材への溝加工及び15mm程度大入れ
④ 各階の柱頭柱脚部: 水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
⑤ 耐力壁のせん断を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト: M16アンカーボルト耐力壁1P当り2本設置

3) 各部への釘打ち及びビス止め

- 構造用合板はたて張り、4周を釘打ちする
② ①を除き、柱及びはりに対するかり寸法: 60mm以上
③ 2階耐力壁合板を2階床大梁へ留め付ける場合かり代: 50mm以上
④ ①を除き、合板に対するへり空き: 15mm以上
⑤ 柱はりのへり空き: 25mm以上
⑥ 金物が干渉しへり空きが確保できない合板部分のへり空き: 8mm以上
⑦ 横架材・柱・受け材: N50@60mmチドリ打ち
⑧ 間柱: N50@90mm打ち
⑨ ⑦の受け材とグリッド柱: 木質構造用ビスφ6、L130~150@100(2列)で留め付ける



6.3 その他の耐力壁
・木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2017年版)の詳細計算法による面材張り耐力壁については、同書の規定に準拠することとし、釘ピッチ配列等の仕様については設計図による。
・指定性能評価機関またはそれに準じる公共の評価機関で成績書を取得して耐力が明示された耐力壁については試験成績書の仕様で準拠することとする。
・大臣認定を取得した耐力壁については、認定書に記載された適用範囲及び仕様を守る。

釘打ち要領図

主要鉛直構面の交点の柱(グリッド柱)は
150mm×150mm以上とする



YAHATA ARCHITECTS STUDIO
株式会社 八幡建設建築設計事務所
若手副金石市岡石町第4地割26番地12
TEL0193-23-6438 FAX0193-23-6712

一級建築士事務所
若手副
第21(2711)1270号
一級建築士登録
第199484号
八幡建設

承認

審査

検図

製図

特記

改訂番号 改訂月日 改訂内容

業務番号 工事名称

2023-10

橋野地区消防屯所建設(建築主体)工事

図面内容

木造軸組接合部標準図(3)

縮尺
A1 1:50
A3 1:100
図例
建築構造
S-04

木造軸組接合部標準図(4)

7. 水平構面

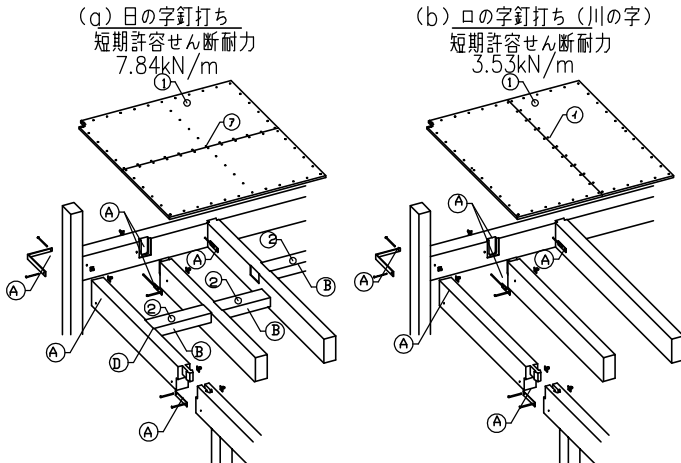
(注) (単位)mm

7.1 共通事項

- ・各部仕口形状は、(3)高耐力仕様屋根・床水平構面を除き、木造軸組接合部標準図(2)5.軸組標準接合部に準ずる。
- ・木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2017年)の詳細計算法による水平構面については、同書の規定に準拠することとし、釘ピッチ配列等の仕様については設計図による。
- ・指定性能評価機関またはそれに準じる公共の評価機関で成績書を取得して耐力が明示された水平構面については試験成績書の仕様に準拠することとする。

7.2 水平構面の仕様

(1) 木造軸組工法住宅の許容応力度設計に準じた床構面

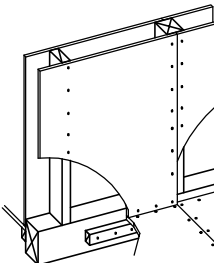


1) 各部材料および寸法

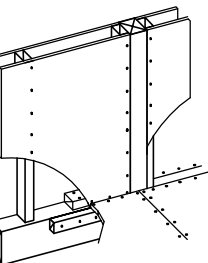
- ① 面材: 構造用合板 $t=24\text{mm}\sim 30\text{mm}$ 横架材に直貼
- ② 甲乙梁: 幅 45mm 以上 \times せい 45mm 以上・梁及び甲乙梁の間隔 1000mm 以下
- 2) 各部仕口形状及び性能
- ① 各仕口部分:
 - 水平力時に継手、仕口各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
- ② 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
- ③ 高低差のある梁へは側面に床受け材を取り付け構造用合板を受ける構成
- ④ 甲乙梁端部は小梁に対して深さ 15mm 程度の大入れ N75 1本斜め打ち
- 3) 各部への釘打及びビス止め
- ① 構造用合板は $N75@150\text{mm}$ 日の字釘打ちで横架材、甲乙梁、床受け材に留め付ける
- ② 構造用合板は $N75@150\text{mm}$ 日の字釘打ちで横架材、甲乙梁、床受け材に留め付ける

注意事項: 構造用合板(又はOSB)に対する釘頭のめり込みは、 2mm を限度とする
 2mm を超える場合は隣り合う釘との中間部に増し打ちすること
ロの字釘打ちは構造用合板上に直接フローリングを貼る構成の場合、
たわみ等に注意する事

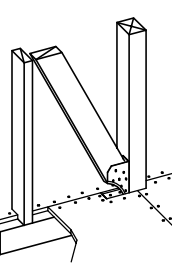
告示耐力壁-床納まり
大壁合板耐力壁-床構面
(壁勝)



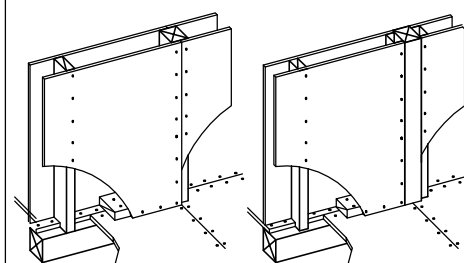
真壁合板耐力壁-床構面
(壁勝)



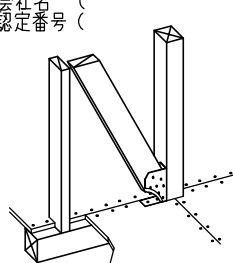
筋違耐力壁-床構面
(筋違勝)



認定仕様例示) 日合連(JPMA)仕様耐力壁-床勝納まり
大壁合板耐力壁-床勝 真壁合板耐力壁-床勝
認定番号: FRM-0296 認定番号: FRM-0298

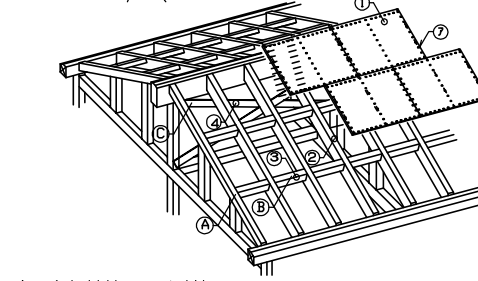


筋違金物による床勝ち納まり
筋違耐力壁-床構面
(床勝: 大臣認定仕様)
会社名
認定番号

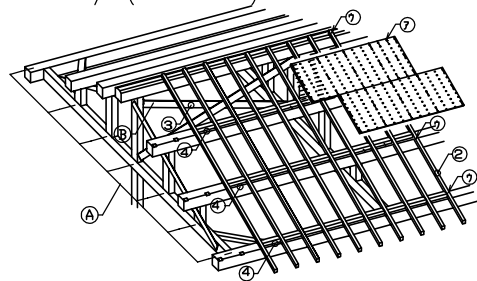


(2) 木造軸組工法住宅の許容応力度設計に準じた屋根構面

(a) 登梁-厚合板
短期許容せん断耐力
 7.84kN/m (勾配面に対して)



(b) 垂木-合板
短期許容せん断耐力
 1.96kN/m (勾配面に対して)



1) 各部材料および寸法

- ① 面材: 構造用合板 $t=24\text{mm}\sim 30\text{mm}$ 横架材に直貼
- ② 登梁: 幅 105mm 以上 \times せい 105mm 以上間隔 1000mm 以下
- ③ 甲乙梁: 幅 45mm 以上 \times せい 45mm 以上間隔 1000mm 以下
- ④ 小屋耐力壁: 15mm 以上 $\times 90\text{mm}$ 以上
(端部は平12建告1460号の筋違耐力壁の接合)
- 2) 各部仕口形状及び性能
- ① 各仕口部分: 水平力時に継手、仕口各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
- ② 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
- ③ 耐力壁から勾配屋根水平構面までせん断力を伝達できるよう、耐力壁線には同等以上の壁量となるよう小屋耐力壁(くも筋違い)を設ける事
- 3) 各部への釘打及びビス止め
- ① 構造用合板は $N75@150\text{mm}$ で日の字に垂木に留め付ける

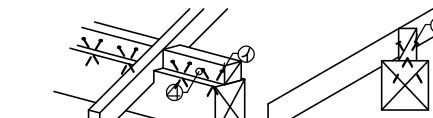
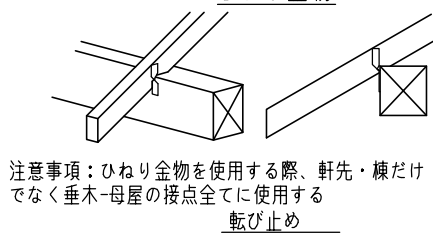
注意事項: 構造用合板(又はOSB)に対する釘頭のめり込みは、 2mm を限度とする

1) 各部材料および寸法

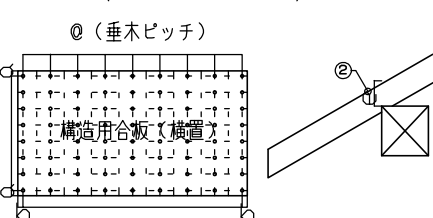
- ① 面材: 構造用合板 $t=9\text{mm}\sim 15\text{mm}$ (横置)
- ② 垂木: 幅 45mm 以上 \times せい $45\text{mm}\sim 90\text{mm}$ $\phi 500\text{mm}$ 以下
- ③ 小屋耐力壁: 15mm 以上 $\times 90\text{mm}$ 以上
(端部は平12建告1460号の筋違耐力壁の接合)
- ④ 転び止め: $45\text{mm}\times 60\text{mm}$ 程度
- 2) 各部仕口形状及び性能
- ① 母屋ピッチ: 1000mm 以下
- ② 耐力壁から勾配屋根水平構面までせん断力を伝達できるよう、耐力壁線には同等以上の壁量となるよう小屋耐力壁(くも筋違い)を設ける事
- 3) 各部への釘打及びビス止め
- ① 構造用合板は $N50@150\text{mm}$ で川の字に垂木に留め付ける
- ② 転び止めを梁に2-N75斜め釘止め
- ③ 垂木の留め付けは、垂木の側面から軒桁、母屋、棟木の上面に対して $N75$ 釘2本打ち

注意事項: 構造用合板(又はOSB)に対する釘頭のめり込みは、 2mm を限度とする

ひねり金物



注意事項: ひねり金物を使用する際、軒先・棟だけでなく垂木-母屋の接点全てに使用する
転び止め

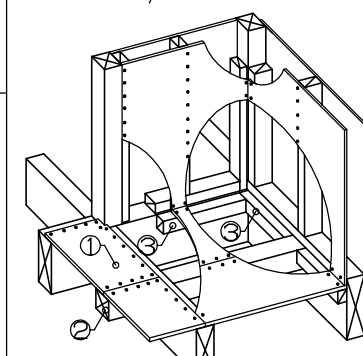


③ (垂木ピッチ)
a: 面材上下端まで 10mm
b: 面材左右端まで 10mm
c: 軸材端まで (最小値) 12.5mm

7.3 JISA3301仕様高耐力水平構面

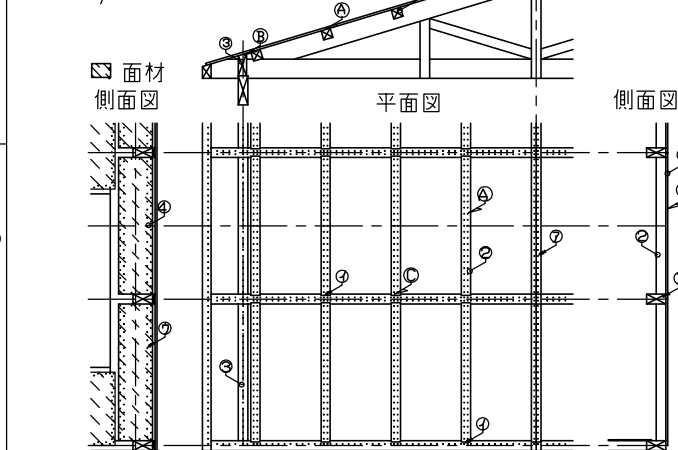
(1) 2階床水平構面の条件及び仕様

短期許容せん断耐力
 14.1kN/m



(2) 屋根水平構面の条件及び仕様

短期許容せん断耐力
 13.5kN/m (合板釘ピッチ 75mm)
 19.1kN/m (合板釘ピッチ 50mm)



1) 各部材料

- ① 面材: 構造用合板 $t=24\text{mm}$ 又は 28mm 横架材に直張り
- ② 甲乙梁: $90\text{mm}\times 90\text{mm}$ の正角材又は幅 $75\text{mm}\times$ 成 120mm 製材を平使い
- ③ 大梁側面に取り付ける床受け材: 幅 $55\text{mm}\sim 75\text{mm}\times$ 成 120mm の製材
- 2) 各部仕口形状及び性能
- ① 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
- ② 高低差のある梁へは側面に床受け材を取り付け構造用合板を受ける構成
- ③ 甲乙梁端部は小梁に対して深さ 15mm 程度の大入れ
- ④ 甲乙梁端部は床受け材に対して床受け材を深さ $15\text{mm}\times$ 成 60mm 切り欠き甲乙梁は成 60mm 分大入れし床受け材勝ちの納まりとする
- 3) 各部への釘打及びビス止め
- ① 構造用合板は $N75@75\text{mm}$ 日の字釘打ちで横架材、甲乙梁、床受け材に留め付ける
- ② 大梁側面へ取り付けの床受け材は木質構造用ビス $\phi 6, L130\sim 150$ を 150mm ピッチの二列打ちとして留め付ける

1) 各部材料

- ① 面材: 構造用合板 $t=24\text{mm}$ 登梁及び母屋に直張り
- ② 母屋: 幅 $120\text{mm}\times$ 成 120mm の製材
多雪区域(3級及び4級)の場合は幅 $120\text{mm}\times$ 成 150mm の製材
- ③ 軒先転び止め: 幅 $105\text{mm}\times$ 成 300mm の製材を用い、天端は屋根面に合わせ切り欠く
- ④ 軒先転び止めの外面に直貼りする構造用合板: $t=12\text{mm}$

2) 各部仕口形状及び性能

- ① 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には母屋を設ける
- ② 屋根の合板レベルに対して低い位置にある軒先の大梁上に転び止めを設け構造用合板を受ける構成
- ③ 母屋端部は登梁に対して深さ 15mm 程度の大入れ

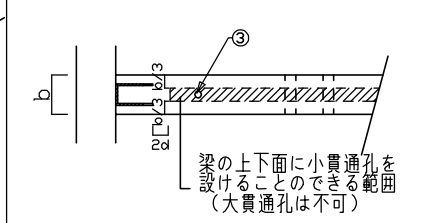
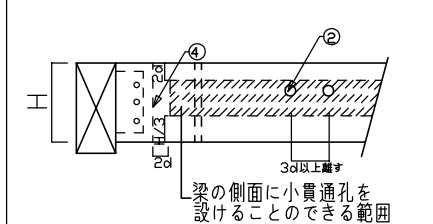
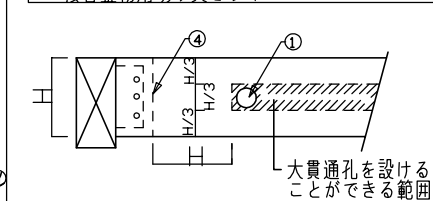
3) 各部への釘打及びビス止め

- ① 13.5kN/m 仕様: 構造用合板は $N75@75\text{mm}$ 4周(口の字)釘打ちで登梁及び母屋に留め付ける
- ② 19.1kN/m 仕様: 構造用合板は $N75@50\text{mm}$ 4周(口の字)釘打ちで登梁及び母屋に留め付ける
- ③ 母屋端部に対して吹上対策として木質構造用ビス $\phi 5, L150$ (頭部径 $\phi 12.5$ 以上ねじ部長さ 50 以上) 1本を斜め打ちとする
- ④ 軒先大梁と転び止めの外面に直張りする構造用合板は、 $N50$ ぐきを 50mm ピッチの千鳥打ちとして留め付ける

8. 貫通孔

8.1 梁貫通孔の条件及び仕様

- ① 大貫通孔: $d\leq H/4$ かつ 150mm
- ② 小貫通孔: $d\leq 30\text{mm}$ (隣り合う孔は $3d$ 以上離す)
- ③ 縦小貫通孔: $d\leq b/6$ かつ 30mm
- ④ 接合金物用切り欠きライン



8.2 耐力壁貫通孔

(1) 小開口付耐力壁: 木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)

*壁倍率/倍までの孔開けルール

耐力壁の小開口の設け方

穴径が $L/2$ (50cm 程度) までなら四周を受け材等で補強して面材を釘打ちすれば可

水平方向の受材等は両端を軸組の柱に対して斜めビス止め等で緊結する

穴径が 12 以下かつ $L/6$ 以下ならば補強不要
面材厚: t

部: 小開口を設けることができる範囲

面材短辺寸法 L

(2) 高耐力仕様合板貼耐力壁 (JISA3301標準仕様)

*壁倍率7倍を超える場合の孔開けルール (JISA3301仕様)

a) 貫通孔基準

- ① 小貫通孔 ($d\leq 30\text{mm}$)
1区画につき1か所までなら補強不要
- ② 小貫通孔 $\times 3$ (外接円の径 $d\leq 240\text{mm}$)
四周を補強受材で補強
面材1枚につき1か所のみ可
- ③ 大貫通孔 ($d\leq 240\text{mm}$)
四周を補強受材で補強
面材1枚につき1か所のみ可

b) 釘打ち及び断面

- ① 合板から補強受材へ $N50@90\text{mm}$ で釘打ち
補強受材は間柱と同寸以上の断面
- ② 補強受材の留め付けは斜めビス2本止め

部: 小開口を設けることができる範囲

P
P/3 P/3 P/3

横架材

50

垂直補強受け材
水平補強受け材

間柱

50

垂直補強受け材
水平補強受け材

間柱

50

横架材



YAHATA ARCHITECTS STUDIO
株式会社 八幡建設建築設計事務所
岩手県釜石市南町第4地割26番地12
TEL0193-23-6438 FAX0193-23-6712

一級建築士事務所
岩手県
第2111270号
一級建築士登録
第199484号
八幡建設

承認

審査

検図

製図

特記

改訂番号

改訂月日

改訂内容

業務番号

工事名称

橋野地区消防屯所建設(建築主体)工事

図面内容
木造軸組接合部標準図(4)

縮尺
A1 1:50
A3 1:100

図例
建築構造
S-05

ソイルセメントコラム地業特記仕様書

1.工事概要

本地業は、ソイルセメントコラム工法による地盤改良地業である。ソイルセメントコラム工法は、スラリー状のセメント系固化材を地盤に注入しながら、角度付共回り防止翼と半円状の掘削爪を装備したカハ装置を用いて原地盤土を機械的に混合カハし、固化材の固化反応により所定の強度を持つ改良体（以下コラムという）を築造するものである。

2.一般事項

本地業は、本特記仕様書によるほか「改訂版建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針／平成14年11月」（日本建築センター、以下指針という）による。

3.特記事項

- (1) コラムの径・掘削深度（改良長＋空掘長）・本数・配置等は設計図書による。ただし、コラムの径・長さ・本数・配置及び固化材液の配合等について、土質や地盤の状況により変更した方が適切だと判断される場合は、監督員の承認の下に変更することができる。
- (2) コラムの設計基準強度は、 $F_c = 750\text{KN/m}^2$ とする。
- (3) 設計の要求する性能を確保するため、適切な配合管理及び品質検査を実施する。
- (4) 本工法は、改良体の品質（変動係数25％）が、建設大臣認定機関の「一般財団法人日本建築センター」にて証明された技術審査証明取得工法とする。

4.施工計画

- (1) 本工事施工業者は、本工法の施工技術に精通した業者とする。
- (2) 施工計画書
工事に先立ち、施工計画書を監督員に提出する。施工計画書は、次の事項を明記する。

a. 工事内容（コラム径、コラム長、空掘長、コラム数、設計基準強度）

b. 工事期間及び工程

c. 工事要領（使用固化材、配合量、吐出量、カハ翼の昇降速度等）

d. 施工機器

e. 施工管理の方法

f. 品質管理の方法

g. 各種作業の主たる従事者の組織表

h. 環境の保全対策

i. 安全対策

j. 品質証明書（技術審査証明書等）

5.施工

- (1) 作業地盤は、施工機械が傾斜・転倒しないように養生する。
- (2) 施工手順は、施工計画書による。
- (3) 本工事により排出される発生残土は、場内処分とする。
- (4) 施工に対して疑義が生じた場合は、ただちに監督員と協議し、その指示を受ける。

6.施工機械

- (1) 固化材液と原地盤土を確実に混合カハができ、角度付共回り防止翼と半円状の掘削爪を有したカハ翼を装備した施工機械とする。
- (2) 所定の施工管理項目を、計測・記録できるデジタルディスプレイ式施工管理装置を用いること。
- (3) 改良機本体は、本工事の施工仕様を満足させる施工制御機器を装備したもので、自走式とする。
- (4) ミキシングプラントは、全自動プラントとし、所定の吐出量を十分供給できるものとする。

7.配合管理

- (1) 固化材液に使用する固化材は、セメント系固化材を使用する。
- (2) 配合強度
割増係数は、変動係数を想定し9項に規程する抜き取りヶ所数Nに応じて下表を用いて設定する。

変動係数	N	1	2	3	4～6	7～8	9～
(25%)	α_t	2.163	1.918	1.815	1.719	1.651	1.594

$$X_f = \alpha_t \times F_c$$

[X_f : 配合強度、 α_t : 割増し係数]
- (3) 室内配合試験
固化材液の配合（W／C）と使用量（添加量）は、室内配合試験の結果に基づいて現場室内強度比を参考にして、配合強度を満足するように決定する。
- (4) 試験対象土は、粘性土層とする。
- (5) 設計配合は、以下の通りとする。ただし、室内配合試験の結果により変更される場合がある。

a. 水／固化材比

60 %

b. 固化材添加量

300 kg／m

8.施工管理

- (1) 施工の安定性を確保するため下記に示す項目について管理する。

管理項目	管理内容	施 工 管 理 方 法	管理値
寸法・形状の管理	鉛直性	改良機のリーダーに設置された傾斜計による。 施工角度が異なる場合は、その角度を管理する。	1／100 以内
	コラム芯	コラム中心のズレを計測する。	± 100 mm以内
	掘削深度	深度計による。	±50 mm／m
	改良径	掘削攪拌装置の形状を計測	±10mm
	ロッド長	ロッド長さを計測	設計掘削深度+ 1m以上
固化材管理	材料の計量	自動計量器（練り水、固化材）により、バッチ毎管理	W／C＝± 2％以内
	スラリー比重	比重計による。	規定比重の 99％以上
	スラリー吐出量	流量計による。	規定値以上
	スラリー吐出深度	（吐出量、深度及び総量）	
カハ混合度の管理	掘進・引上げ速度	速度計による。	規定速度以下
	カハ装置	掘削・カハ翼の枚数など。	4枚以上
支持地盤の管理	掘削速度 トルク値 電流値	速度計による。 トルク値、電流値による。	試験施工結果による

9.品質検査

- (1) 検査ヶ所（コア採取ヶ所数）
- (2) 頭部コア ： 2ヶ所 深度コア ： 2ヶ所
- (3) 合格判定

a. 採取ヶ所1ヶ所当たり3個の供試体を採取し、その平均強度をそのヶ所の強度とする。

b. 一軸圧縮試験は、公的機関あるいは監督員立ち会いの下に行うものとする。

c. 検査手法は、品質のバラツキを想定する場合の検査手法Aによる。

d. 検査手法Aによる品質検査
可否の判定は、採取Nヶ所一軸圧縮試験の平均値が、下式を満足した場合を合格とする。

$$X_N \geq X_L = F_c + K_a \cdot \sigma_d$$

$$X_N$$
： Nヶ所の一軸圧縮強度の平均値（KN／m²）

$$X_L$$
： 合格判定値（KN／m²）

$$F_c$$
： 設計基準強度（KN／m²）

$$K_a$$
： 合格判定係数

$$\sigma_d$$
： 標準偏差（KN／m²）＝ $V_d \cdot q_{ud}$

$$V_d$$
： 変動係数、品質確認書より想定する。

$$q_{ud}$$
： 想定した平均一軸圧縮強さ（KN／m²）

採取ヶ所数 N	1	2	3	4～6	7～8	9
合格判定係数 K_a	1.9	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3


10.報 告

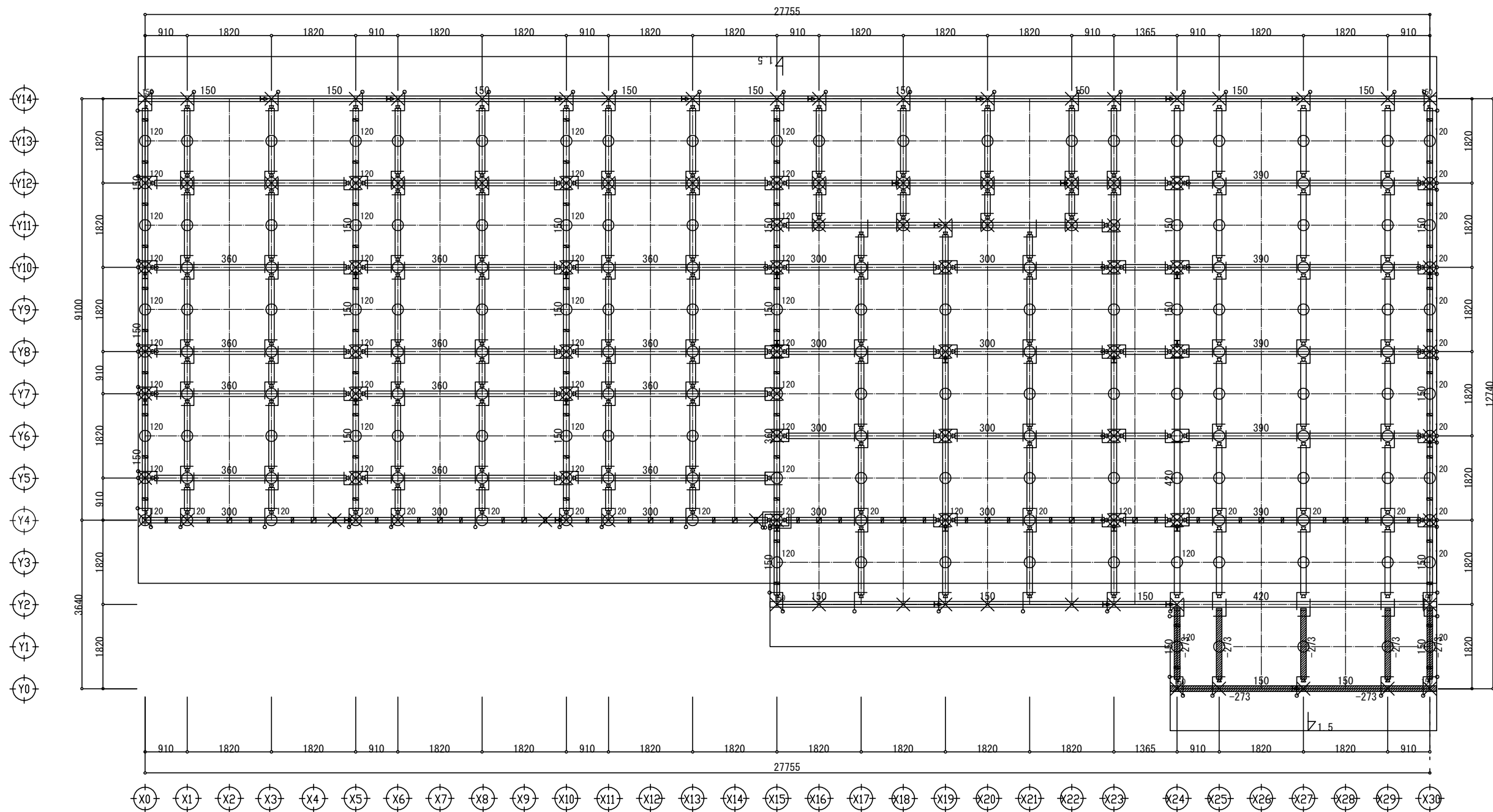
工事完了後、次の項目について報告書をまとめ、3部監督員に提出する。

- a. コラムの伏図及び番号
- b. コラムの施工日
- c. コラムの径・及び長さ
- d. 掘削深度
- e. トルク値
- f. 掘削深度及び引き上げ速度
- g. 固化材液の配合及び注入量と固化材の使用量
- h. コアの強度管理試験結果
- i. 合格判定結果

11.その他

施工に当たっては、セメント系固化材等からの六価クロム溶出試験を実施し、環境庁告示第46号の基準値（検液1Lにつき0.05mg以下であること）を満足する様必要な措置を講じる。

 <div>YAHATA ARCHITECTS STUDIO 株式会社 八幡建設建築設計事務所 岩手県金石市南石町第4地割26番地12 TEL0193-23-6438 FAX0193-23-6712</div>	一級建築士事務所 岩手県 第21(2711)1270号 一級建築士登録 第199484号 八幡建設	承認	審査	検 図	製 図	特 記	改訂番号	改訂月日	改訂内容	業務番号 2023-10	工事名称 橋野地区消防屯所建設(建築主体) 工事	
											図面内容	
											杭工事 特記仕様書	
											縮尺 A1 1:50 A3 1:100	図面 区分 図番 図名 S-06



小屋伏図



YAHATA ARCHITECTS STUDIO
株式会社 八幡建設建築設計事務所
岩手県釜石市岡石町第4地割20番地12
TEL0193-23-6438 FAX0193-23-6712

一般建築士事務所
岩手県
第2号(2711)1270号
一般建築士登録
第199484号
八幡康正

承認

審査

検図

製図

特記

改訂番号 改訂月日 改訂内容

業務番号 2023-10

工事名称

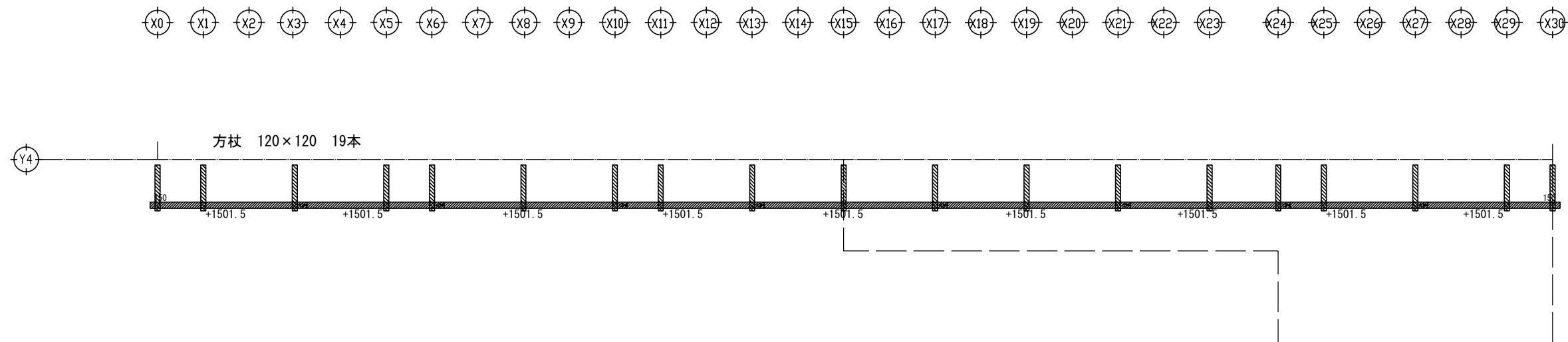
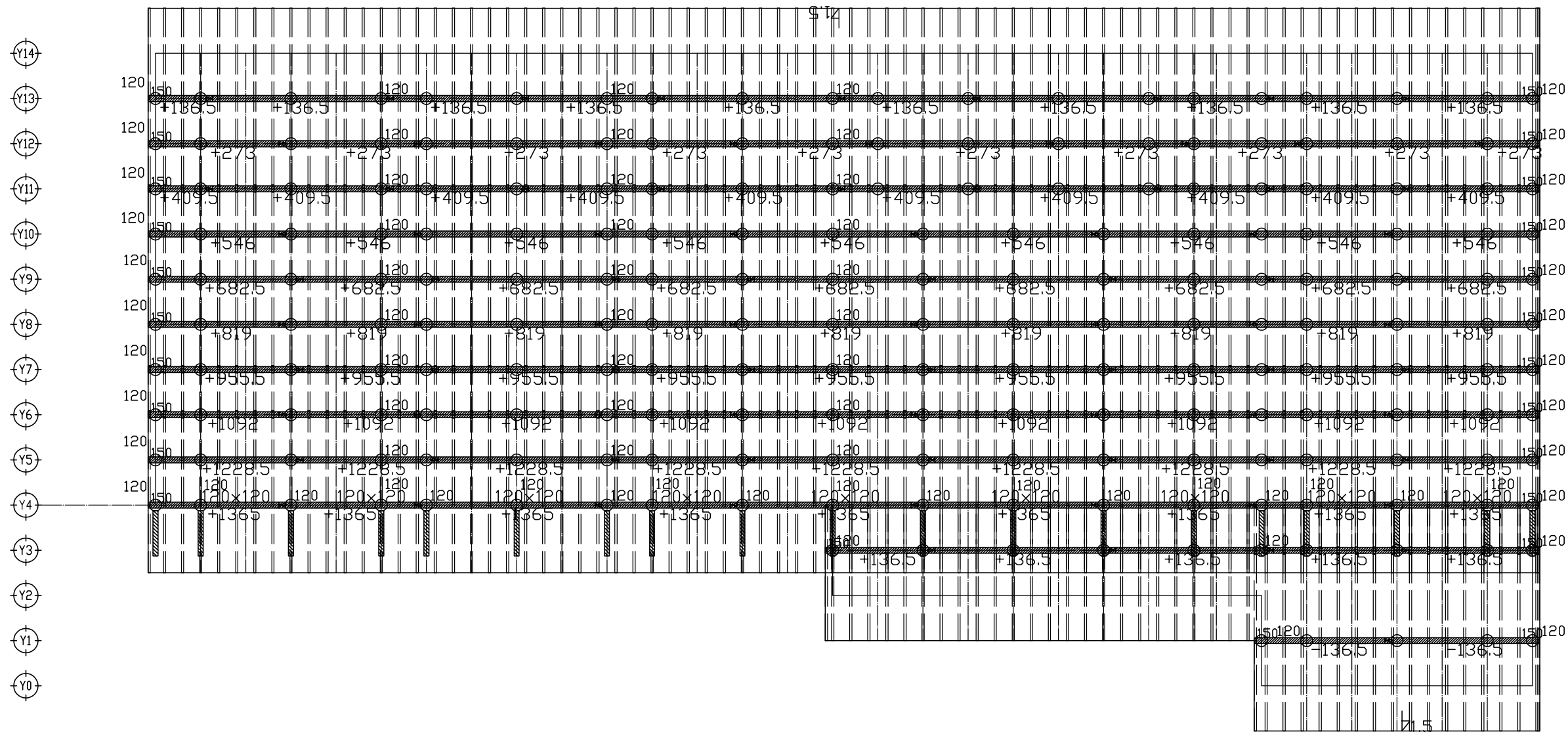
檜野地区消防屯所建設(建築主体) 工事

図面内容

小屋伏図

縮尺
A1 1:50
A3 1:100

図例
建築構造
S-10



YAHATA ARCHITECTS STUDIO
株式会社 八幡建設建築設計事務所
岩手県釜石市国石町第4地割20番地12
TEL0193-23-6438 FAX0193-23-6712

一般建築士事務所
岩手県
第2711号1270号
一般建築士登録
第199484号
八幡康正

承認

審査

検図

製図

特記

改訂番号

改訂月日

改訂内容

業務番号

工事名称

2023-10

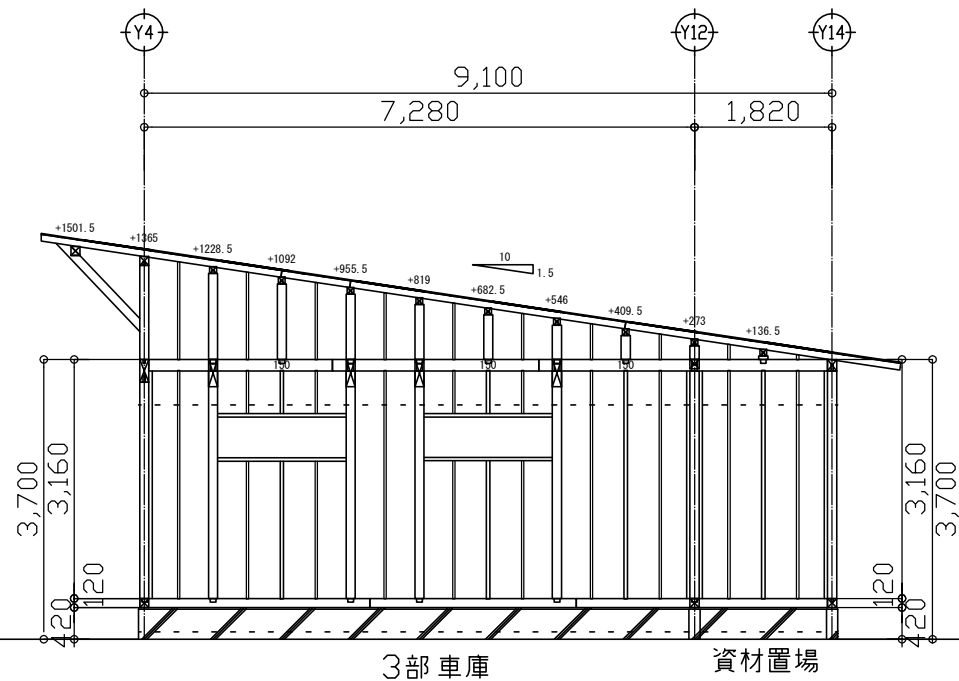
図面内容

檜野地区消防屯所建設(建築主体) 工事

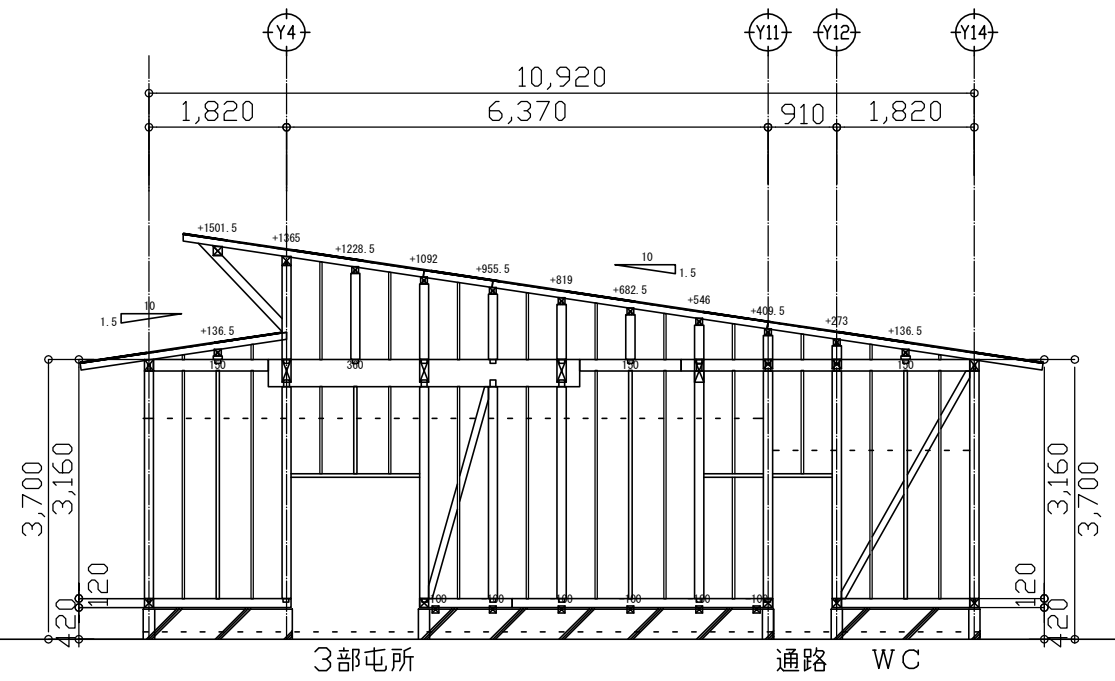
母屋、タルキ伏図

縮尺
A1 1:50
A3 1:100

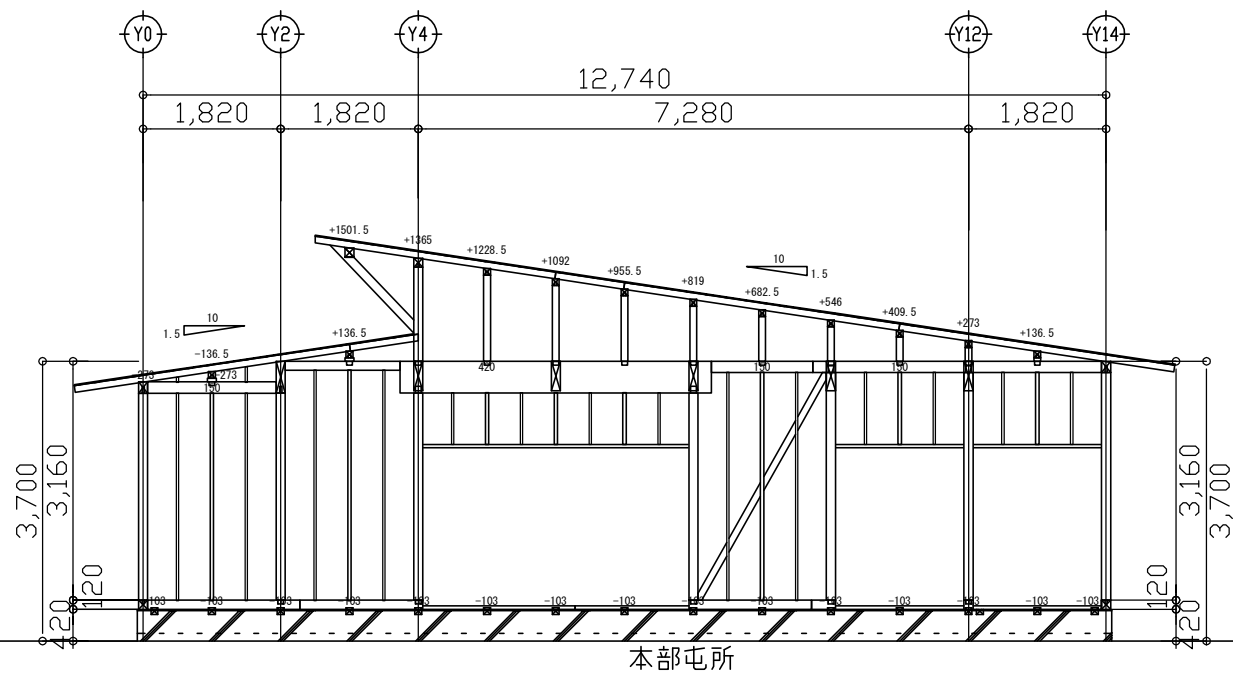
図例
建築構造
S-11



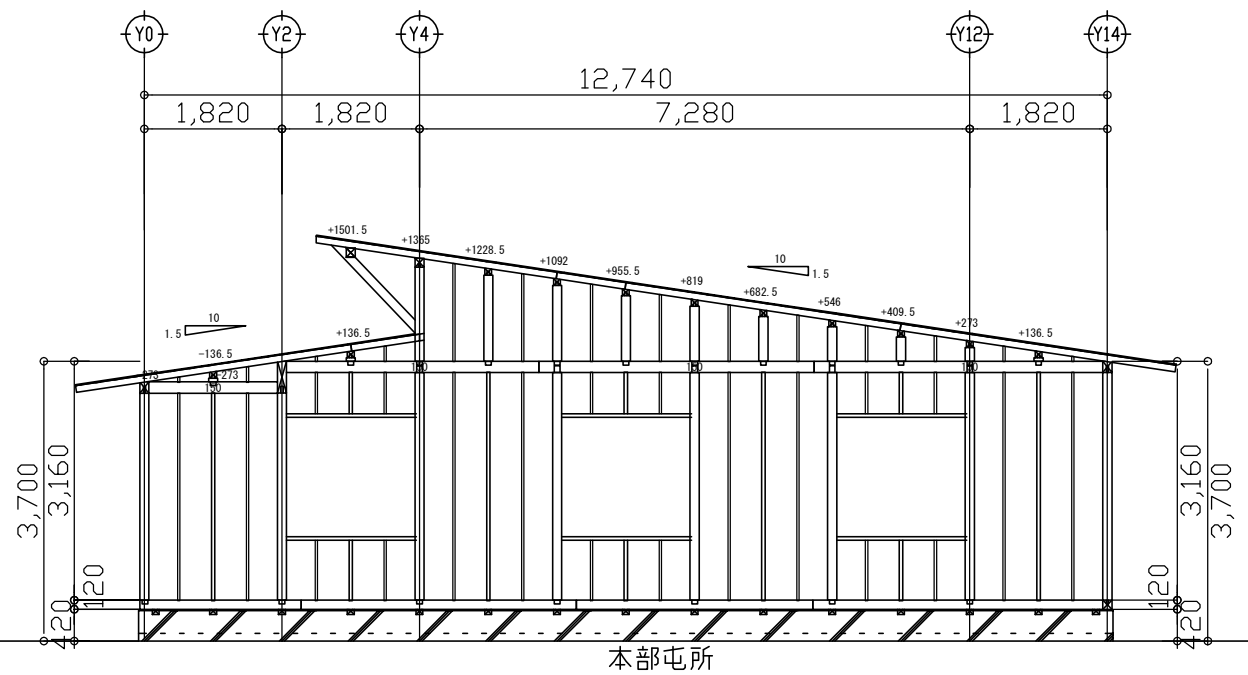
X0通り 東面



X15通り 東面



X0通り 東面



X30通り 東面



YAHATA ARCHITECTS STUDIO
株式会社 八幡建設建築設計事務所
岩手県釜石市南石町第4地割2の番地12
TEL0193-23-6438 FAX0193-23-6712

一級建築士事務所
岩手県
第お(2711)1270号
一級建築士登録
第199484号
八幡康正

承認

審査

検図

製図

特記

改訂番号

改訂月日

改訂内容

業務番号

工事名称

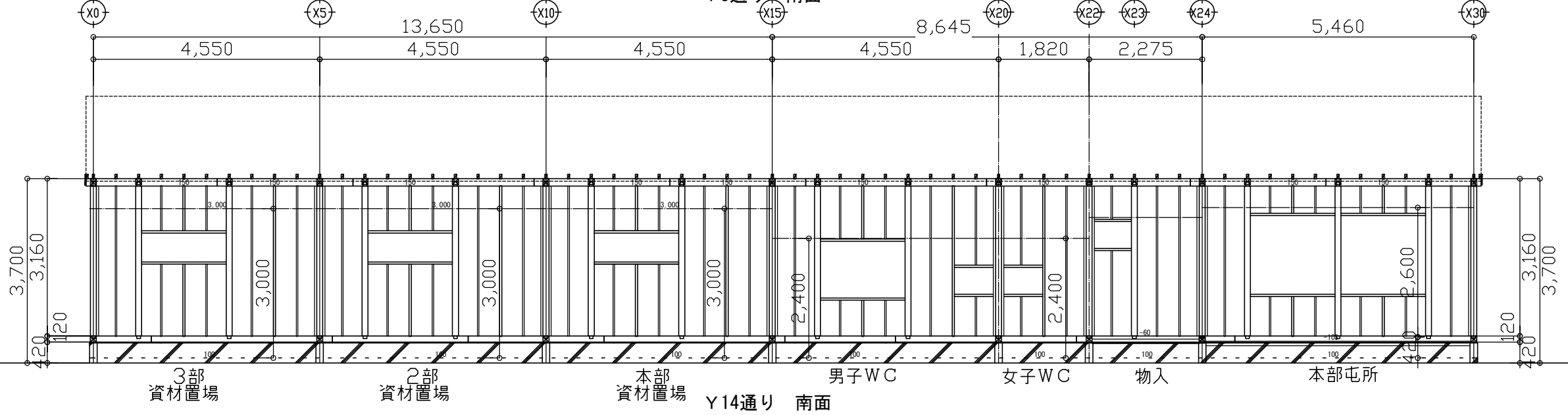
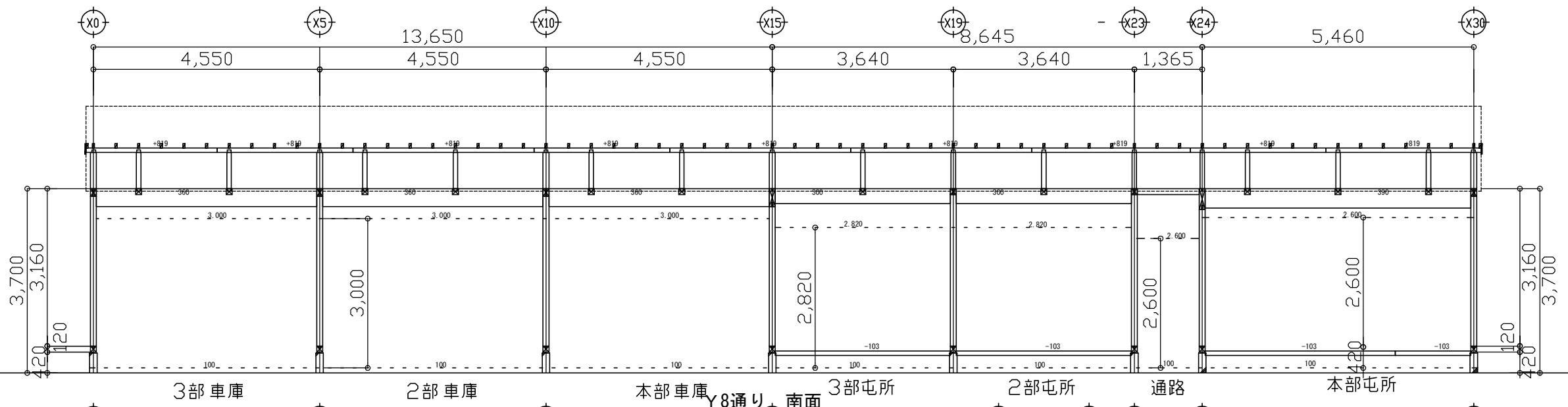
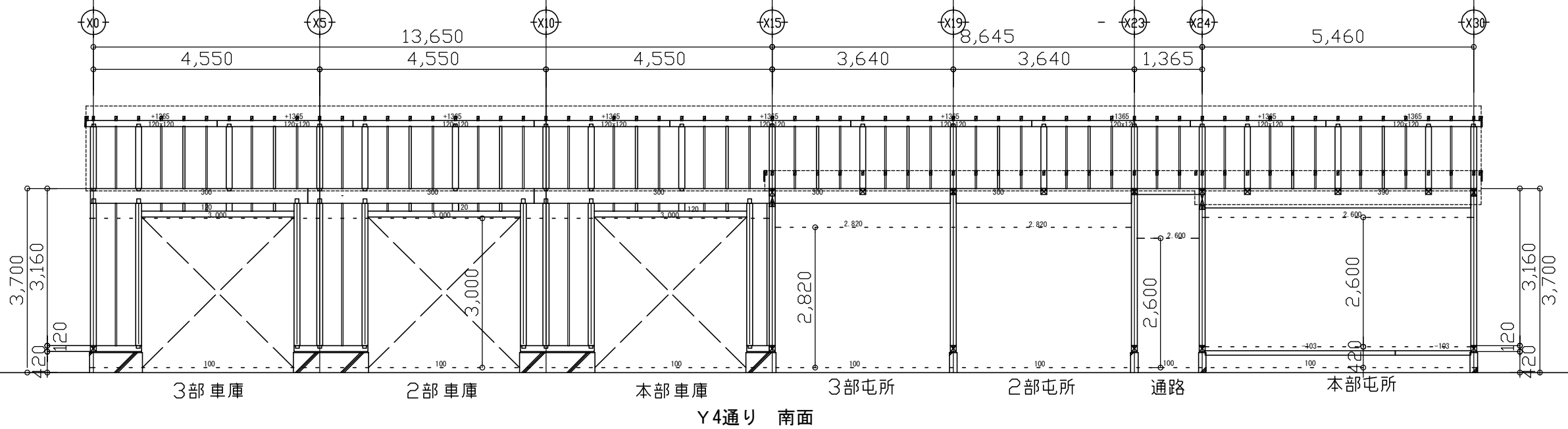
橋野地区消防屯所建設(建築主体) 工事

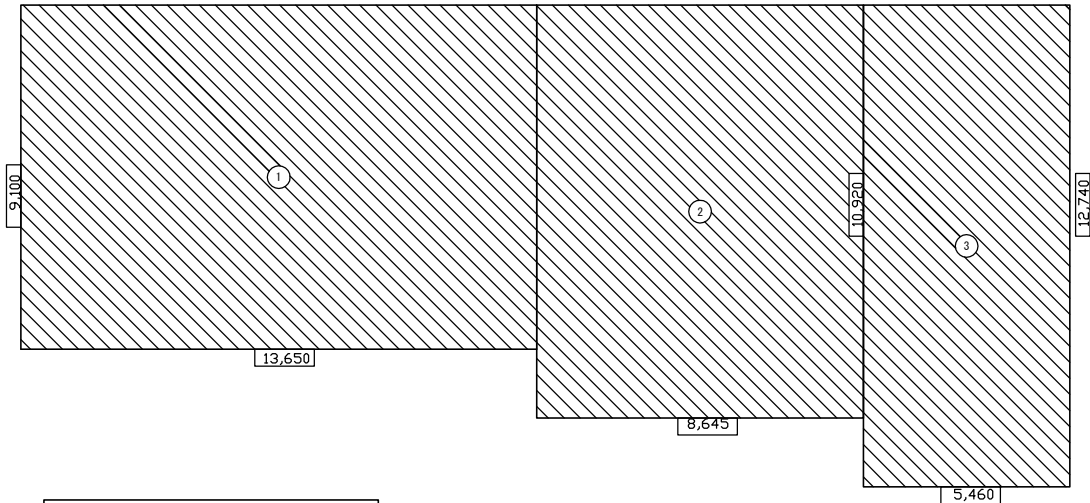
図面内容

軸組図 1

縮尺
A1 1:50
A3 1:100

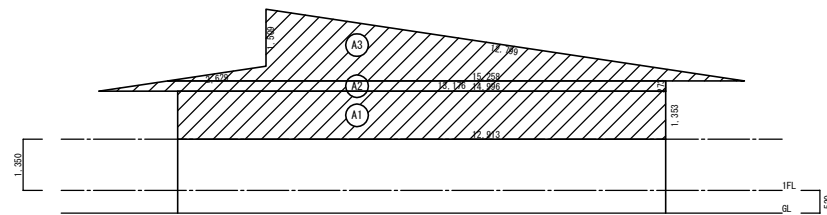
図例
建築構造
S-12



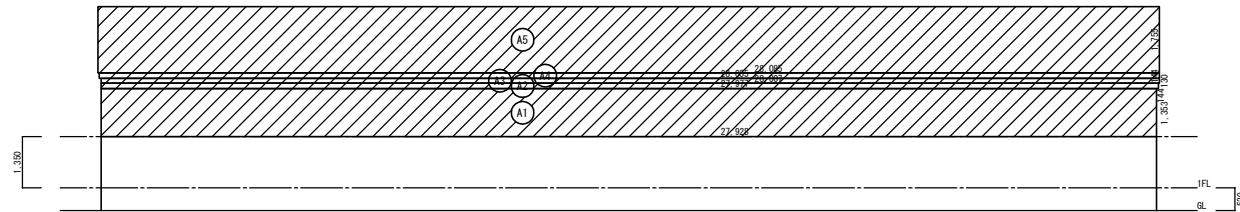


床面積表		単位 m ²	
階	面積	計	
1	13,650 × 9,100	124,215,000	288.18
	8,645 × 10,920	94,403,400	
	5,460 × 12,740	69,560,400	

1階床面積算定図

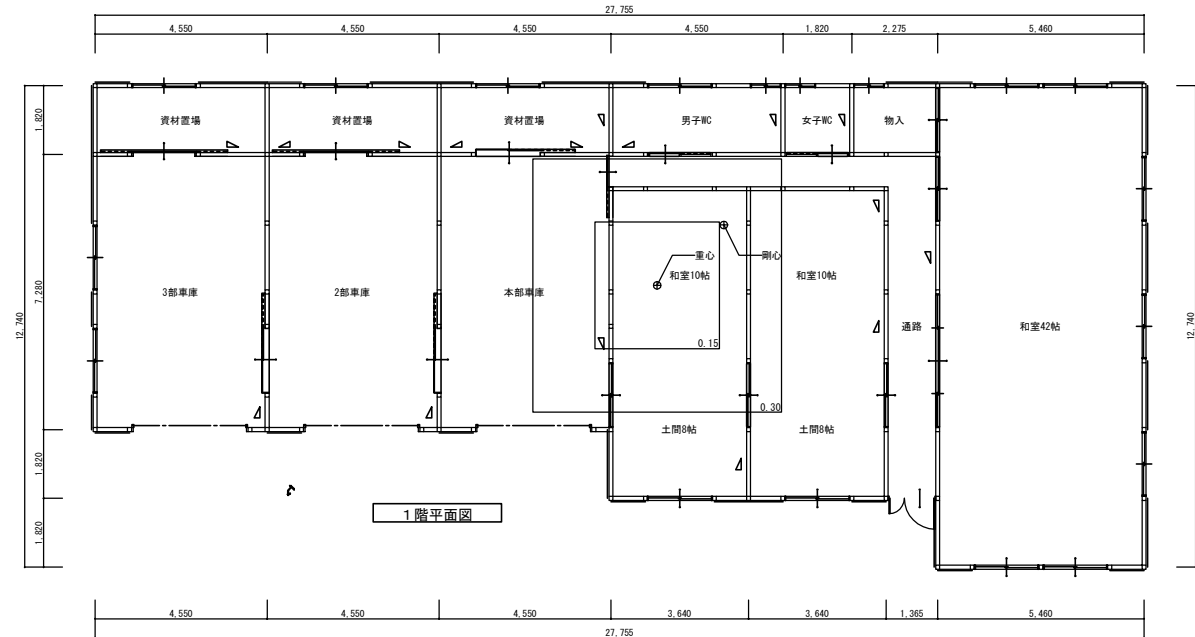


X方向(東面)見付面積算定図

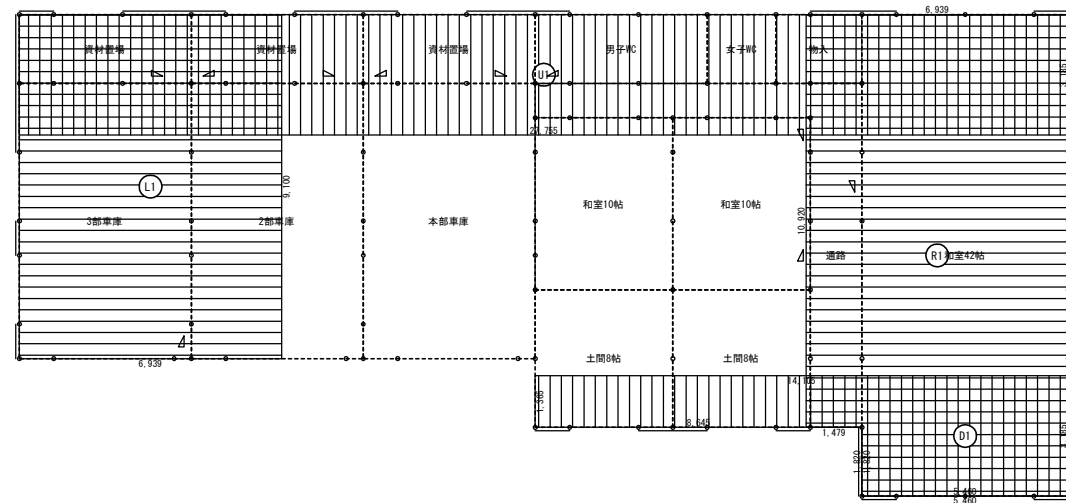


Y方向(南面)見付面積算定図

見付面積表		単位 m ²	
方向	階	面積	計
X	1	12,913 × 1,353 (14,996 + 13,176) × 0.273 ÷ 2.0	17,471,288 3,845,478 12,525,225
Y	1	27,928 × 1,353 27,977 × 0.144 28,007 × 0.130 28,055 × 0.144 28,085 × 1.755	37,785,664 4,028,688 3,640,910 4,039,920 49,289,175



1階平面図



1階壁約り合い算定図

凡例	記号	壁の構造(1)	壁の構造(2)	筋かいの構造	倍率
○	W1	▼		木材 30×90以上 シングル	1.50
	W2	▲		木材 30×90以上 ダブル	3.00
	W3	—		木材 45×90以上 シングル	2.00
	W4	—		木材 45×90以上 ダブル	4.00
	W5	▲		木材 90×90以上 シングル	3.00
	W6	▲		木材 90×90以上 ダブル	5.00
○	W7	—		構造用合板	2.50
	W8	—		構造用合板	2.50

必要壁量算定表		単位 m	
階	方向	床面積	必要壁量
1	X	288.18	43.227
	Y	0.150	49.395

見付面積(風圧力)に対する必要壁量		単位 m	
階	方向	見付面積	必要壁量
1	X	33.83	16.915
	Y	98.79	49.395

存在壁量算定表		単位 m	
階	方向	記号	倍率
1	X	W7	2.50
	Y	W7	2.50

壁量判定表		単位 m	
階	方向	存在壁量	判定
1	X	67.567	> OK
	Y	70.070	> OK

側端部分必要壁量算定表		単位 m	
階	方向	床面積	必要壁量
1	X	85.40	47.092
	Y	63.15	31.850

側端部分存在壁量算定表		単位 m	
階	方向	記号	倍率
1	X	W7	2.50
	Y	W7	2.50

壁約り合い判定表		単位 m	
階	方向	必要壁量	存在壁量
1	X	47.092	67.567
	Y	31.850	70.070

側端部分床面積表		単位 m ²	
階	方向	面積	計
1	X	27,755 × 3,185	88,399,675
	Y	8,645 × 1,365 + 3,185 × 5,460	29,190,525



YAHATA ARCHITECTS STUDIO
株式会社 八幡建設建築設計事務所
岩手県釜石市南町第4地割2の番地12
TEL0193-23-6436AX0193-23-6712

一級建築士事務所
岩手県
第27111270号
一級建築士登録
第199484号
八幡建設

承認

審査

検図

製図

特記

toyouka

改訂番号 改訂月日 改訂内容

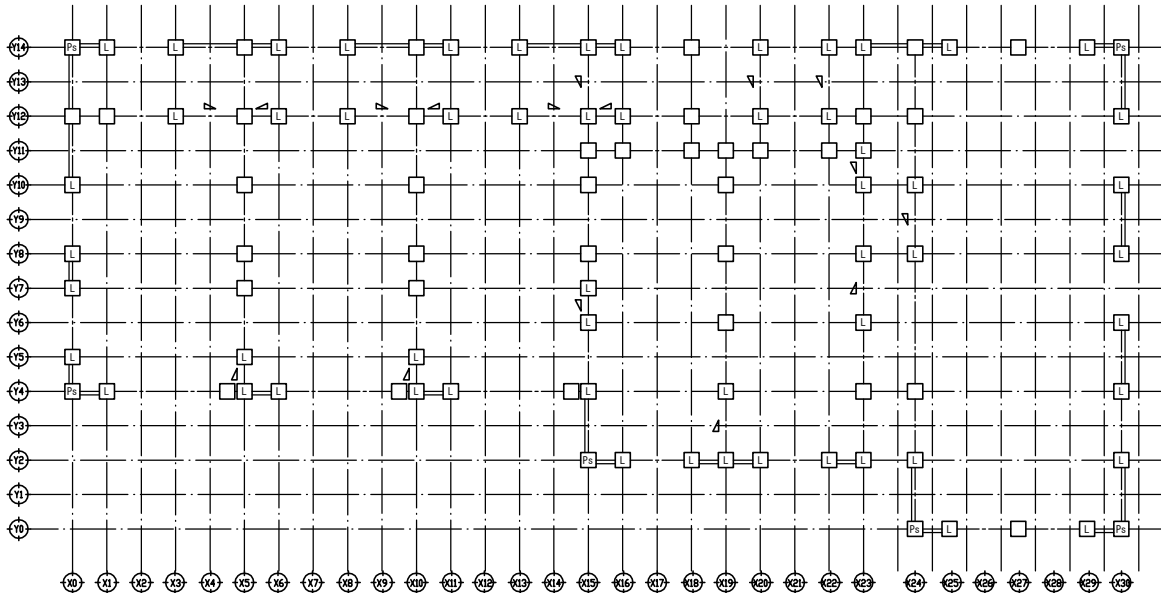
業務番号

工事名称
橋野地区消防屯所建設(建築主体)工事

図面内容
耐力壁計画図1 N値計算

縮尺
A1 1:100
A3 1:200

図例
建築構造
S-14



1 階柱壁伏図

接合部凡例		*接合部凡例はユーザ設定されたものです。	
記号	仕様	N	倍率
(L)	短辺差し、かすがい打ち	0.60	0.70
(Z)	長辺差し込み打ち		
(L)	L字型金物	0.65	0.70
(V)	V字型金物	1.00	1.00
(T)	T字型金物		1.00
(P)	P字型金物	1.40	1.40
(I)	I字型金物		1.40
(P)	P字型金物	1.60	1.60
(I)	I字型金物		1.60
(L)	L字型金物	1.80	1.80
(L)	L字型金物	2.80	2.80
(L)	L字型金物	3.70	3.70
(L)	L字型金物	4.70	4.70
(L)	L字型金物	5.60	5.60
(L)	L字型金物	1.90	1.90
(L)	L字型金物	3.00	3.00

筋かいの種類に応じた筋かいの接合部の仕様	
筋かいの種類	接合部の仕様 (構造方法)
鉄筋φ9	柱又は横架材を貫通し、三角座金を介してナット締め、又は鋼板添え板を用い鋼板を柱及び横架材にDN60、8本平打ち
筋かい15×90	柱・横架材を欠き込み、柱・横架材双方に対してN65、5本平打ち
筋かい30×90	鋼板添え板t=1.6mmを筋かいに対してボルトφ12及びDN65、3本平打ち、柱に対してDN65、3本平打ち、横架材に対してDN65、4本平打ち、筋かいプレートSP同等品
筋かい45×90	鋼板添え板t=2.3mmを筋かいに対してボルトφ12及びスクリュー釘φ4.5L50、7本平打ち、柱及び横架材に対してスクリュー釘φ4.5L50、5本平打ち、筋かいプレートSP同等品
筋かい90×90	柱又は横架材にボルトφ12mmを用いて一面剪断接合

筋差を通し柱の接合部の仕様	
筋差を通し柱の条件	仕口
T1 通し柱の片側に筋差がある場合	筋差を柱にかたぎ大入れ短辺差しの、羽子板ボルト、かね折り金物又は同等以上の仕口
T2 通し柱の両側に筋差がある場合	筋差を柱にかたぎ大入れ短辺差しの、短冊金物又は、同等以上の仕口で筋差相互を緊結
T3 通し柱と筋差の接合部の近くに90×90以上の筋かいがある場合 (通し柱が筋差の出側にあるか、筋かいが外側と重なり合っている場合)	筋差を通し柱に、150N用引き寄せ金物を水平に用いて緊結

柱接合部判定表															
階	通し柱	柱位置		出隅柱 階数1又は 階数2の 2階	階数2の 1階	計算式		N	柱頭		柱脚		筋差を通し柱		階
		X	Y			X方向	Y方向		仕様	判定	仕様	判定	仕様	判定	
1		24.5	0	○	—	2.50×0.8-0.4	1.60 2.50×0.8-0.4	1.60	Ps(床)	OK	Ps(床)	OK			1
		25.5	0	×	—	2.50×0.5-0.6	0.65 0.00×0.5-0.6	-0.60	L(左)	OK	L(左)	OK			
		27.5	0	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60 0.00×0.5-0.6	-0.60	□(上)	OK	□(上)	OK			
		29.5	0	×	—	2.50×0.5-0.6	0.65 0.00×0.5-0.6	-0.60	L(左)	OK	L(左)	OK			
		30.5	0	○	—	2.50×0.8-0.4	1.60 2.50×0.8-0.4	1.60	Ps(床)	OK	Ps(床)	OK			
		15	2	○	—	2.50×0.8-0.4	1.60 2.50×0.8-0.4	1.60	Ps(床)	OK	Ps(床)	OK			
		16	2	×	—	2.50×0.5-0.6	0.65 0.00×0.5-0.6	-0.60	L(左)	OK	L(左)	OK			
		18	2	×	—	2.50×0.5-0.6	0.65 0.00×0.5-0.6	-0.60	L(左)	OK	L(左)	OK			
		19	2	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60 (2.00+0.50)×0.5-0.6	0.65	L(左)	OK	L(左)	OK			
		20	2	×	—	2.50×0.5-0.6	0.65 0.00×0.5-0.6	-0.60	L(左)	OK	L(左)	OK			
		22	2	×	—	2.50×0.5-0.6	0.65 0.00×0.5-0.6	-0.60	L(左)	OK	L(左)	OK			
		23	2	×	—	2.50×0.5-0.6	0.65 0.00×0.5-0.6	-0.60	L(左)	OK	L(左)	OK			
		24.5	2	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60 2.50×0.5-0.6	0.65	L(左)	OK	L(左)	OK			
		30.5	2	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60 2.50×0.5-0.6	0.65	L(左)	OK	L(左)	OK			
		0	4	○	—	2.50×0.8-0.4	1.60 2.50×0.8-0.4	1.60	Ps(床)	OK	Ps(床)	OK			
		1	4	×	—	2.50×0.5-0.6	0.65 0.00×0.5-0.6	-0.60	L(左)	OK	L(左)	OK			
		4.5	4	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60 0.00×0.5-0.6	-0.60	□(上)	OK	□(上)	OK			
		5	4	×	—	2.50×0.5-0.6	0.65 (2.00+0.50)×0.5-0.6	0.65	L(左)	OK	L(左)	OK			
		6	4	×	—	2.50×0.5-0.6	0.65 0.00×0.5-0.6	-0.60	L(左)	OK	L(左)	OK			
		9.5	4	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60 0.00×0.5-0.6	-0.60	□(上)	OK	□(上)	OK			
		10	4	×	—	2.50×0.5-0.6	0.65 (2.00+0.50)×0.5-0.6	0.65	L(左)	OK	L(左)	OK			
		11	4	×	—	2.50×0.5-0.6	0.65 0.00×0.5-0.6	-0.60	L(左)	OK	L(左)	OK			
		14.5	4	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60 0.00×0.5-0.6	-0.60	□(上)	OK	□(上)	OK			
		15	4	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60 2.50×0.5-0.6	0.65	L(左)	OK	L(左)	OK			
		19	4	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60 (2.00+0.50)×0.5-0.6	0.15	L(左)	OK	L(左)	OK			
		23	4	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60 0.00×0.5-0.6	-0.60	□(上)	OK	□(上)	OK			
		24.5	4	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60 0.00×0.5-0.6	-0.60	□(上)	OK	□(上)	OK			
		30.5	4	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60 2.50×0.5-0.6	0.65	L(左)	OK	L(左)	OK			
		0	5	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60 2.50×0.5-0.6	0.65	L(左)	OK	L(左)	OK			
		5	5	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60 (2.00+0.50)×0.5-0.6	0.15	L(左)	OK	L(左)	OK			
		10	5	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60 (2.00+0.50)×0.5-0.6	0.15	L(左)	OK	L(左)	OK			
		15	6	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60 (2.00+0.50)×0.5-0.6	0.15	L(左)	OK	L(左)	OK			
		19	6	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60 0.00×0.5-0.6	-0.60	□(上)	OK	□(上)	OK			
		23	6	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60 (2.00+0.50)×0.5-0.6	0.65	L(左)	OK	L(左)	OK			
		30.5	6	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60 2.50×0.5-0.6	0.65	L(左)	OK	L(左)	OK			
		0	7	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60 2.50×0.5-0.6	0.65	L(左)	OK	L(左)	OK			
		5	7	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60 0.00×0.5-0.6	-0.60	□(上)	OK	□(上)	OK			
		10	7	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60 0.00×0.5-0.6	-0.60	□(上)	OK	□(上)	OK			
		15	7	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60 (2.00+0.50)×0.5-0.6	0.65	L(左)	OK	L(左)	OK			
		0	8	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60 2.50×0.5-0.6	0.65	L(左)	OK	L(左)	OK			
		5	8	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60 0.00×0.5-0.6	-0.60	□(上)	OK	□(上)	OK			
		10	8	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60 0.00×0.5-0.6	-0.60	□(上)	OK	□(上)	OK			
		15	8	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60 0.00×0.5-0.6	-0.60	□(上)	OK	□(上)	OK			
		19	8	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60 0.00×0.5-0.6	-0.60	□(上)	OK	□(上)	OK			
		23	8	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60 (2.00+0.50)×0.5-0.6	0.15	L(左)	OK	L(左)	OK			
		24.5	8	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60 (2.00+0.50)×0.5-0.6	0.15	L(左)	OK	L(左)	OK			
		30.5	8	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60 2.50×0.5-0.6	0.65	L(左)	OK	L(左)	OK			
		0	10	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60 2.50×0.5-0.6	0.65	L(左)	OK	L(左)	OK			
		5	10	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60 0.00×0.5-0.6	-0.60	□(上)	OK	□(上)	OK			
		10	10	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60 0.00×0.5-0.6	-0.60	□(上)	OK	□(上)	OK			



YAHATA ARCHITECTS STUDIO
株式会社 八幡建設建築設計事務所
若手農産市南石町第4地割20番地12
TEL0193-23-6438A0193-23-6712

一級建築士事務所
若手農
第01(2711)1270号
一級建築士登録
第199484号
八幡康正

承認

審査

検図

製図

特記

改訂番号

改訂月日

改訂内容

業務番号

工事名称

橋野地区消防屯所建設(建築主体)工事

図面内容

耐力壁計画図2 N値計算

縮尺
A1 1:100
A3 1:200

図例
建築構造
S-15